佐久市文化財

年　報 16

平成 18 年度

長野県佐久市教育委員会

佐久市文化財

年　報 16

平成 18 年度

長野県佐久市教育委員会

目　　次

目次
組織図
体制
Ⅰ　指定文化財等保護事業
　1　国・県・市指定文化財 ---------- 1
　2　普及・公開事業 ---------- 5
Ⅱ　埋蔵文化財事業
　1　保護・保存事業 ---------- 5
　（1）記録保存
　　1）概要 ---------- 5
　　2）発掘調査・整理作業 ---------- 6
　　3）整理作業 ---------- 6
　　4）試掘・立会調査 ---------- 6
　2　普及・公開事業 ---------- 7
　3　分析・鑑定 ---------- 7
　4　調査概要
　　1　野沢館跡Ⅸ ---------- 8
　　2　平賀中屋敷遺跡Ⅴ ---------- １０
　　3　三千束遺跡群他 ---------- １１
　　4　北畑遺跡Ⅱ他 ---------- １２
　　5　反田遺跡 ---------- １３
　　6　柳堂遺跡Ⅱ ---------- １５
　　7　宮ノ前遺跡 ---------- １６
　　8　仲田遺跡Ⅱ ---------- １７
　　9　上直路遺跡Ⅱ ---------- １８
　　10　上直路遺跡Ⅲ ---------- １９
　　11　石田遺跡 ---------- ２１
　　12　西一本柳遺跡ⅩⅣ　東大門先遺跡Ⅱ　北一本柳遺跡Ⅲ ---------- ２３
　　13　市道遺跡Ⅳ ---------- ２６
　　14　大豆田遺跡Ⅱ ---------- ２７
　　15　東五里田遺跡Ⅱ ---------- ２８
　　16　大豆田遺跡Ⅲ ---------- ３０
　　17　北近津遺跡Ⅱ ---------- ３１
　　18　西一里塚遺跡Ⅲ ---------- ３２
　　19　森平遺跡 ---------- ３３
　　20　須釜遺跡 ---------- ３４
　　21　松の木遺跡Ⅳ ---------- ３５
　　22　五庵遺跡 ---------- ３６
　　23　西近津遺跡Ⅲ ---------- ３７
　　24　龍岡城跡 ---------- ３８
　5　調査報告書
　　1　円正坊遺跡Ⅵ　ーその２ー ---------- ３９
　　2　虚空蔵山狼煙台 ---------- ７９
　　3　西一本柳Ⅲ･Ⅳ発掘調査報告書未掲載遺物 ---------- ９０
指定文化財位置図

組　織　図

- 教育委員会
  - 教　育　長
    - 学校教育部
      - 学校教育課
        - 庶務係
        - 学務係
        - 学校施設管理係
      - 教育施設建築室
        - 施設整備係
      - 学校給食南部センター
      - 学校給食北部センター
      - 学校給食臼田センター
      - 学校給食浅科センター
      - 学校給食望月センター
    - 小学校
      - 岩村田小学校
      - 中佐都小学校
      - 野沢小学校
      - 泉小学校
      - 佐久城山小学校
      - 田口小学校
      - 切原小学校
      - 浅科小学校
      - 協和小学校
      - 布施小学校
      - 平根小学校
      - 高瀬小学校
      - 岸野小学校
      - 中込小学校
      - 東小学校
      - 青沼小学校
      - 臼田小学校
      - 本牧小学校
      - 春日小学校
    - 中学校
      - 浅間中学校
      - 中込中学校
      - 臼田中学校
      - 望月中学校
      - 野沢中学校
      - 東中学校
      - 浅科中学校
    - 社会教育部
      - 生涯学習課
        - 庶務係
        - 生涯学習係
        - 青少年係
        - 男女共生係
        - 国際交流係
      - 文化施設管理室
        - 管理係
          - 天体観測施設
          - 天来記念館
          - 臼田文化センター
          - 交流文化館浅科
          - 駒の里ふれあいセンター
          - 望月歴史民族資料館
          - 五郎兵衛記念館
      - 体育課
        - 体育施設係
        - 体育振興係
        - 臼田体育係
        - 浅科体育係
        - 望月体育係
      - 文化財課
        - 文化財保護係
        - 文化財調査係
      - 公民館
        - 公民館係
          - 浅間地区館
          - 野沢地区館
          - 中込地区館
          - 東地区館
          - 臼田地区館
          - 浅科地区館
          - 望月地区館
      - 中央図書館
        - 庶務係
          - 臼田図書館
          - 浅科図書館
          - 望月図書館
      - 近代美術館
        - 庶務係

体　　制

佐久市教育委員会

教育長	三石昌彦
社会教育部長	柳澤義春
文化財課長	中山　悟
文化財保護係長	高村博文
文化財保護係	荻原留美
文化財調査係長	高柳正人
文化財調査係	林　幸彦　須藤隆司　小林眞寿　羽毛田卓也　冨沢一明　上原　学 出澤　力　神津　格
調査主任	佐々木宗昭　森泉かよ子
調査副主任	堺　益子

文化財保護審議委員会

会長	鈴木公人
職務代理	小林徳雄
委員	清水岩夫　堀籠好夫　小林壽三　並木良子　小栗　集　加藤芳実 土屋　修　佐藤純一郎

資料館協議委員会

会長	小林浜次郎
職務代理	小林計敏
委員	田中　武　中澤文男　井出清明　小林通夫　清水岩夫

Ⅰ　指定文化財等保護事業

1　国・県・市指定文化財（国指定16件・県指定20件・市指定133件、合計169件）

指定文化財一覧表1

No	指定区分	文化財名	名　　称	員　数	所在地	所　有　者	指定年月日
1	国指定	重要文化財	旧中込学校校舎（附　建築文書３点）	１棟	中込	佐久市	S44. 3.12
2	国指定	史　跡	旧中込学校	１ヶ所	中込	佐久市	S44. 4.12
3	国指定	重要文化財	紙本着色一遍上人絵伝　巻第二	１巻	野沢	金台寺	S59. 1.30
4	国指定	重要文化財	紙本墨書他阿上人自筆仮名消息	１軸	野沢	金台寺	S59. 1.30
5	国指定	重要文化財	駒形神社本殿（附　棟札４枚）	１棟	下塚原	駒形神社	S24. 5.30
6	国指定	重要文化財	鉄鐘	１口	跡部	藤沢平治	S52. 6.11
7	国指定	重要無形民俗文化財	跡部の踊り念仏	１つ	跡部	跡部踊り念仏保存会	H12.12.27
8	国指定	天然記念物	岩村田ヒカリゴケ産地	１ヶ所	岩村田	佐久市	T10. 3. 3
9	国指定	重要文化財	新海三社神社三重塔	１棟	田口	新海三社神社	M40.8.28
10	国指定	史　跡	龍岡城跡	１ヶ所	田口	佐久市	S 9. 5. 1
11	国指定	重要文化財	新海三社神社東本社	１棟	田口	新海三社神社	S12. 7.29
12	国指定	重要文化財	六地蔵幢	１基	入沢	佐久市	S36. 3.23
13	国指定	重要文化財	高良社（旧八幡社本殿）	１棟	蓬田	八幡神社	S17.12.22
14	国指定	重要文化財	福王寺の木造阿弥陀如来坐像	１体	協和小平	福王寺	S25. 8.29
15	国指定	重要文化財	真山家住宅	２棟	望月本町	真山純子	S48. 6. 2
16	国指定	特別天然記念物	ニホンカモシカ				S50. 2.15
1	県指定	県　宝	木造阿弥陀如来坐像	１体	岩村田	西念寺	S34.11. 9
2	県指定	県　宝	木造地蔵菩薩半跏倚像	１体	根々井	正法寺	S44. 5.15
3	県指定	県　宝	木造阿弥陀如来坐像及び両脇侍立像	３体	安原	安養寺	H 6. 8.15
4	県指定	県　宝	版本大般若経	577巻	安原	安養寺	S63. 3.24
5	県指定	県　宝	貞祥寺三重塔	１基	前山	貞祥寺	H 4. 9.10
6	県指定	県　宝	貞祥寺惣門及び山門	２門	前山	貞祥寺	H15. 4.21
7	県指定	史　跡	三河田大塚古墳	１基	三河田	柳沢　茂	S37. 7.12
8	県指定	史　跡	伴野城跡	１ヶ所	野沢	大伴神社・佐久市	S40. 4.30
9	県指定	史　跡	根井氏館跡	１ヶ所	根々井	正法寺	S40. 7.29
10	県指定	史　跡	北高禅師墓碑	１基	岩村田	龍雲寺	S44.10. 2
11	県指定	史　跡	岩尾城跡	１ヶ所	鳴瀬	個人３９人	S46. 5.27
12	県指定	史　跡	平賀氏城跡	１ヶ所	常和城下他	個人３７人	S46. 5.27
13	県指定	史　跡	大井城跡（王城・黒岩城）	２ヶ所	岩村田	個人３４人	S46. 5.27
14	県指定	天然記念物	王城のケヤキ	１本	岩村田	荒宿十二社	S61. 3.27
15	県指定	県　宝	井出家座敷	１室	臼田	井出　卓	S50. 7.21
16	県指定	天然記念物	広河原の洞穴群	11穴９池	田口	禅昌寺	S51. 3.29
17	県指定	県　宝	上宮寺梵鐘	１基	田口	上宮寺	S52. 3.31
18	県指定	無形民俗文化財	湯原神社式三番	１つ	湯原	湯原神社式三番保存会	S56. 2. 2
19	県指定	県　宝	鋳銅箔鍍金花瓶	１口	臼田	弥勒寺	S62. 3.27
20	県指定	史　跡	五郎兵衛用水跡	１路	望月・浅科	佐久市・建設省	S58.12.26

指定文化財一覧表２

No	指定区分	文化財名	名　　称	員　数	所在地	所　有　者	指定年月日
1	市指定	有形文化財	金台寺の鉦	１口	野沢	金台寺	S46.10.1
2	市指定	有形文化財	竹田の鉦（一）	１口	竹田	工藤光吉	S46.10.1
3	市指定	有形文化財	竹田の鉦（二）	１口	竹田	工藤勇祐	S46.10.1
4	市指定	有形文化財	平賀村中善寺大般若経	600 巻	平賀	中善寺	S49.12.1
5	市指定	有形文化財	下桜井村寛永の五人組帳	１冊	桜井	臼田繁雄	S49.12.1
6	市指定	有形文化財	永禄十一年上原筑前御恩御検地帳	２冊	瀬戸	柳沢譲	S49.12.1
7	市指定	有形文化財	龍雲寺の中世文書	３８点	岩村田	龍雲寺	S62.10.20
8	市指定	有形文化財	安養寺の中世文書	７点	安原	安養寺	S62.10.20
9	市指定	有形文化財	大井法華堂修験関係文書	859 点	岩村田	大井道也	H1.11.6
10	市指定	有形文化財	平尾大社本殿	１棟	上平尾	平尾大社	S49.12.1
11	市指定	有形文化財	旧大沢小学校	１棟	大沢	佐久市	H8.6.6
12	市指定	有形文化財	倉沢薬師堂	１棟	前山	貞祥寺	H10.4.30
13	市指定	有形文化財	取出町百番観音	１００体一式	取出町	取出町区	S49.12.1
14	市指定	有形文化財	桃源院木造地蔵菩薩坐像	１体	南岩尾	桃源院	S49.12.1
15	市指定	有形文化財	安養寺の木造法燈国師倚像	１体	安原	安養寺	S62.10.20
16	市指定	有形文化財	木造愛染明王坐像および脇侍木造両界大日如来坐像	３体	志賀	法禅寺	H1.11.6
17	市指定	有形文化財	大沢村旧長命寺仁王堂應永在銘石柱	１柱	大沢	長命寺	S54.9.25
18	市指定	有形文化財	正法寺多層塔	１基	根々井	正法寺	H10.12.28
19	市指定	有形文化財	暦應在銘板碑	１基	中込	正楽寺	S57.3.1
20	市指定	史　　跡	大梅禅師墓碑	１基	内山	正安寺	S45.10.1
21	市指定	史　　跡	鵜縄沢端一里塚東塚	１基	岩村田	関口芳幸	S45.10.1
22	市指定	史　　跡	安原大塚古墳	１基	安原	英多神社	S45.10.1
23	市指定	史　　跡	北西ノ久保の石造塔婆群	１群	岩村田	信州短期大学	S49.12.1
24	市指定	史　　跡	正楽院の供養塔	１基	平賀	長福寺	S49.12.1
25	市指定	史　　跡	前山城跡	１ヶ所	前山	個人１１人	S56.4.23
26	市指定	名　　勝	皎月原	１ヶ所	小田井	佐久市	S53.2.1
27	市指定	有形文化財	上直路遺跡出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
28	市指定	有形文化財	東一本柳古墳出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
29	市指定	有形文化財	北西ノ久保遺跡出土の埴輪	一括		佐久市	S62.10.20
30	市指定	有形文化財	周防畑Ｂ遺跡出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
31	市指定	有形文化財	中道遺跡出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
32	市指定	史　　跡	瀧の峯古墳群	４基	根岸	個人６名	S62.10.20
33	市指定	有形文化財	瀧の峯古墳群出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
34	市指定	史　　跡	後沢遺跡	１ヶ所	小宮山	佐久市	S62.10.20
35	市指定	有形文化財	後沢遺跡出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
36	市指定	天然記念物	白山神社イチヰの古樹	１本	常和	白山神社	S45.10.1
37	市指定	天然記念物	野沢町の女男木	１本	野沢	大伴神社	S46.10.1
38	市指定	天然記念物	チョウゲンボウ	２ヶ所	伴野・鳴瀬		S53.2.1
39	市指定	無形民俗文化財	岩村田祇園におけるお船様祭り	１つ	岩村田	荒宿区	S58.9.1
40	市指定	史　　跡	舟つなぎ石	１	塩名田		S25.12.1

指定文化財一覧表３

No	指定区分	文化財名	名　　称	員　数	所在地	所　有　者	指定年月日
41	市指定	天然記念物	お神明の三本松	１本	上小田切	上小田切西区	S47.5.5
42	市指定	史　　跡	蛇塚古墳	１基	臼田	佐久市	S47.5.5
43	市指定	史　　跡	幸神古墳群	４基	田口	新海三社神社	S47.5.5
44	市指定	史　　跡	西の窪１９号古墳	１基	入沢	桜井やす	S47.5.5
45	市指定	有形文化財	相沢寺仏面	41面	臼田	相沢寺	S48.3.10
46	市指定	天然記念物	入沢風穴	１ヶ所	入沢	三石正長	S48.3.10
47	市指定	有形文化財	田野口藩陣屋日記	372冊	下越	佐久市	S50.11.22
48	市指定	有形文化財	湯原神社青銅鰐口	１口	湯原	湯原神社	S52.3.31
50	市指定	有形文化財	信濃奇勝録版木	１組	臼田	井出敏	S52.3.31
49	市指定	有形文化財	大宮諏訪神社青銅鰐口	１口	入沢	大宮諏訪神社	S52.3.31
51	市指定	有形文化財	滝秩父札所観音石仏	３４尊	湯原	湯原区	S53.2.17
52	市指定	有形文化財	水落観音町石石仏	１３尊	田口	水落山観音院	S53.2.17
53	市指定	有形文化財	相沢寺平鉦	１口	臼田	相沢寺	S54.3.31
54	市指定	有形文化財	弥勒寺板碑	１基	臼田	弥勒寺	S54.3.31
55	市指定	有形文化財	医王寺板碑	１基	臼田	医王寺	S54.3.31
56	市指定	有形文化財	御魂代石	１基	田口	新海三社神社	S55.3.31
57	市指定	有形文化財	岩水秩父札所観音木像	３４体	平林	岩水区	S55.3.31
58	市指定	有形文化財	大宮諏訪神社石棒	１本	入沢	大宮諏訪神社	S57.4.1
59	市指定	有形文化財	解体人形	１体	田口	小林勝彦	S57.4.1
60	市指定	有形文化財	磨崖石仏群	５基	三分	三分区	S58.3.25
61	市指定	有形文化財	嫗の石像	１体	下小田切	下小田切区	S58.3.25
62	市指定	有形文化財	大日宝塔	４基	三分	遍照寺	S58.3.25
63	市指定	有形文化財	丸山家中世古文書	３点	田口	丸山槇太	S58.3.25
64	市指定	有形文化財	新海三社神社中世古文書	３点	田口	新海三社神社	S58.3.25
65	市指定	有形文化財	小太刀古狐丸	１振	入沢	日向広邦	S60.3.28
66	市指定	有形文化財	地獄極楽図	２軸	臼田	弥勒寺	S62.3.25
67	市指定	有形文化財	入沢焼茶壺	１点	下越	佐久市	S63.4.18
68	市指定	天然記念物	キレハエビラシダ	１群	上小田切	上小田切区	S63.11.21
69	市指定	有形文化財	物部の銅印	１個	常和	上原政彦	H5.7.1
70	市指定	有形文化財	蕨手刀（わらびてのたち）	１振	下越	佐久市	H5.7.1
71	市指定	有形文化財	帯具	１組	下越	佐久市	H5.7.1
72	市指定	有形文化財	山宮家中世古文書	４点	田口	山宮博子	H8.5.1
73	市指定	有形文化財	龍岡藩高礼場	１棟	田口	佐久市	H9.4.1
74	市指定	有形文化財	日影堂百番観音木像	100体一式	臼田	医王寺	H9.4.1
75	市指定	有形文化財	吉祥寺山門	１棟	入沢	吉祥寺	H10.4.1
76	市指定	有形文化財	薬師堂薬師三尊像	３体	入沢	日向一族	H10.4.1
77	市指定	有形文化財	金剛力士像	２体	田口	上宮寺	H11.4.1
78	市指定	有形文化財	泉龍院涅槃図	１軸	中小田切	泉龍院	H12.3.27
79	市指定	有形文化財	磨崖青面金剛	１尊	田口	大工原一彦	H14.3.6
80	市指定	有形文化財	新海三社神社中本社・西本社	２棟	田口	新海三社神社	H14.3.6

指定文化財一覧表４

No	指定区分	文化財名	名　　称	員　数	所在地	所　有　者	指定年月日
81	市指定	有形文化財	大宮諏訪神社本殿	１棟	入沢	大宮諏訪神社	H15.3.6
82	市指定	有形文化財	三条神社本殿	１棟	入沢	三条区	H15.3.6
83	市指定	天然記念物	黒沢家コナラ	１本	湯原	黒沢家	H16.2.13
84	市指定	天然記念物	児落場峠天然カラマツ	１本	入沢	佐久市	H16.2.13
85	市指定	有形文化財	五輪塔群	１群	塩名田	塩名田区	S47.8.1
86	市指定	史　　跡	塩名田本陣跡	１棟	塩名田	丸山憲一	S25.12.1
87	市指定	有形文化財	山の神石祠	１基	御馬寄	御馬寄区	S56.8.1
88	市指定	有形文化財	石仏十王像	５尊	御馬寄	御馬寄区	S56.8.1
89	市指定	史　　跡	御馬寄古城跡	１ヶ所	御馬寄	山浦幸之助外	S25.12.1
90	市指定	天然記念物	勝手神社のケヤキの木	１本	御馬寄	勝手神社	H15.10.30
91	市指定	天然記念物	関所破りの桜	１本	甲	市川恒世	S44.5.15
92	市指定	無形民俗文化財	鳥追い祭り	１つ	上原	上原鳥追い祭り保存会	H9.2.20
93	市指定	有形文化財	長念寺の木造阿弥陀如来立像及び胎内文書	１体	甲	長念寺	H9.2.20
94	市指定	史　　跡	中山道一里塚跡	１ヶ所	甲	山本武広	H9.2.20
95	市指定	史　　跡	土合一号古墳	１基	甲	金箱保	S25.12.1
96	市指定	史　　跡	火の雨塚古墳	１基	桑山	寺尾福丸	S25.12.1
97	市指定	史　　跡	八幡宿本陣跡	１ヶ所	八幡	小松勇夫	H9.2.20
98	市指定	有形文化財	八幡神社の算額	１面	八幡	八幡神社	H9.2.20
99	市指定	有形文化財	八幡神社の瑞垣門	１棟	八幡	八幡神社	H9.2.20
100	市指定	有形文化財	八幡神社の随神門	１棟	八幡	八幡神社	H9.2.20
101	市指定	有形文化財	八幡神社の本殿	１棟	八幡	八幡神社	H9.2.20
102	市指定	史　　跡	野馬除け柵跡	数ヶ所	御牧原	個人所有	S35.8.15
103	市指定	史　　跡	虚空蔵のろし場跡	１ヶ所	矢島	八幡神社	S25.12.1
104	市指定	有形文化財	矢島の五輪塔	１基	矢島	宝泉寺	S25.12.1
105	市指定	有形文化財	矢島道祖神	１基	矢島	矢島区	S62.10.1
106	市指定	史　　跡	兜山古墳	２基	八幡蓬田	依田仁	H 16.11.24
107	市指定	有形文化財	百番観音石仏群	100 尊	春日	飯塚宗治	S61.9.10
108	市指定	有形文化財	市川家の石造大日如来坐像	１体	布施入	市川豊	S61.9.10
109	市指定	有形文化財	城光院の石造庚申塔	１基	望月県町	城光院 勝山昌一	S61.9.10
110	市指定	有形文化財	城光院の石造十王像	１０尊	望月県町	城光院 勝山昌一	S61.9.10
111	市指定	有形文化財	城光院の石造宝篋院塔	４基	望月県町	城光院 勝山昌一	S61.9.10
112	市指定	有形文化財	万治の石造大日如来	１体	協和天神	比田井良嗣	S61.9.10
113	市指定	有形文化財	福王寺の石造庚申塔	１基	協和小平	福王寺 桑沢俊胤	S61.9.10
114	市指定	有形文化財	福王寺の木造日光菩薩立像	１体	協和小平	福王寺 桑沢俊胤	S61.9.10
115	市指定	有形文化財	福王寺の木造月光菩薩立像	１体	協和小平	福王寺 桑沢俊胤	S61.9.10
116	市指定	有形文化財	福王寺の木造雨宝童子立像	１体	協和小平	福王寺 桑沢俊胤	S61.9.10
117	市指定	有形文化財	福王寺の木造毘沙門天立像	１体	協和小平	福王寺 桑沢俊胤	S61.9.10
118	市指定	有形文化財	月輪寺跡の石造笠塔婆	１基	印内	印内区	S61.9.10
119	市指定	有形文化財	天神の元禄の石造双対道祖神	１体	協和天神	天神区	S61.9.10
120	市指定	有形文化財	入布施の石造片手合掌双体道祖神	１体	布施入	布施区	S61.9.10

指定文化財一覧表５

No	指定区分	文化財名	名　　称	員　数	所在地	所　有　者	指定年月日
121	市指定	有形文化財	牧布施の石造庚申塔	１基	布施	牧布施区	S61.9.10
122	市指定	無形民俗文化財	岩下の踊り念仏	１つ	春日岩下	岩下踊り念仏保存会	S61.9.10
123	市指定	無形民俗文化財	根神社の式三番叟	１つ	春日宮の入	根神社式三番叟保存会	S61.9.10
124	市指定	無形民俗文化財	榊祭	１つ	望月	望月区	S61.9.10
125	市指定	史　　跡	下吹上遺跡	１ヶ所	協和吹上	佐久市	S61.9.10
126	市指定	史　　跡	中山道		布施・望月茂田井	佐久市	S61.9.10
127	市指定	史　　跡	王塚古墳	１基	協和	比田井区	S61.9.10
128	市指定	天然記念物	山の神のコナラ群	１群	春日西久保	春日財産区	H9.3.14
129	市指定	天然記念物	小野山家のエドヒカン	１本	春日向反	小野山駿吉	H9.3.14
130	市指定	天然記念物	蓮華寺のスギ	１本	春日下の宮	蓮華寺日暮良三	H9.3.14
131	市指定	天然記念物	大井家のエドヒカン	１本	協和高呂	大井誉敬	H9.3.14
132	市指定	天然記念物	福王寺のヒイラギ	１本	協和小平	福王寺桑沢俊胤	H9.3.14
133	市指定	無形民俗文化財	春日本郷地区道祖神祭り	１つ	春日本郷	春日本郷地区	H10.2.20

２　普及・公開事業

旧中込学校入館者数　　8,864人（開館日数 306日）

藤村旧宅入館者数　　1,810人（開館日数 138日）

Ⅱ　埋蔵文化財事業

１　保護・保存事業

（１）記録保存

１）概要

開発原因者		調査実施数					報告書刊行
		発　掘	試　掘	立　会	整　理	計	
国県市等	国・県補助	1			1	2	1
	国･建設事務所	4	3		1	8	0
	佐　久　市	12	7	11		31	1
個人・民間企業		7	39	27	1	74	6
合　　計		24	49	38	3	115	8
原因者負担		24			2	26	7
国・県補助			49	38	1	88	1

2）発掘調査・整理作業

No	遺　跡　名	調査面積	所在地	事　　業	備　　考
1	野沢館跡Ⅸ	243 ㎡	野沢	県単緊急地方道路整備事業ー取手中央線ー	溝 12・土坑 49・建物址 4・ﾋﾟｯﾄ96
2	平賀中屋敷遺跡Ⅴ	170 ㎡	平賀	平成 18 年度地方道路交付金	住居址 3・溝 2・土坑・ﾋﾟｯﾄ
3	三千束遺跡群他	4,000 ㎡	桜井他	平成 18 年度国補道路改良事業（国）142 号	住居址・溝等
4	北畑遺跡Ⅱ他	4,000 ㎡	桜井他	中部横断自動車道佐久南 IC（仮称）建設	溝等
5	反田遺跡	1,700 ㎡	下小田切	特別養護老人ホーム建設	住居址 19・掘立柱建物址 4・土坑 50・溝 2・ピット 588
6	柳堂遺跡Ⅱ他	160 ㎡	岩村田	集合住宅建設	土坑・ピット
7	宮ノ前遺跡	220 ㎡	岩村田	宅地造成	住居址 2・土坑・溝等
8	仲田遺跡Ⅱ	180 ㎡	猿久保	宅地造成	住居址 2・掘立柱建物址・土坑・ピット
9	上直路遺跡Ⅱ	63 ㎡	岩村田	集合住宅建設	住居址
10	上直路遺跡Ⅲ	340 ㎡	岩村田	集合住宅建設	住居址 5・土坑・溝
11	石田遺跡	264 ㎡	志賀	集合住宅建設	住居址 6・土坑・掘立柱建物址・溝・ピット
12	西一本柳遺跡ⅩⅣ	6,358 ㎡	岩村田	街路整備事業（原東 1 号線）	住居址・環濠等
13	市道遺跡Ⅳ	400 ㎡	三塚	市道改良	住居址 2
14	大豆田遺跡Ⅱ	1,300 ㎡	長土呂	臨時交付金事業市道 2-5 号線（常田線）	住居址 21・掘立柱建物址 6・土坑 24・溝 18・ﾋﾟｯﾄ
15	東五里田遺跡Ⅱ	6,300 ㎡	野沢	校庭造成	住居址 21・掘立柱建物址 6・土坑・ピット・溝
16	大豆田遺跡Ⅲ	2,250 ㎡	長土呂	道水路新設改良事業	住居址 26・掘立柱建物址 9・土坑 34・溝 22・ﾋﾟｯﾄ
17	北近津遺跡Ⅱ	767 ㎡	長土呂	高速道関連県費補助事業	住居址 4・土坑 6・溝 3・ﾋﾟｯﾄ
18	西一里塚遺跡Ⅲ	540 ㎡	塚原	道水路新設改良事業	住居址 7・溝 7
19	森平遺跡	471 ㎡	横和	市道改良事業	住居址 6・土坑 10・溝・ピット
20	須釜遺跡	80 ㎡	蓬田	道路改良工事	溝
21	松の木遺跡Ⅳ	36,000 ㎡	岩村田	浅間中学校整備事業	水田址
22	五庵遺跡	3,600 ㎡	田口	児童館建設	ピット・竪穴
23	西近津遺跡Ⅲ	850 ㎡	長土呂	高速道関連県費補助事業	住居址 29・掘立柱建物址 1・土坑 19・溝 2・ﾋﾟｯﾄ
24	龍岡城跡	32.5 ㎡	田口	史跡整備	石垣補修

3）整理作業

No	遺跡名	所在地	事　　業	備　　考
1	市道遺跡Ⅲ他	跡部	国道 141 号臼田野沢バイパス拡張工事	第 148 集　市道Ⅲ・辻・儘田・西裏遺跡

4）試掘・立会調査

No	遺跡名	所在地	調査面積	開発面積	調査期日	種別
1	高師町遺跡群	新子田	238.00 ㎡	3,360.00 ㎡	H18.4.5	試掘
2	平賀中屋敷遺跡群	平賀	171.00 ㎡	500.00 ㎡	H18.4.6･7	試掘
3	仲田遺跡	猿久保	100.00 ㎡	1,024.00 ㎡	H18.4.17・18	試掘
4	周防畑遺跡群	長土呂	55.00 ㎡	607.00 ㎡	H18.5.12	試掘
5	郷源氏遺跡他	志賀	20.00 ㎡	2,171.00 ㎡	H18.4.28	試掘
6	倉瀬遺跡群	伴野	56.00 ㎡	285.57 ㎡	H18.4.18	試掘
7	長土呂遺跡群	長土呂	149.60 ㎡	1,101.00 ㎡	H18.4.20	試掘
8	岩村田遺跡群	岩村田	145.00 ㎡	968.23 ㎡	H18.4.21	試掘
9	岩村田遺跡群	岩村田	245.00 ㎡	1,537.00 ㎡	H18.4.25・26	試掘
10	小山崎遺跡（隣接）	湯原	1,044.00 ㎡	5,257.00 ㎡	H18.5.26 ～ 6.1	試掘
11	周防畑遺跡群	佐久平駅北	186.00 ㎡	1,062.00 ㎡	H18.4.27	試掘
12	三千束遺跡群	跡部他	286.80 ㎡	6,860.00 ㎡	H18.4.11 ～ 29・10.30・H19.2.28	試掘
13	須釜原第 3･15 釜跡	蓮田	79.00 ㎡	2,700.00 ㎡	H18.4.24・25	試掘
14	栗毛坂遺跡群	小田井	15.00 ㎡	752.92 ㎡	H18.5.24	試掘
15	野沢城跡	野沢	65.60 ㎡	575.98 ㎡	H18.5.24	試掘
16	梨の木遺跡	中込	365.20 ㎡	2,951.82 ㎡	H18.6.7・8	試掘
17	下県屋敷遺跡群	伴野	83.00 ㎡	3,953.10 ㎡	H18.7.10	試掘

No	遺跡名	所在地	調査面積	開発面積	調査期日	種別
66	野沢城跡	野沢		1,411 ㎡	H18.8.20	立会
67	岩村田遺跡群	岩村田		244 ㎡	H18.11.26	立会
68	中原遺跡群	今井		231.88 ㎡	H18.9.25	立会
69	周防畑遺跡群	長土呂		1,424 ㎡	H18.11.13・17	立会
70	浅井城跡	新子田		255 ㎡	H18.9.15･21･22	立会
71	新町遺跡	中込		152.41 ㎡	H18.11.1	立会
72	常田居屋敷遺跡群	長土呂		259.68 ㎡	H18.11.7	立会
73	中道遺跡	野沢		281 ㎡	H18.11.28･29	立会
74	東山遺跡	伴野		78 ㎡	H19.2.22 ～ 3.6	立会
75	宝生寺山砦	伴野		147 ㎡	H19.2.22 ～ 3.28	立会
76	今井宮の前遺跡	今井		1,120 ㎡	H19.1.31.2.1･6	立会
77	北畑遺跡群（隣接）	桜井		1,680 ㎡	H19.3.29	立会
78	北久保遺跡（隣接）	横和		1,520 ㎡	H19.3.14 ～ 3.20	立会
79	岩村田遺跡群	岩村田		428.16 ㎡	H18.11.1	立会
80	岩村田遺跡群	岩村田		64.4 ㎡	H18.11.20	立会
81	周防畑遺跡群	長土呂		1,155,394 ㎡	H19.1.11	立会
82	岩村田遺跡群	岩村田		850 ㎡	H19.3.7 ～ 3.17	立会
83	美里在家遺跡群	臼田		191.74 ㎡	H19.2.13	立会
84	藤塚遺跡	塚原		303.28 ㎡	H19.2.13	立会
85	近津遺跡群	長土呂		360 ㎡	H19.3.7・8	立会
86	岩村田遺跡群	岩村田		165.29 ㎡	H19.3.6	立会
87	西一里塚遺跡群	岩村田		469 ㎡	H19.3.23	立会

2　普及・公開活動

（1）講座・説明会等

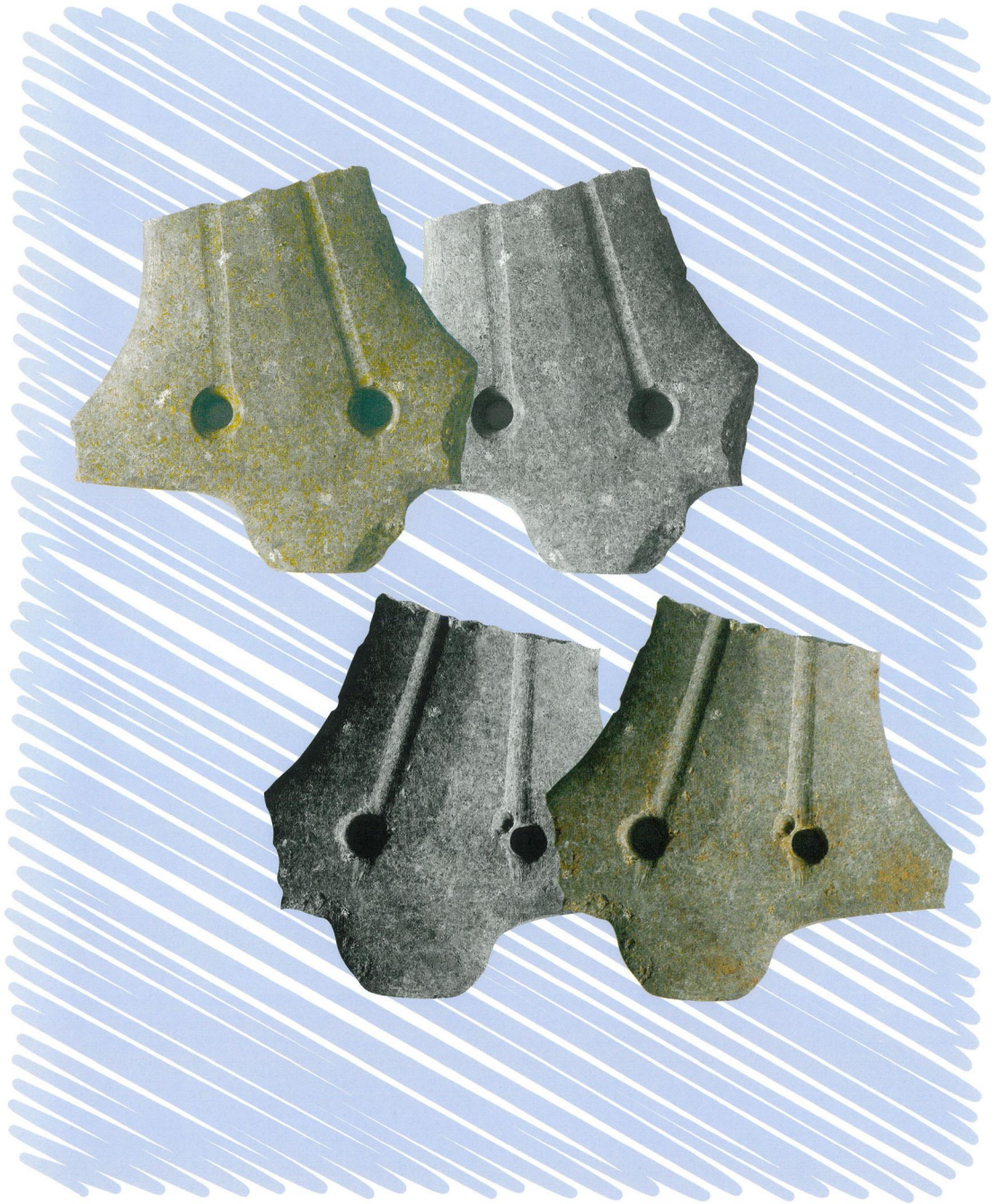
名　称	開　催　地	開　催　日	参　加　者	内　容
出前講座	大澤地区社会体育館会議室	平成 18 年 5 月 28 日	区民	大澤の原始・古代
第 27 回少年考古学教室	長土呂遺跡発掘調査現場	平成 18 年 8 月 2 ～ 4 日	市内小学生 77 名	発掘調査体験
発掘現場説明会	長土呂西近津遺跡群･周防畑遺跡群･大豆田遺跡	平成 18 年 8 月 18 日	区民 48 名	前記遺跡の発掘内容
発掘現場説明会	反田遺跡	平成 18 年 9 月 15 日	区民 30 名	反田遺跡の発掘内容

（2）文化財課資料展示室利用状況

入場者数 202 名（市内 191 名、県内 7 名、県外 4 名）

3　分析・鑑定

No	遺　跡　名	種　別	内　容
1	松の木遺跡	分析	テフラ・プラントオパール・放射性炭素年代測定（ＡＭＳ法）
2	下信濃石遺跡	保存処理	鉄製品・銅製品
3	西一本柳遺跡Ｘ	保存処理	鉄製品・銅製品
4	北西の久保遺跡（１・２次）	保存処理	鉄製品



北裏遺跡Ⅰ　M1 号溝址出土「石戈」

1　野沢館跡Ⅸ

所　在　地　佐久市野沢字居屋敷他
調査委託者　佐久建設事務所
開発事業名　県単緊急地方道路整備事業ー取手中央線ー
調 査 期 間　平成18年7月10日～9月12日
調 査 面 積　243㎡（開発面積450㎡）
調査担当者　森泉かよ子　林　　幸彦

野沢館跡Ⅸ位置図（1:50,000）

経過と立地

野沢館跡は、佐久市野沢に所在し、佐久市中央を北流する千曲川左岸の低河岸段丘にあり、標高は675m内外を測る。平安時代末から中世にかけて営まれた居館跡である。野沢館跡は昭和40年に「伴野城址」として県史跡に指定されている。平成11～16年度の6年、Ⅶ次にわたり主郭および外郭が発掘調査され、中世および近世の遺構・遺物が検出されている。

平成17年に緊急地方道路整備事業、取出中央線（佐久市野沢本町）が計画され、道路工事により遺跡の破壊が余儀なく、発掘調査を行った。平成18年は昨年の調査区の南に続く道路整備事業が計画され、遺跡が破壊されるため、発掘調査を行い記録保存することとなった。発掘調査は佐久建設事務所の委託を受け、佐久市教育委員会文化財課が実施することとなった。

調査の概要

調査地点は現状道路の両脇拡幅部であり、およそ西側は幅2m、東側は幅1m、総延長 200mを測る。まず重機による表土除去作業を行った。水道管・下水管・ガス管が敷設され、住宅の出入り口、道路や営業店舗で車の出入りのため調査ができない場所が多いため寸断され、連続しての調査はできなかった。

検出遺構	暗　渠（溝址）	12本	土　　坑	49基
	建物址（Ｔａ）	4棟	単独ピット	96個

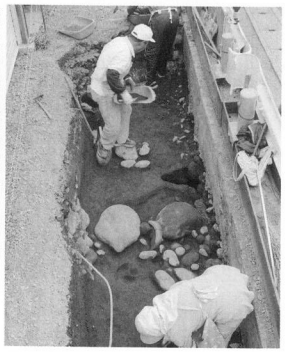
出土遺物

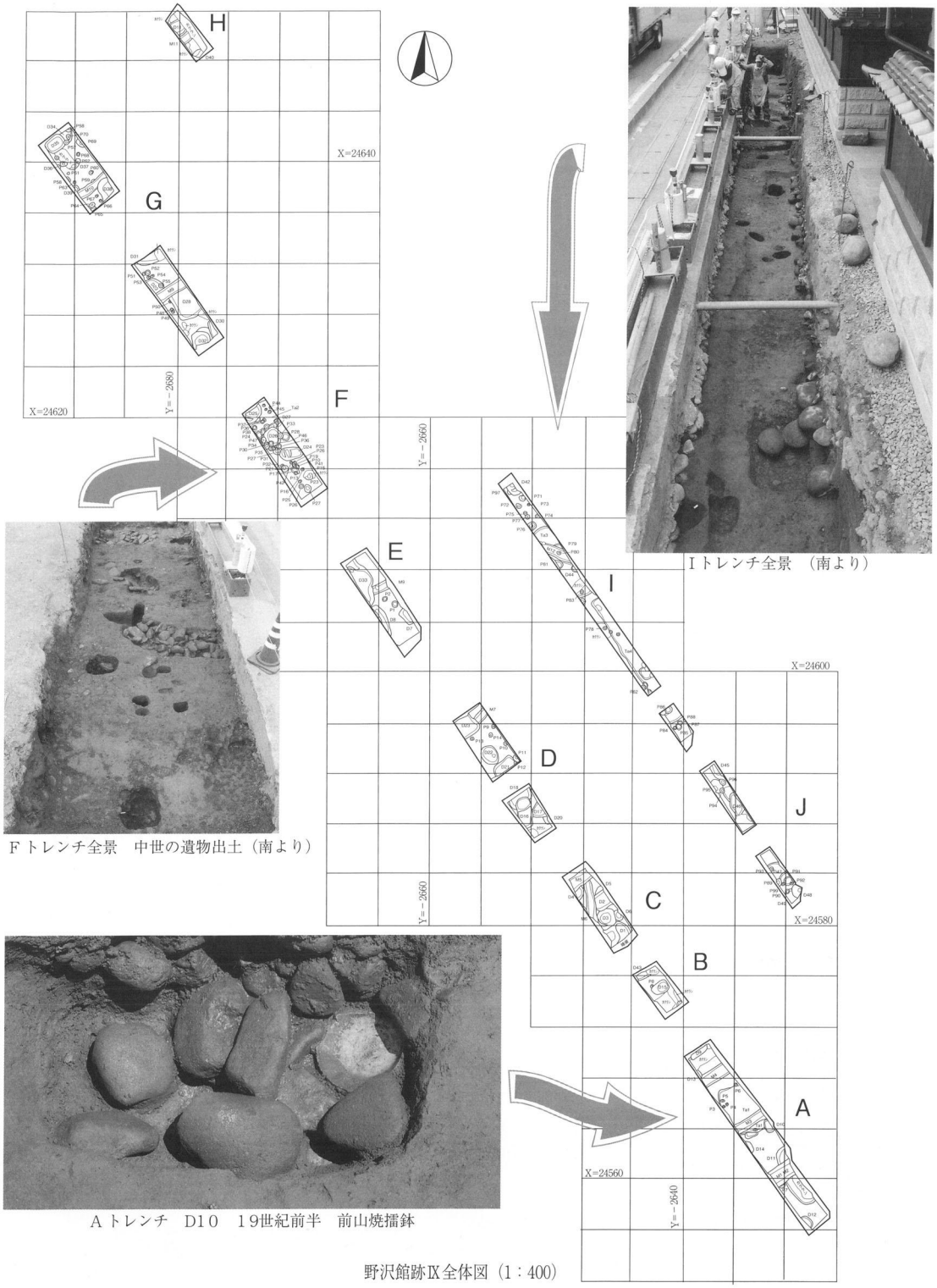
中　世	かわらけ・内耳（土製鍋）・青磁・渡来銭
近　世	陶器・磁器・寛永通寶・銅製品
中世～近代	石臼・茶臼・石鉢・凹石

今回の調査では、暗渠と土坑が多数検出された。暗渠や土坑は近世遺物を伴う例が多く、近世の遺構とみられる。方形の土坑に粘土を貼り、『溜』としたもの、土坑内に20～30cm大の礫を入れ込んだものなどがある。竪穴建物址は掘り込みに河床礫を平坦に敷き基礎とし、上部に建物を構築したと考えられる。

中世の遺構はA～Jの調査区全体では北に当たる、F・Gトレンチに中世のカワラケや内耳土器を伴う土坑や単独ピットがみられた。

今回の調査地点の字名は「居屋敷」地籍であるが、中世の遺構と近世甲州街道の家並に伴う遺構が確認できた。現在の家並みは、今回を含め2回の道路拡幅により後退したものである。





Ｉトレンチ全景　（南より）

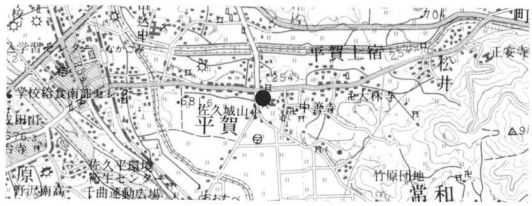
Ｆトレンチ全景　中世の遺物出土（南より）

Ａトレンチ　D10　19世紀前半　前山焼擂鉢

野沢館跡Ⅸ全体図（1：400）

2　平賀中屋敷遺跡Ⅴ

所　在　地　佐久市平賀字屋敷 5356-1 ～同字樫藪 729-1
調査委託者　佐久建設事務所
開発事業名　平成 18 年度地方道路交付金（交通安全）
調 査 期 間　平成 18 年５月８日～平成 19 年３月２日
調 査 面 積　170 ㎡
調査担当者　出澤　力



平賀中屋敷Ⅴ位置図(1:50,000)

経過と立地

平賀中屋敷遺跡は佐久市平賀地積に所在し、東部山地から西に流れる滑津川の南岸、標高 688m内外の扇状地先端付近に存在する。周辺ではこれまで多くの遺跡が調査されており、特に滑津川北岸にに広がる沖積地上では古墳時代を中心とする住居址 300 軒以上を調査した樋村遺跡、東部山地の突端部分となる丘陵上には弥生時代の高地性集落を確認した後家山遺跡などが所在している。また、本遺跡の所在する平賀中屋敷遺跡群内においても、道路拡幅、学校体育館建設等に先立つ発掘調査が行われており、これまでに古墳時代から中世にかけての住居址などの遺構が発見されている。

今回、佐久建設事務所が行う道路改良事業に先立ち試掘調査が行われ、その結果住居址等の遺構や遺物の存在が確認されたことから、文化財保護協議を行い、工事箇所において発見された遺構の記録保存を目的とした発掘調査が実施された。また、掘削幅の狭い工事箇所については立会調査によって確認を行った。

調査の概要

調査は開発対象地中、試掘調査により住居址等の遺構・また土器を多く認めた３カ所について行い、調査の結果、住居址３軒、溝状遺構２条、土坑、ピット、遺物包含層を確認した。住居址は古墳時代と平安時代の所産のもので、平安時代の１軒については道路脇で、かつて民家の建っていた部分にあったために後世の攪乱を受けて一部を破壊されていた。残りの２軒については遺物包含層の下から検出された。古墳時代と平安時代の住居址が切り合って確認され、出土遺物には良好な状態で出土したものも見られる。遺物包含層からは弥生から中世まで幅広い時期の遺物が出土しており、住居址上の包含層からは常滑産の甕と思われる破片がまとまって出土した。包含層の遺物の状況は、近辺に広がる遺跡の状況を表している。溝状遺構は、特に対象地南端で確認されたものについては城館跡との関連性も考えられるが、出土遺物からは明確にそれを裏付けるものは出土していない。

Ｈ２号住居址（南から）

Ｈ１号住居址（北から）

3　三千束遺跡群他

所　在　地　佐久市三塚・桜井・伴野
調査委託者　佐久建設事務所
開発事業名　平成18年度 国補 道路改良事業（国）142号
調 査 期 間　平成18年8月3日～平成19年3月20日
調 査 面 積　4,000 ㎡
調査担当者　小林眞寿

市道V･平馬塚II･北裏II遺跡位置図(1:50,000)

経過と立地

今回調査を実施した市道遺跡Ⅴ、平馬塚遺跡Ⅱ、北裏遺跡Ⅱの３遺跡の内、市道遺跡Ⅴ、平馬塚遺跡Ⅱは千曲川や片貝川が形成した沖積地の微高地上に、北裏遺跡Ⅱは片貝川の河岸段丘最深部に立地する。標高は 650m代後半～ 660m代である。現状は水田地帯であり、平坦であるが、旧地形は微高地が複雑に展開しており、微高地上は居住地域、低地部分は生産域（主として水田）として利用されていた可能性が強い。しかし、原始・古代の片貝川は現状よりもかなり大規模な河川であったことが、近年の発掘調査により明らかとなっており、この地域の歴史の再構築については、千曲川、片貝川の両河川の氾濫により浸食され、消滅した遺跡や、想像以上に地下深く埋没した遺跡の存在についても、考慮する必要がある。

今回の調査は、佐久建設事務所による、国補道路改築事業(国) 142号佐久市佐久南拡幅事業に先立ち、実施した試掘調査の結果に基づき、計画範囲内の遺跡の記録保存を目的におこなったものである。

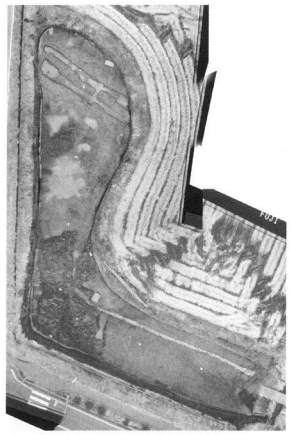
調査の概要

各遺跡ごとにその概要を以下に記す。

○市道遺跡Ⅴ
遺構－古墳時代後期の竪穴住居址３軒、平安時代以降と思われる水田址？の一部。
遺物－縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・石器・木器。
＊市道遺跡の北～西端の一部分が明らかとなった。

○平馬塚遺跡Ⅱ
遺構－弥生前期・平安時代の溝址（用水路？）３条
遺物－縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器
＊希少な弥生時代前期の土器が伴う溝址が発見された。

○北裏遺跡Ⅱ
遺構－弥生時代中期の溝址（用水路）１条
遺物－弥生土器（中期）、土師器、石器
＊石戈を出土した北裏遺跡Ⅰ(佐久南 IC 関連の調査）の溝址と同時代・同形態の溝址である。北裏遺跡の国道 142号線以北部分に開発された水田に伴う用水路の可能性が強く、佐久平における弥生水田の構造解明のための貴重な資料と思われる。


北裏遺跡Ⅰ全景→

市道遺跡Ⅴ全景

4　北畑遺跡Ⅱ他

所　在　地　佐久市桜井・伴野
調査委託者　国土交通省関東地方整備局
開発事業名　中部横断自動車道佐久南 IC（仮称）建設
調 査 期 間　平成 18 年 4 月 18 日～平成 19 年 3 月 22 日
調 査 面 積　4,000 ㎡
調査担当者　小林眞寿

北畑遺跡Ⅱ･北裏Ⅰ遺跡位置図(1:50,000)

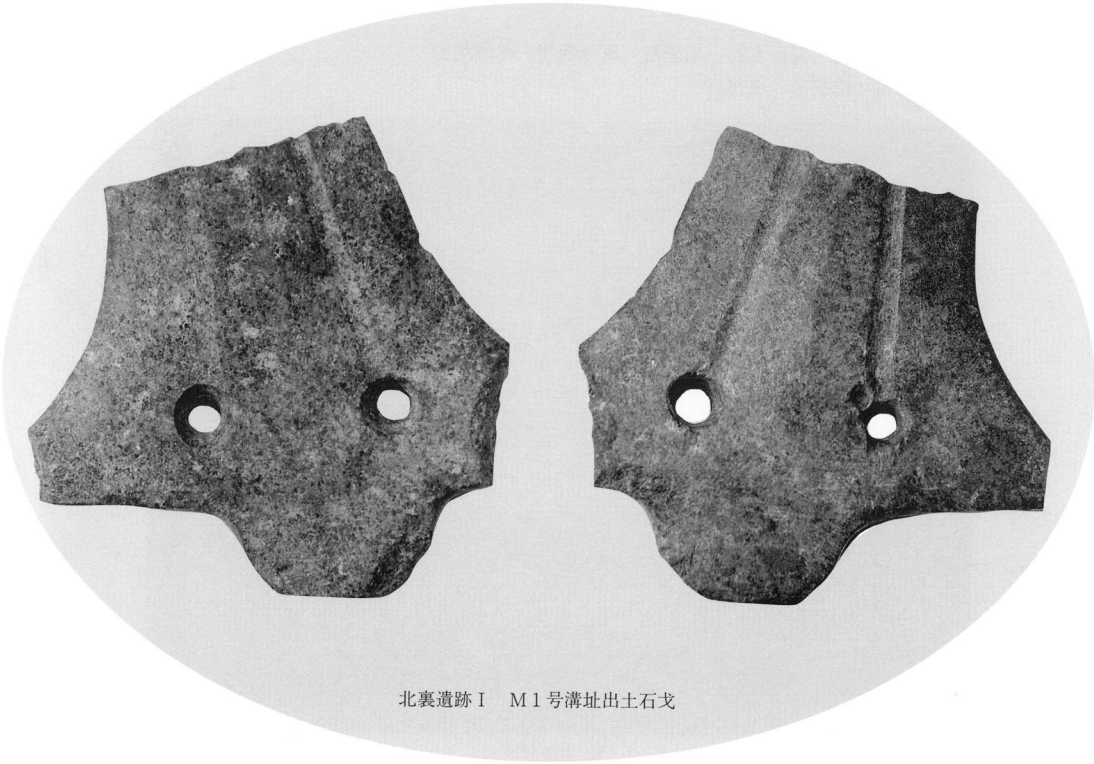
経過と立地

今回の調査は、昨年度東日本高速道路株式会社から委託を受け実施した北畑遺跡Ⅰの継続調査である。今年度から委託者が国土交通省に変更になった。調査遺跡は北畑遺跡Ⅱと北裏遺跡Ⅰの2遺跡である。調査は平成19年度に調査報告書を刊行し終了する予定である。

北畑遺跡群は現下桜井集落の地下、片貝川右岸の河岸段丘上に位置し、標高650m台を測る。今回の調査地点は遺跡の西端部分にあたり、集落の縁辺部分の調査となった。北裏遺跡群は現竹田集落地下から片貝川左岸の河岸段丘上に位置する。今回の調査地点は標高650m台であり、北畑遺跡群と片貝川を挟み対峙した立地である。

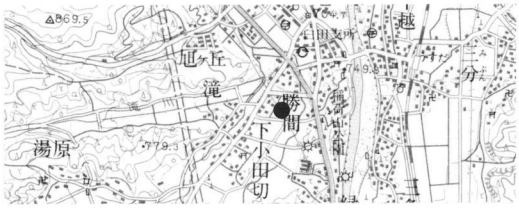
調査の概要

北畑遺跡Ⅱ　○遺構　土坑－3、Pit－1　　○遺物－土器（縄・弥・土師器・須恵器）、石器
北裏遺跡Ⅰ　○遺構　溝址－1　　○遺物－土器（縄・弥）・青磁・石器
＊北裏遺跡Ⅰより「石戈」が出土した。今回の一連の調査において最も重要な成果である。


北裏遺跡Ⅰ　M１号溝址出土石戈

5　反田遺跡

所　在　地　佐久市下小田切 50-1　他 6 筆
調査委託者　社会福祉法人　里仁会　理事長　新津真澄
開発事業名　特別養護老人ホーム建設
調 査 期 間　平成 18 年 7 月 3 日～平成 19 年 3 月 20 日
調 査 面 積　1,700 ㎡
調査担当者　冨沢一明　小林眞寿　羽毛田卓也　森泉かよ子



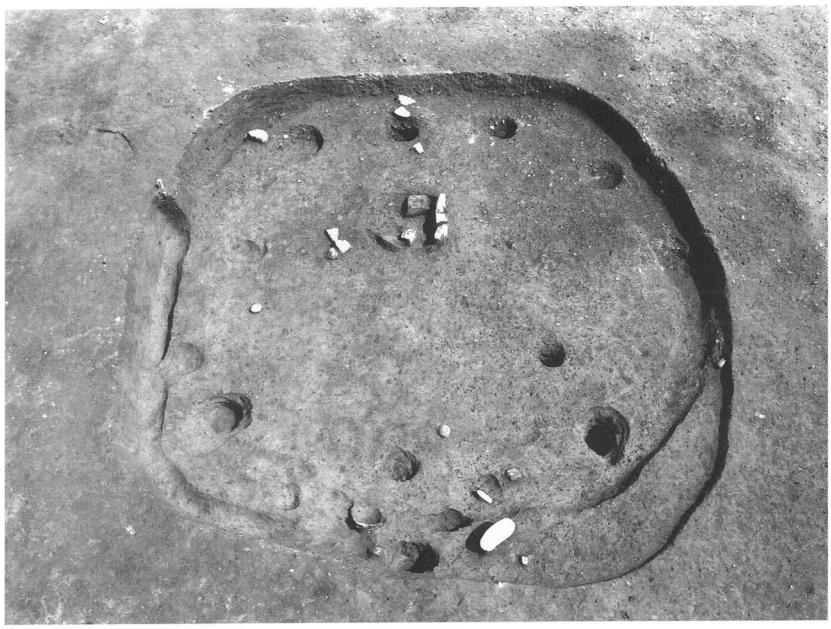
反田遺跡位置図(1:50,000)

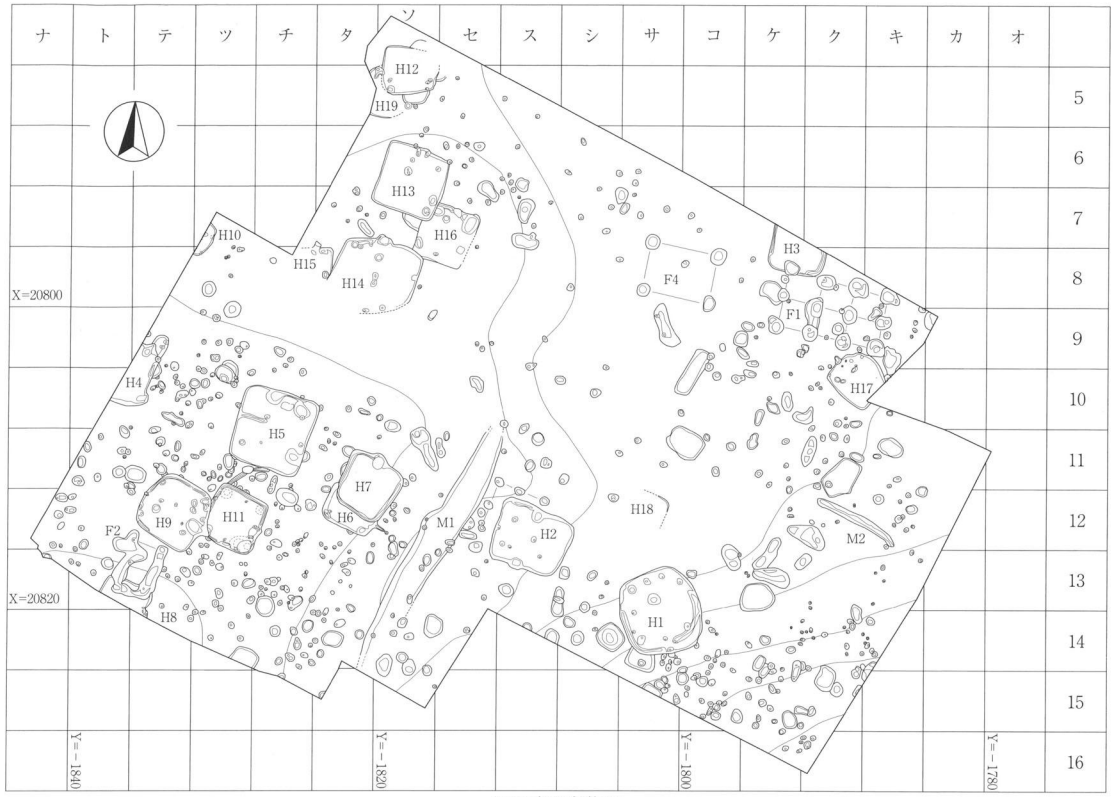
経過と立地

反田遺跡は佐久市下小田切に所在する。遺跡は片貝川に張り出した丘陵面の先端に立地する。今回、社会福祉法人里仁会より特別養護老人ホーム建設に伴い遺跡有無について照会があった。佐久市教育委員会では予定地に土器片が採集されることなどから試掘調査を行うこととなった。結果、遺構が発見されたため、保護協議の後に記録保存目的の発掘調査を行う事となった。

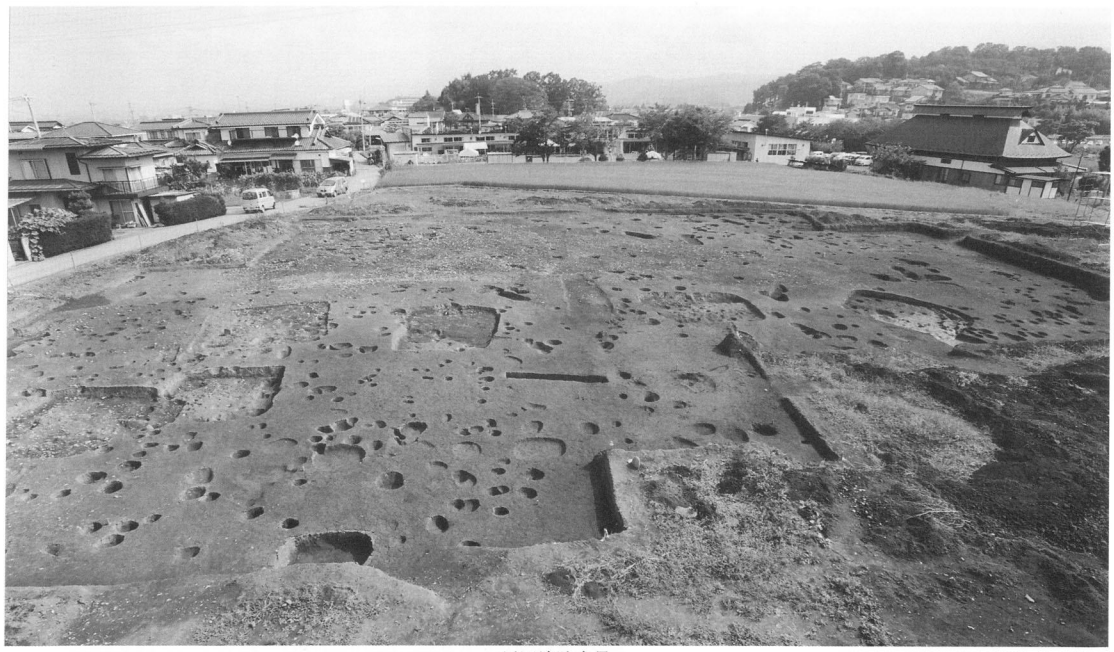
調査の概要

○遺構　竪穴住居址　19 軒（縄文前期 1・縄文中期 1 軒・平安 17 軒）
　　掘立柱建物址　4 棟（総柱式掘立柱建物址含む）
　　土坑　50 基
　　溝状遺構　2 本
　　ピット　588 個
○遺物　縄文土器 - 前期・中期（加曽利ＥⅢ・曽利・佐久系）
　　弥生土器 - 中期前半（境窪平行）
　　土師器・甲斐形土器・竈形土器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器
　　白磁・富壽神寶・鉄製品・炭化材


H1 号住居址



反田遺跡全体図



反田遺跡全景

6　柳堂遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市岩村田字曲口1965-6・18
調査委託者　北森政太郎
開発事業名　集合住宅建築
調 査 期 間　平成18年5月8日～10月31日
調 査 面 積　160㎡（対象面積968.23㎡）
調査担当者　羽毛田卓也

柳堂遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

経過と立地

岩村田遺跡群は岩村田地籍に位置する縄文時代から中世・近世にかけての複合遺跡で、小田井より南下する帯状低地に挟まれた標高 730m～ 691mの帯状微高地に広がる。本遺跡周辺では微高地が途切れ、西側にかけて緩やかな低地を形成し、西に向かって標高を低下させている。

柳堂遺跡Ⅱ付近では、北側で、内西浦遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、柳堂遺跡が、南側で観音堂遺跡が調査され、中世期の大集落が調査されている。

今回、北森政太郎氏により集合住宅建築の計画がされたため、代理者である株式会社レオパレス２１を通し保護協議を重ね、記録保存を目的とする試掘調査を実施した。試掘調査の結果、中世と考えられる遺構が検出されたため、再協議の結果、駐車場部分を埋土保存とし、遺構が破壊される建物基礎部分を、北森政太郎氏より依頼を受けた佐久市教育委員会において緊急に発掘調査を行った。

調査の概要

調査の結果、北側は現代の撹乱により著しく破壊を受けていたが、南側部分において、中世のピット群と幕末から近代にかけての土坑５基を検出した。遺構検出上面には、近世以降の整地層が存在し、遺物を包含していた。遺構検出面は、低湿地特有の粘土質黒色シルト層であった。
遺物は、中世の陶器・砥石・角釘、近世から近代にかけての陶磁器が出土した。

←ピット群（西より）

全景（北より）→

7　宮ノ前遺跡

所　在　地　佐久市岩村田字宮の前 1991-1、1992
調査委託者　黒澤　周一
開発事業名　宅地造成
調 査 期 間　平成 18 年 5 月 15 日～5 月 30 日
調 査 面 積　220 ㎡
調査担当者　上原　学

宮ノ前遺跡位置図(1:50,000)

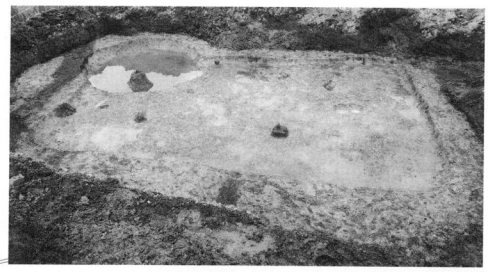
経過と立地

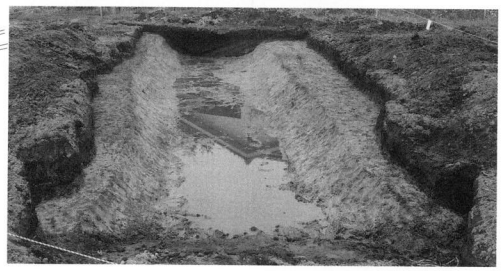
遺跡は佐久市岩村田市街地の西側、湯川右岸に広がる台地上に位置する。標高は 697mを測る。遺跡の南に広がる台地上は佐久市内でも有数の遺跡密集地域として知られ、弥生時代から中世にいたる遺構が多数調査され、西一本柳遺跡、北一本柳遺跡などが存在する。

今回、宅地造成に伴い試掘調査を実施した結果、住居址及び大規模な溝跡を発見したことから開発主体者と協議を重ね、発見された遺構の記録保存を目的として、発掘調査を実施する運びとなった。

調査の概要

調査遺構は、試掘調査によって発見された住居址2軒、土坑 1、溝跡 2 条である。住居址の1軒は弥生時代後期、1軒は弥生時代の土器数点を出土したが、検出時に掘方状態であったため時期の断定できなかった。土坑は時期不明だが、住居址を破壊していることから弥生時代以降と考えられる。北側の溝跡は確認面での幅 4.4mと大規模で、二段に掘り込まれている。底にゆくほど弥生時代後期の遺物出土量が増した。南に広がる弥生時代後期の集落を取り囲む環壕である可能性が伺える。





8　仲田遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市猿久保字仲田538-1、538-7、541-5
調査委託者　有限会社　YORI　CORPORATION
開発事業名　宅地造成
調 査 期 間　平成18年6月5日～6月20日
調 査 面 積　180㎡
調査担当者　上原　学

仲田遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

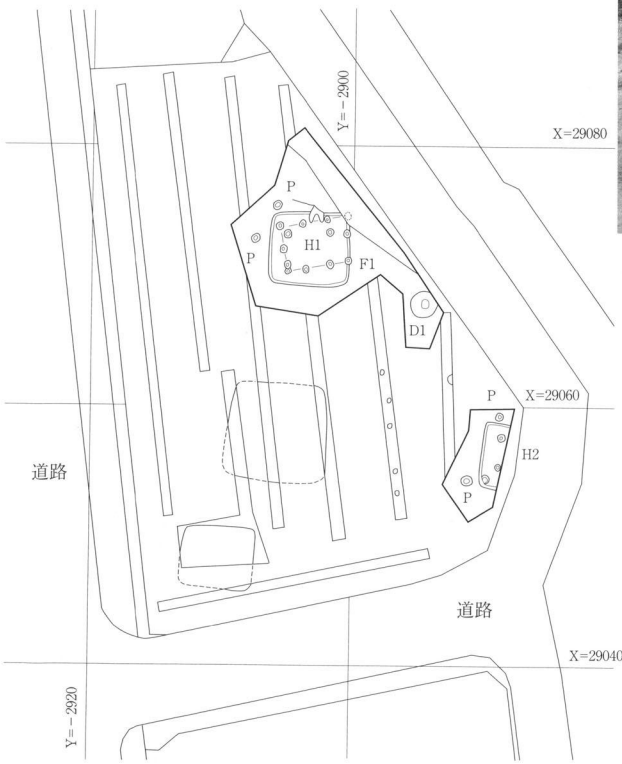
経過と立地

遺跡は湯川左岸の標高 678mを測る低位段丘上に位置する。遺跡内では、今回の調査対象地西側において道路建設に伴う仲田遺跡の調査が行われ、古墳～平安時代の住居址30軒等の遺構及び遺物が発見されている。遺物中には「寺」と墨書された須恵器坏、奈良時代の銅鏡（花卉双蝶八花鏡）等注目すべき遺物も含まれていた。

調査の概要

今回、宅地造成に伴う、試掘調査を実施した結果、住居址、土坑等の遺構を発見したことから、開発主体者と協議を重ね、遺構の破壊が予測される住居址2軒、土坑1基、掘立柱建物址1棟、ピットの調査を実施した。

住居址は古墳時代中期後半で、1号住居址からは比較的状態の良い土器が、2号住居址からは滑石性の勾玉が出土した。

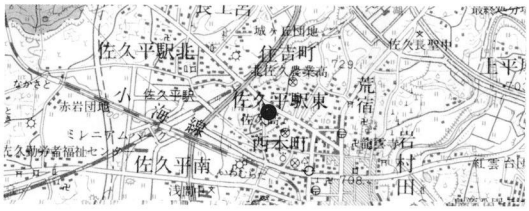


仲田遺跡Ⅱ調査区・試掘トレンチは位置図（1:500）

H1号住居址遺物出土状況
上段－全景
中段・下段－細部拡大

9　上直路遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市岩村田 1077-15、1077-8
調査委託者　上田　昭
開発事業名　集合住宅建築
調 査 期 間　平成 18 年 8 月 14 日～ 8 月 19 日
調 査 面 積　63 ㎡
調査担当者　上原　学



上直路遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

経過と立地

枇杷坂遺跡群上直路遺跡Ⅱは佐久市岩村田市街地の北西、浅間の麓から放射状にのびる田切り地形の台地南端付近に位置し、現況は南西に向かって緩やかに傾斜する。標高は 715m内外を測る。周辺には東方の上直路遺跡、南方の円正坊遺跡等が所在し、多数の遺構・遺物が発見されている。今回、集合住宅建設に伴い試掘調査を行った結果、住居址２軒を発見し、開発主体者と協議を重ね遺構の破壊が予測される１軒について発掘調査を実施する運びとなった。

調査の概要

住居址は５世紀後葉から６世紀代と思われる古墳時代で、検出面上に幾層にも堆積した砂層が存在した。このことから調査区周辺では少なくとも古墳時代以降、幾度かの水害に見舞われた可能性を伺い知ることができた。遺構の南側半分は調査区域外であったが、北壁中央に設置されたカマド、北側２本の主柱穴が調査可能であった。カマドは住居内に長く張り出した袖を持ち、火床中央付近から完形の小型鉢が出土した。

10　上直路遺跡Ⅲ

所　在　地　佐久市岩村田上直路 1086-1、1086-3
調査委託者　渡辺　一男
開発事業名　集合住宅建築
調 査 期 間　平成 18 年 10 月 5 日～ 10 月 20 日
調 査 面 積　340 ㎡
調査担当者　上原　学

上直路遺跡Ⅲ位置図(1:50,000)

経過と立地

枇杷坂遺跡群上直路遺跡Ⅲは佐久市岩村田市街地の北西、浅間の麓から放射状にのびる田切り地形の台地南端付近に位置し、現況は南西に向かって緩やかに傾斜する。標高は716m内外を測る。

周辺には多くの遺跡が所在し、弥生時代から平安時代を主とする遺構が多数発見されている。代表的なものでは、上直路遺跡Ⅲの西に近接して弥生時代後期の住居址２軒、古墳時代の住居址３軒を調査した上直路遺跡をあげることができる。調査は小規模であったが弥生時代の住居址内に屋内埋葬墓と思われる施設が存在し、両腕に併せて14点以上の帯状円環型銅釧を付けた人骨が発見され注目された。

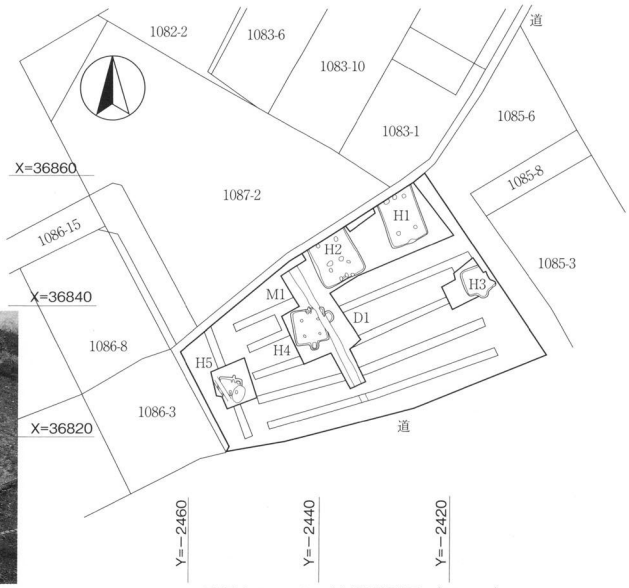
今回、集合住宅建設に伴い試掘調査を実施した結果、住居址等の遺構を発見したことから、開発主体者と協議を重ね、発見された遺構の記録保存を目的として、発掘調査を行う運びとなった。

調査の概要

調査遺構は弥生時代の住居址2軒、古墳時代の住居址3軒、溝跡1条、土坑1基である。弥生時代の住居址は後期箱清水期の南北に長い形態で、H2は短辺 7.4mを測る大型である。また、1号住居址南東コーナー付近からは状態の良好な甕が多数出土し、当時の様子を伺い知ることができた。炉は北側柱穴間と南西コーナー付近に小型のものが設置されていた。古墳時代の住居址は6世紀から7世紀代である。H3は 4×4.1mを測り、南東コーナー付近にカマドが構築されていた。南壁中央付近には張り出しを持ち、出土遺物から6世紀代の住居址と思われる。H4は北カマドで南壁中央に張り出しを持ち、張り出し部に掘り込まれた土坑上にほぼ完形の土師器甕が横たわっていた。この甕は佐久地域では認められない形態であることから他地域からの搬入品である可能性が考えられる。7世紀代と思われる。H5は3.4×2.3mを測る小型の住居でカマドは北壁のやや東寄りに設置されている。カマド内から完形の小型甑が出土した。6世紀と思われ、H3と同時期又は近い時代と思われる。

これらの調査によって、調査区一帯は弥生時代後期及び古墳時代後期の複合遺跡であることが確認された。

H1号住居址



試掘トレンチ・遺構配置図（1:1,000）

H1号住居址遺物出土状況→
出土土器↓

H4号住居址↓　出土土器→

11　石田遺跡

所　在　地　佐久市志賀字辻畑 5942-1
調査委託者　森田松助
開発事業名　集合住宅建設
調 査 期 間　平成 18 年 10 月 30 日～平成 19 年 3 月 31 日
調 査 面 積　264 ㎡
調査担当者　冨沢一明

石田遺跡位置図(1:50,000)

経過と立地

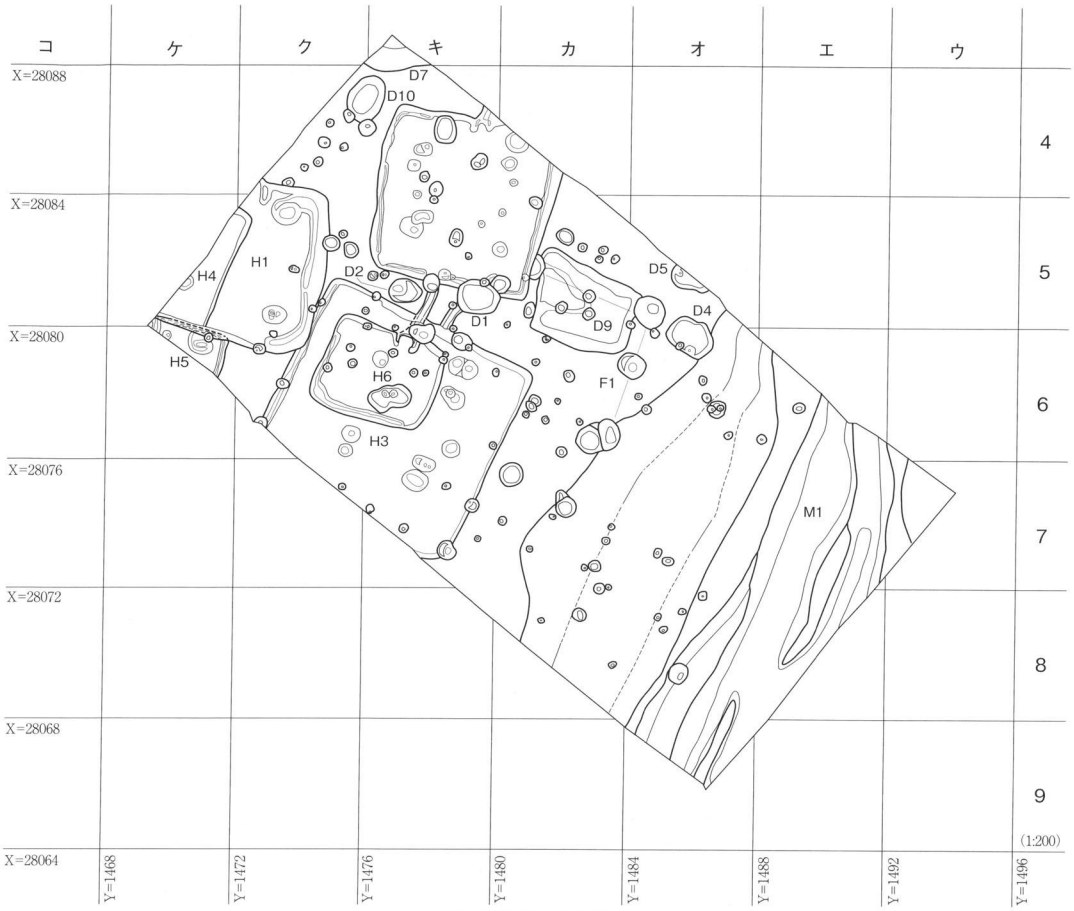
石田遺跡は佐久市志賀に所在する。遺跡は群馬県境に連なるいわゆる関東山地北西部から西にのびる山地末端の沖積上に立地する。この沖積地の一部分にはかつて浅間山噴火に伴う軽石流によって志賀川が堰き止められ「志賀湖」が存在したことが戦国期の絵図に描かれている。その後戦国末期から江戸初期にかけて開削作業が行われ、水田が開かれたと伝えられている。今回の調査地点西方 200m にも通称「船着き岩」と呼ばれる岩山が存在するが、今回の調査成果からは遺跡が湖岸に立地していた確証は得られなかった。

今回、集合住宅建設のため森田松助氏より予定地の遺跡有無について照会があった。佐久市教育委員会では開発対象地に石田遺跡が存在することを回答し、試掘調査を行うこととなった。結果、試掘調査により遺構が発見されたため、保護協議の後に記録保存目的の発掘調査を行う事となった。

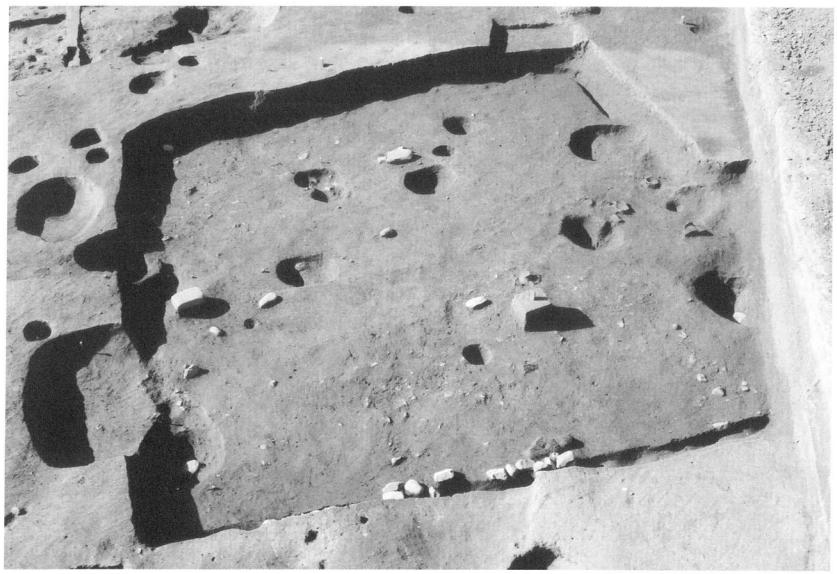
調査の概要

○遺構　竪穴住居址 - 6 軒（古墳～平安）
　　土　　坑 - 7 基
　　掘立柱建物址 - 1 棟
　　溝 状 遺 構 - 1 本
　　ピ　ッ　ト - 115 個

○遺物　須恵器・土師器
　　陶磁器類（青磁）
　　石製紡錘車



石田遺跡調査全体図



←H２号住居址

12−1　岩村田遺跡群　西一本柳遺跡XIV

所　在　地　佐久市岩村田1809他
調査委託者　佐久市都市計画課
開発事業名　街路整備事業（原東1号線）
調 査 期 間　平成18年4月5日～12月30日
調 査 面 積　4,460㎡
調査担当者　須藤　隆司

西一本柳遺跡XIV位置図（1:50,000）

経過と立地

西一本柳遺跡は、佐久市岩村田地籍に所在し、湯川右岸の台地上に立地する。過去13回の本調査が実施されており、竪穴住居址500軒以上が検出された拠点的な古代集落であることが判明している。時代は弥生時代中期から中世に至るが、特に有孔石剣、人面付土器の人面部が検出された弥生時代中期・後期の「環濠集落」が地域社会のあり方を提示している。

今回、遺跡内に佐久市が道路建設を計画したため、記録保存を目的とした発掘調査を実施した。

調査の概要

弥生時代中期から平安時代の竪穴住居址44軒、溝址10基、土坑6基、井戸7基などが検出された。特に弥生時代中期・後期の竪穴住居址は、それぞれに集落を廻る環濠と考えられる溝に囲まれていた。弥生時代後期の竪穴住居址には長軸長10m、短軸長6.6mの大型住居址があり、ガラス小玉・ヒスイ小玉が検出されている。

↑ガラス・ヒスイ小玉が検出された大型住居址（H37号住居址）

弥生時代後期の環濠と考えられる溝址（YM2号溝址）→

12−2　岩村田遺跡群　東大門先遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市岩村田字東大門先 2071
調査委託者　佐久市都市計画課
開発事業名　都市計画道路　原東１号線造成工事
調 査 期 間　平成 18 年５月 10 日～６月１日
調 査 面 積　681 ㎡
調査担当者　森泉かよ子　須藤　隆司

東大門先遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

経過と立地

東大門先遺跡Ⅱは、佐久市岩村田地籍に所在し、東西方向に流れる湯川右岸の台地上にある。岩村田市街地の南西、標高 700mを測る。湯川層を地盤としている。

平成17年２月から一本柳遺跡群は岩村田遺跡群に統括された。一本柳地籍は南に湯川、北に水田に挟まれ東西方向の丘陵状を呈す。中央から西半分を西一本柳遺跡、東半分を東一本柳遺跡、中央から北部を北一本柳遺跡と呼称している。その東一本柳の東隣に東大門先遺跡がある。平成元年３月に市道の改良工事に伴う発掘調査が行われ、環濠とみられる弥生後期末の南北方向の溝が検出されている。

一本柳地区では、昭和43年度に東一本柳遺跡が、また昭和46年度には金銅製馬具の飾り金具などを出土した東一本柳古墳が発掘された。さらに平成４年度の公共下水道事業に伴う西一本柳遺跡Ⅱ、また平成７・８年度の国道 141 号線の工事に伴う西一本柳遺跡Ⅲ～Ⅵ、平成12・13年度の市道 11－１号線緊急地方道路整備事業に伴う西一本柳遺跡Ⅷ、平成14年～18年度の店舗新築に伴う西一本柳遺跡Ⅸ～ⅩⅢが発掘された。これまで、竪穴住居址 500 棟近くが調査され、密集した原始・古代の集落であることが判明している。

調査の概要

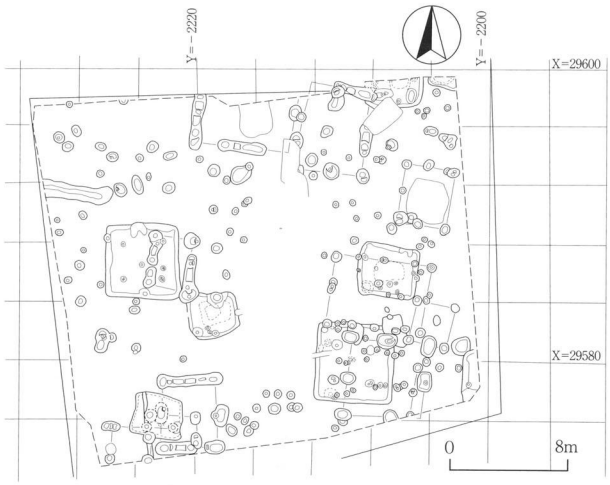
主な遺構

竪穴住居址	古墳中期	－ 2 棟
	奈良・平安期	－ 6 棟
掘立柱建物址		－ 12 棟
土坑		－ 2 基
溝	奈良	－ 1 本
単独ピット		－ 124 個

主な遺物

土師器・須恵器、青銅製刀口金物・鉄製品

東大門先遺跡Ⅱ全景（北西より）



東大門先遺跡Ⅱ全体図

12−3　岩村田遺跡群　北一本柳遺跡Ⅲ

所　在　地　佐久市岩村田字北一本柳 2015-1
調査委託者　佐久市都市計画課
開発事業名　都市計画道路　原東１号線造成工事
調 査 期 間　平成 18 年５月 23 日～７月 10 日
調 査 面 積　1,217 ㎡
調査担当者　森泉かよ子　須藤　隆司

北一本柳遺跡Ⅲ位置図(1:50,000)

経過と立地

北一本柳遺跡Ⅲは、佐久市岩村田地籍に所在し、東西方向に流れる湯川右岸の台地上にある。本調査区と一部重複して、昭和46年３月に宅地造成に伴う遺跡の破壊が懸念されたため、学術調査を行っている（ｓ47刊　岩村田西一本柳　佐久市岩村田一本柳遺跡緊急発掘調査概報)。今回、埋め戻されている土を掘り起こし、46 年当時未調査である床下･ピットを調査し、また新たな地点の調査もおこなった。

北一本柳遺跡は平成15年にアパート建設に伴う調査が行われ、この西一本柳遺跡Ⅱの調査では４棟の弥生後期の竪穴住居址と土坑、時期不明の溝址２本が検出された。Ｈ２号住居址と土坑からは銅釧が各１点出土している。北一本柳の北にある宮の前遺跡では宅地造成に伴う調査が平成 18年５月に行われ、弥生時代後期の竪穴住居址１棟、時期不明の竪穴住居址と土坑が検出された。住居の北側には東西方向の環濠と思われる大溝があり、幅 4.4m、深さ 1.3m以上を測る。今回検出された南北方向の環濠と思われる溝と関連が注目される。

調査の概要

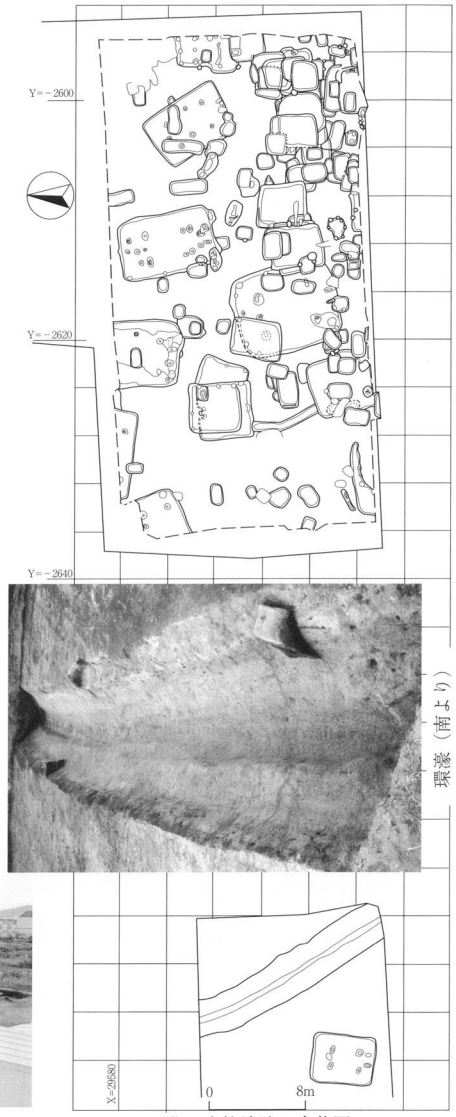
○主な遺構

竪穴住居址　弥生後期－８棟　古墳中期－１棟
竪穴状遺構（中世）－10 棟
土坑（中世）－139 基
溝址－１本
ピット－298 個

○主な出土遺物

弥生土器、土師器・須恵器・翡翠製勾玉（古墳時代）
カワラケ・内耳・渡来銭・角釘・陶磁器

北一本柳遺跡Ⅲ　全景（南より）



北一本柳遺跡Ⅲ全体図

13　市道遺跡Ⅳ

所　在　地　佐久市三塚44-1、39-4、39-2
調査委託者　佐久市都市計画課
開発事業名　市道改良
調 査 期 間　平成18年10月30日～平成19年2月28日
調 査 面 積　400㎡
調査担当者　羽毛田卓也

市道遺跡Ⅳ位置図(1:50,000)

経過と立地

市道遺跡は三塚から跡部地籍に位置する古墳時代から中世にかけての複合遺跡で、北進する千曲川と片貝川に挟まれた帯状の河岸段丘上（標高670m前後）に展開し、古墳時代～平安時代にかけての大集落が調査により確認されている。

今回、佐久市都市計画課により市道改良工事が計画されたため、保護協議を重ね、記録保存を目的とする試掘調査を実施した。試掘調査の結果、古墳時代と考えられる遺構が検出されたため、再協議の結果、佐久市教育委員会において緊急に発掘調査を行った。

調査の概要

調査の結果、古墳時代後期～平安時代の遺物包含層下部から古墳時代後期と考えられる住居址2軒を検出した。2軒ともに現道下部よりの検出で、遺構が継続する現水田部分は、圃場整備により削平され、遺構を確認することはできなかった。

14　大豆田遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市長土呂 1720-6 他
調査委託者　佐久市高速交通課
開発事業名　臨時交付金事業市道2-5 号線（常田線）
調 査 期 間　平成 18 年 4 月 5 日～平成 19 年 3 月 30 日
調 査 面 積　1,300 ㎡
調査担当者　林　幸彦　佐々木宗昭

大豆田遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

経過と立地

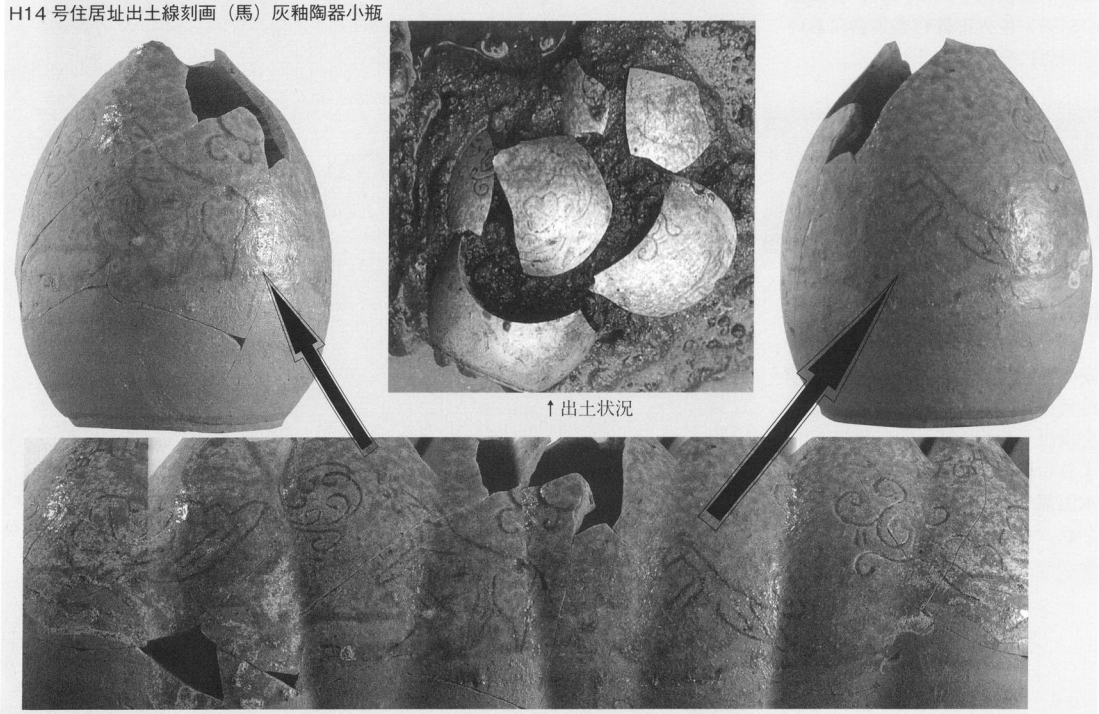
大豆田遺跡は、佐久市長土呂に所在し、佐久市の北西部に位置する。浅間第一軽石流の堆積と浸食によって形成された田切り地形が発達する。田切りは南西方向に放射状に延び谷地形となっている。台地上には原始から中世の人々の痕跡が多く残されている地点である。標高は 740m内外を測る。この付近は圃場整備、高速道路、新幹線、佐久平駅周辺の区画整理事業などにより弥生時代から中世にわたる遺構・遺物が発掘調査によりすでに検出されている。

平成18年度は、現状道路の南側拡幅部分のうち、東半分にあたる約東西 200mの調査をした。今年度は、残りの約 1,300 ㎡を調査した。

調査の概要

○検出遺構　竪穴住居址 - 21 棟、掘立柱建物址 - 6 棟、溝址 - 18 本、土坑 - 24 基、ピット - 100 基
○出土遺物　弥生時代後期 - 弥生土器、石器
古墳・奈良・平安時代 - 土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品（砥石）、鉄器
中世 - 陶磁器、渡来銭

H14 号住居址出土線刻画（馬）灰釉陶器小瓶



↑出土状況

↑簡易展開写真

15　東五里田遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市野沢東五里田5-1
調査委託者　佐久市教育委員会学校教育課
開発事業名　野沢中学校校庭造成工事
調 査 期 間　平成18年4月5日～5月1日、9月15日～11月22日
調 査 面 積　6,300㎡（開発面積15,120㎡）
調査担当者　森泉かよ子　小林眞寿

東五里田遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

経過と立地

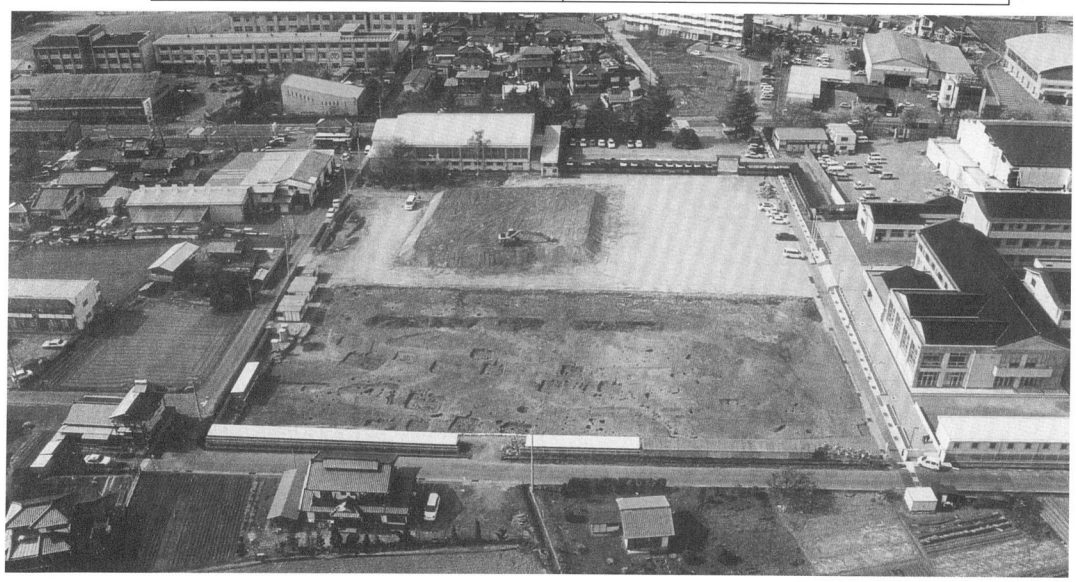
東五里田遺跡は佐久市の南部、佐久市野沢地区に所在する。千曲川左岸にあたり、千曲川により形成された沖積地に立地し、標高 673mを測る。平成15年に野沢中学校管理居特別教室棟・普通教室棟・屋内運動場の改築工事に先立つグランド部分のⅠ次の調査では、弥生時代前期、奈良時代、中世の遺構が検出されている。

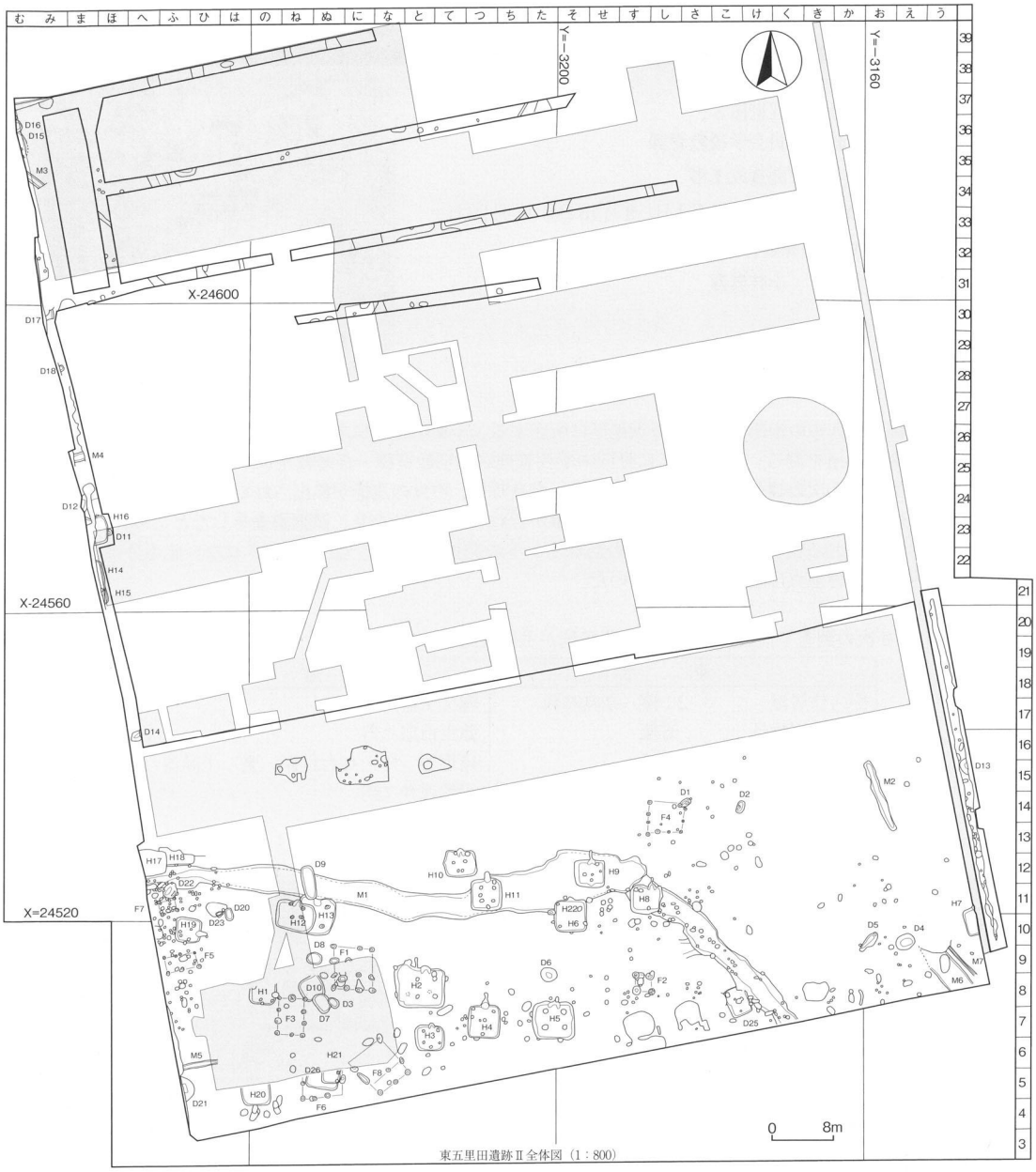
今回、引き続き佐久市立野沢中学校の校庭造成工事が行われることになり、試掘調査をしたところ、遺構・遺物が検出された。削平される南側と校庭を取り囲む防球ネットの発掘調査を行った。破壊されない北半分は埋土保存し、南側半域の内、旧校舎地点は既に破壊されていた。

調査の概要

（平成18年）　Ⅱ次の調査では奈良時代の竪穴住居址が主に検出された。

遺　　構		遺　　物
竪穴住居址	21棟（奈良時代）	縄文土器
掘立柱建物址	6棟	弥生前期土器
土坑	25基	須恵器（杯・高台付杯・甕）土師器（甕・杯）
ピット	431個	青磁連弁文碗
溝	7本	鉄製品
		寛永通寶





東五里田遺跡Ⅱ全体図（1：800）

16　大豆田遺跡Ⅲ

所　在　地　佐久市長土呂 1704-6 外
調査委託者　佐久市高速交通課
開発事業名　道水路新設改良事業市道 S1-99 号線（常田線北）
調 査 期 間　平成 19 年 1 月 5 日～3 月 27 日
調 査 面 積　2,250 ㎡
調査担当者　林　幸彦　佐々木宗昭

大豆田遺跡Ⅲ位置図(1:50,000)

経過と立地

大豆田遺跡は、佐久市長土呂に所在し、佐久市の北西部に位置する。浅間第一軽石流の堆積と浸食によって形成された田切り地形が発達する。田切りは南西方向に放射状に延び谷地形となっている。台地上には原始から中世の人々の痕跡が多く残されている地点である。標高は 740m内外を測る。この付近は圃場整備、高速道路、新幹線、佐久平駅周辺の区画整理事業などにより弥生時代から中世にわたる遺構・遺物が発掘調査によりすでに検出されている。

今回、大豆田遺跡Ⅰ・Ⅱの調査を行った市道常田線と、市道 S8-1 号線を連結する市道 S1-99 号線の道水路新設改良事業が佐久市高速交通課により計画されたため、同課から委託を受け遺跡の記録保存調査を実施した。

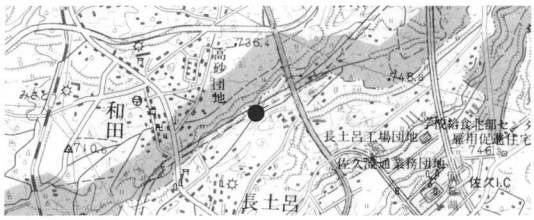
調査の概要

○遺構　住居址（弥生後期～平安）- 26 軒、掘立柱建物址 - 9 棟、土坑 - 34 基、溝址 - 22 条、ピット - 117 基
○遺物　土器（弥生・奈良・平安時代）

調査風景

17　北近津遺跡Ⅱ

所　在　地　佐久市長土呂 1069-8 外
調査委託者　佐久市高速交通課
開発事業名　高速道関連県費補助事業（ひばりヶ丘側道）
調 査 期 間　平成 18 年 9 月 5 日～平成 19 年 3 月 23 日
調 査 面 積　767 ㎡
調査担当者　林　幸彦　佐々木宗昭



北近津遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)

経過と立地

近津遺跡群は佐久市の北部に位置し、北側を湧玉川の流れる田切谷に、南側を別の田切谷により区切られた台地上に展開している。遺跡群の西方には西近津遺跡群が、また南方には田切谷を挟み周防畑遺跡群が存在する。この付近一帯は、古代佐久郡衙所在地の候補地のひとつでもあり、標高は720m台である。北近津遺跡は同遺跡群内の北部に展開しており、昭和47年に民間の宅地造成に伴い記録保存調査が実施され、古墳時代の集落址が検出されている。

今回、佐久市高速交通課の高速道関連県費補助事業（ひばりヶ丘側道）により遺跡の破壊が余儀なくなったため、記録保存調査を実施した。

調査の概要

○遺構　住居址（弥生後期）－４軒、土坑－６基、溝址－３条、ピット－30 基
○遺物　土器（弥生・古墳・奈良・平安時代）、石器

H1号住居址

H2号住居址

H3号住居址

M1号溝址

18　西一里塚遺跡Ⅲ

所　在　地　佐久市平塚屋敷前210
調査委託者　佐久市高速交通課
開発事業名　道水路新設改良事業
　　市道S2-232号線［平塚］
調 査 期 間　平成18年11月27日～12月21日
調 査 面 積　540㎡
調査担当者　森泉かよ子　羽毛田卓也

西一里塚遺跡Ⅲ位置図(1:50,000)

経過と立地

西一里塚遺跡Ⅲは佐久市の北西、平塚地籍にある。東側に濁り川が南流し、右岸の河岸段丘上に立地する。標高684m内外を測る。平成17年に(財)長野県埋蔵文化財センターが中部横断道路に伴う発掘調査を行い、弥生時代中期・後期の住居址・周溝墓、水田面を検出している。平成15・16年には佐久市教育委員会が道路改良事業に伴う西一里塚遺跡Ⅱの発掘調査をし、弥生後期の竪穴住居址7棟、土坑1基、ピット74個、溝址3条が検出されている。

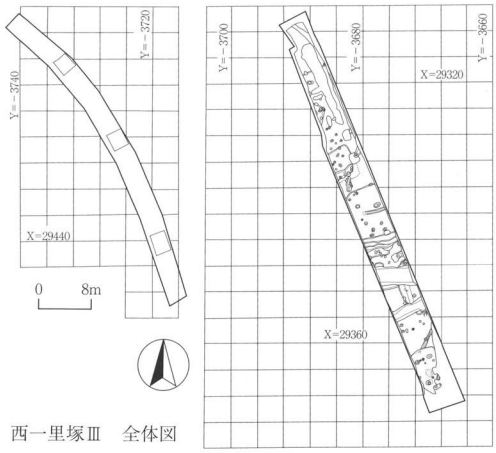
昭和47・48年の佐久平地区圃場整備事業に伴い西一里塚遺跡、本遺跡の南の餅田遺跡の発掘調査がなされ、餅田遺跡では弥生時代後期以降の溝3条、西一里塚遺跡からは弥生時代後期以降の環濠と考えられる溝址、それに囲まれる竪穴住居址11棟、土坑7基、溝址6条などが調査されている。さらに古くは餅田遺跡で昭和9年に土製の勾玉と紡錘車が出土している。弥生時代の集落として周知の遺跡である。

今回、道水路新設改良事業　市道Ｓ２－232号線［平塚］の改良事業が計画されたため、発掘調査を実施した。

調査の概要

今回の調査区は、現道と用水部分の幅7m内外、南北112mの細長いものである。中部横断道路により南と北に分かれ、南側は62mを全面調査、北側は50mの内3箇所にトレンチを入れている。調査区の幅7m内外は、現道幅2.5m、常木用水分流幅2mのU字溝と拡幅部である。発掘調査では、U字溝部分は既に遺構面が破壊されており、撤去せずに調査した。調査区南側は幅5m内外、延長62mを発掘調査し、弥生時代中期・後期の竪穴住居址7棟、溝址7条、土坑1基を調査した。住居址は圃場整備、道路造成時に床面近くまで削平され、四壁を留めていない。幅も狭く住居址の形態はつかめていない。北側は現地表より3箇所を2m近く下げた。湧水が激しく、危険であるため土層観察を行い、地表から2mでは浅間第1軽石流の地層に至らず、低地であった。

主な出土遺物は、弥生時代中期・後期の土器で、M7の幅3mの東西の溝址は弥生後期の環濠と考えられる。



西一里塚Ⅲ　全体図

19　森平遺跡

所　在　地　佐久市横和 936-1　外
調査委託者　佐久市高速交通課
開発事業名　市道改良工事
調 査 期 間　平成 18 年 12 月 4 日～平成 19 年 1 月 25 日
調 査 面 積　471 ㎡
調査担当者　冨沢一明

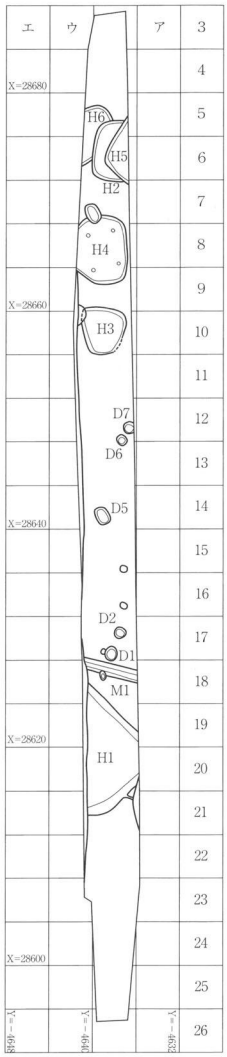
森平遺跡位置図(1:50,000)

経過と立地

森平遺跡は佐久市横和に所在する。遺跡は湯川の第一河岸段丘面に立地する。今回、市道改良の為の拡幅工事に伴い佐久市高速交通課より予定地の遺跡有無について照会があった。佐久市教育委員会では予定地に森平遺跡が存在することを回答し、試掘調査を行うこととなった。結果、試掘調査により遺構が発見されたため、保護協議の後に記録保存目的の発掘調査を行う事となった。

調査の概要

調査の結果、弥生時代から平安時代の集落址が検出された。今回の調査範囲は道路幅という事もあり集落の全容は把握できないが、遺跡は東西方向へ広がることが予想され、「中部横断道」建設時に長野県埋蔵文化財センターにより調査された弥生中期集落の一部であることが予想された。



○遺構
竪穴住居址 - 6 軒
(弥生中期 3 軒・平安 3 軒)
土坑 - 10 基
(土坑墓含む)
溝状遺構 - 2 本
ピット
○遺物
弥生中期土器（栗林式）
石器、石臼
土師器
須恵器
陶磁器
獣骨

20　須釜遺跡

所　在　地　佐久市蓬田字須釜・尾尻
調査委託者　佐久市土木課
開発事業名　道路改良工事
調 査 期 間　平成18年9月12日～平成19年3月31日
調 査 面 積　80㎡
調査担当者　冨沢一明

須釜遺跡位置図(1:50,000)

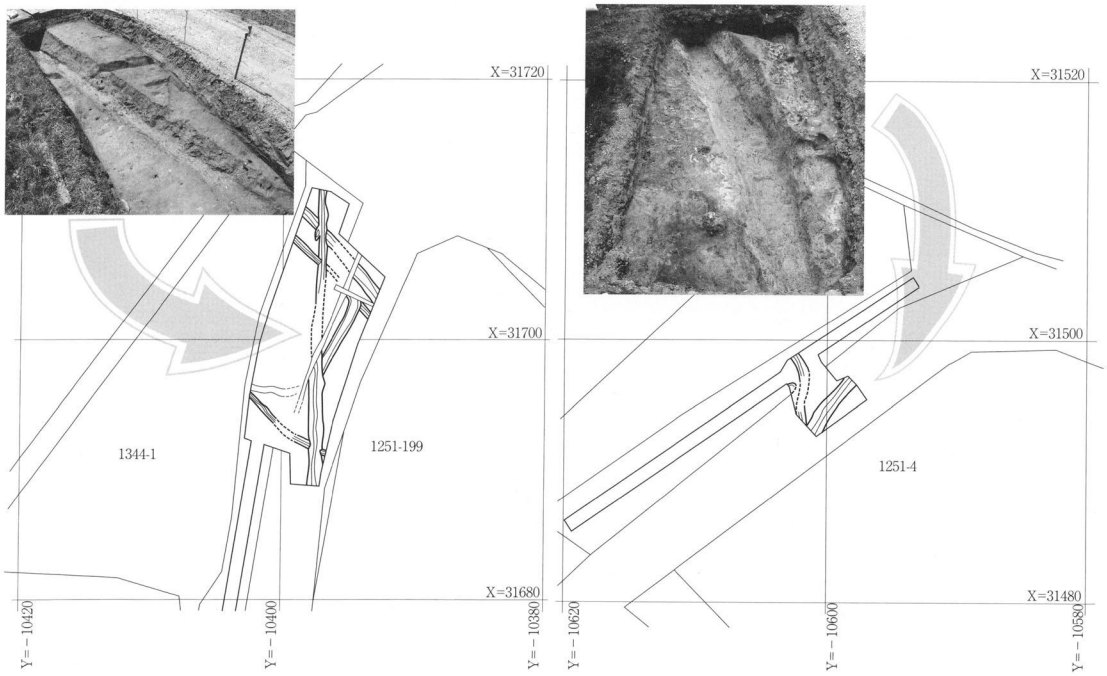
経過と立地

須釜遺跡は佐久市蓬田に所在する。遺跡は八ヶ岳及び烏帽子岳の火山活動により形成された御牧ヶ原台地東側の丘陵縁辺に立地し、現況は東丘陵側に広がる畑地と西に広がる圃場整備水田の境に位置する。遺跡周辺の標高は780m内外を測る。当地籍からは現在、国重要文化財に指定されている「鉄鐘」が発見されている。この「鉄鐘」は高さ43.4㎝を測り、その形態的特徴から平安初期の所産と考えられている。東国における古代の梵鐘例は非常に少なくまた、和鐘の初期形態を示している事から非常に希少な資料とされている。

昨年度に引き続き、市道改良の為の拡幅工事に伴い調査を行うこととなった。結果、昨年度に発見された遺構が現道下に続いていたことから、保護協議の後に記録保存目的の発掘調査を行う事となった。

調査の概要

今回の発掘調査は合計146㎡という極めて小規模な発掘調査であったが、旧浅科村エリアの御牧ヶ原台地では初めての発掘調査となった。開発対象地域が須釜原窯址群の中央を走る市道改良であり、また地元の方々の話でも市道脇民家の裏などに窯址がかつて存在した話などがあったため、当初は窯址発見の期待もかかったが、結果、溝状遺構の検出にとどまった。しかし、近現代に連なる溝もあったが、出土遺物や覆土の状況からM２・３・４・５号溝状遺構は帰属が古代と考えられ、M2号溝状遺構出土の土師器坏類から９～10世紀、平安時代の所産時期が類推できた。



21　松の木遺跡Ⅳ

所　在　地　佐久市岩村田字下塚本1361外
調査委託者　佐久市学校教育課
開発事業名　浅間中学校整備事業
調 査 期 間　平成18年11月9日～平成19年3月23日
調 査 面 積　36,000㎡
調査担当者　林　幸彦　森泉かよ子

松の木遺跡Ⅳ位置図(1:50,000)

経過と立地

松の木遺跡は佐久市の北部にあり、標高は696mを測る。浅間中学校西側の国道141号線建設や、店舗建築に伴い、弥生時代後期後半及び弥生時代末期から古墳時代前期の集落が検出されている。また、本遺跡の北方に隣接する円正坊遺跡群からは、弥生時代中期～中世に及ぶ極めて密度の濃い遺構群により構成される集落址が検出されている。今回佐久市教育委員会学校教育課により、遺跡内に所在する浅間中学校の新築工事が行われることとなり、事前に試掘調査（平成17年度ー松の木遺跡6）を実施した結果、現グランド部分に水田遺構と思われる土層が確認されたため、今年度本調査を実施した。

調査の概要

○遺構　水田址－弥生後期・戦国時代
○遺物　弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・石器

松の木遺跡Ⅳ空中写真

22　五庵遺跡

所　在　地　佐久市田口 2955、2957-8
調査委託者　佐久市児童課
開発事業名　田口児童館建設
調 査 期 間　平成 18 年 7 月 12 日～平成 19 年 3 月 31 日
調 査 面 積　3,600 ㎡
調査担当者　羽毛田卓也

五庵遺跡位置図(1:50,000)

経過と立地

五庵遺跡は田口地籍に位置する縄文時代から中世・近世にかけての複合遺跡で、西進する雨川北側に向かって成立している小扇状地上（標高 720m 前後）に展開する。遺跡北側には田口氏により築城された田口城跡が存在する。

今回、佐久市児童課により「田口児童館」が計画されたため、保護協議を重ね、記録保存を目的とする試掘調査を実施した。試掘調査の結果、平安・中世と考えられる遺構が検出されたため、再協議の結果、駐車場・広場部分を埋土保存とし、遺構が破壊される建物基礎部分を、佐久市教育委員会において緊急に発掘調査を行った。

調査の概要

調査の結果、中世以降と考えられる柱穴址 45 基と中世の竪穴遺構 1 基、古代以前の小河川流路跡 1 条を検出した。遺構検出面の基盤土は、小河川の氾濫による土石流状の堆積土で、その下部には、基盤土である、雨川による河川性堆積土（シルト・粘土）が存在する。基盤土までは、70 ～ 100 cmを測る。

←西側ピット群・竪穴遺構（西より）

東側全景（南より）→

23　西近津遺跡Ⅲ

所　在　地　佐久市長土呂 1741-1 外
調査委託者　佐久市高速交通課
開発事業名　高速道関連県費補助事業（市道 S1-94 号線）
調 査 期 間　平成 18 年 6 月 12 日～平成 19 年 3 月 27 日
調 査 面 積　850 ㎡
調査担当者　林　幸彦

西近津遺跡Ⅲ位置図(1:50,000)

経過と立地

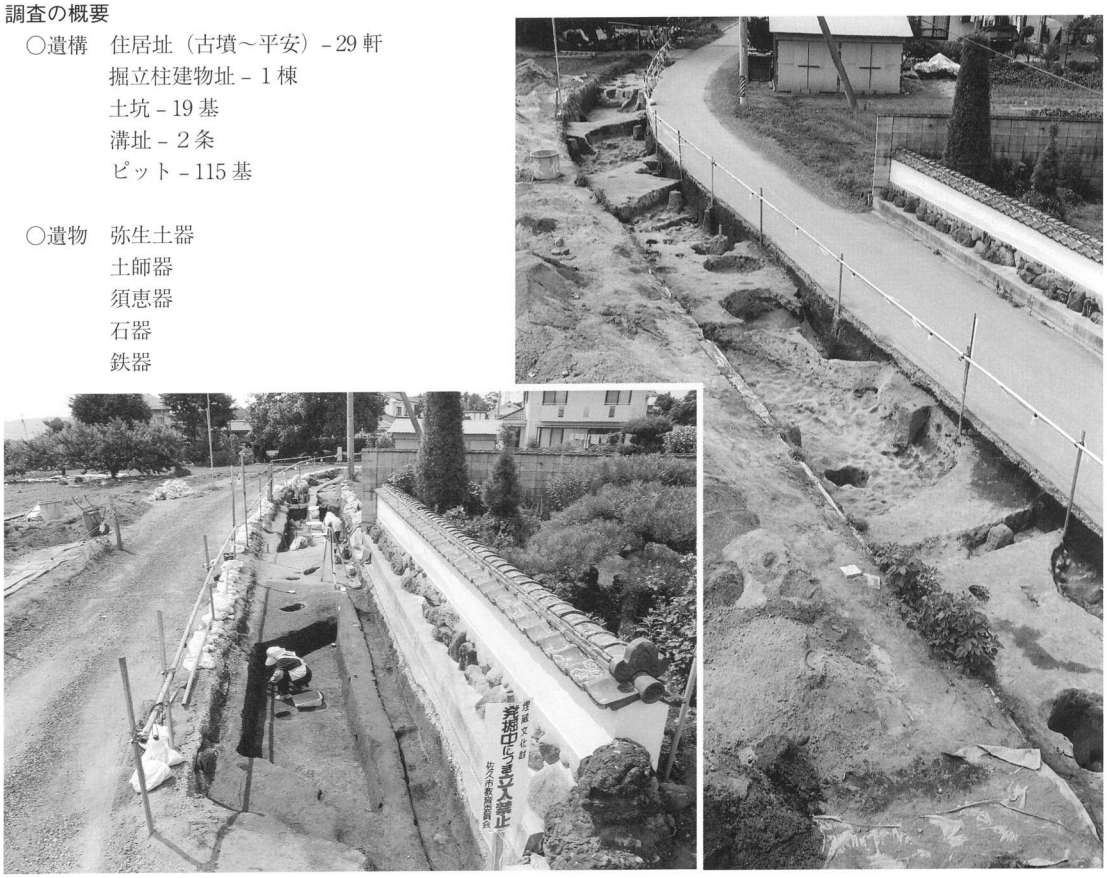
西近津遺跡群は小諸佐久市境となっている湧玉用水の流れる大田切により北方を、南方を埋没田切と思われる浅谷地形により区画された台地上に展開する。遺跡群の東には隣接して近津遺跡群、南には周防畑遺跡群が隣接する。遺跡群内では、西近津遺跡（S46）、森下遺跡（S63）、西近津遺跡Ⅱ(H16）などの本調査のほか、多くの試掘調査が実施されている。

今回、佐久市高速交通課による高速道関連県費補助事業市道 S1-94 号線（森下２）改良工事が遺跡群内で計画され、遺跡の破壊が余儀ない事態となったため、事前に記録保存調査を実施した。

調査の概要

○遺構　住居址（古墳～平安）- 29 軒
　　掘立柱建物址 - 1 棟
　　土坑 - 19 基
　　溝址 - 2 条
　　ピット - 115 基

○遺物　弥生土器
　　土師器
　　須恵器
　　石器
　　鉄器



調査風景・遺跡近景

24　龍岡城跡

所　在　地　佐久市田口3000
調査委託者　佐久市教育委員会
開発事業名　史跡整備
調 査 期 間　平成18年5月24日～平成19年6月31日
調 査 面 積　32.5㎡
調査担当者　出澤　力

龍岡城跡位置図(1:50,000)

経過と立地

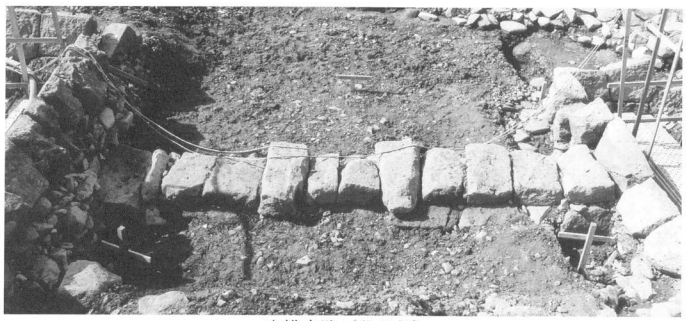
龍岡城跡は1867年（慶応3年）に竣工した城郭の体裁を持った田野口陣屋跡地で、五稜の星型を呈する内城と堀・石垣、外城北西部の枡形が、昭和9年5月1日に国の史跡として指定された。城内には田口小学校が存在する。築城より140年が経過し、石垣の石の圧壊と、記念樹として土塁上に植えられ続けた桜の木の根のよる押圧による孕みなどにより、諸所崩壊・崩落の危険箇所が増加している。

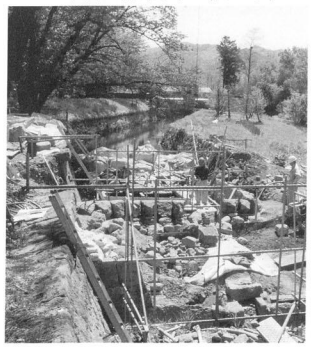
今回、特に崩壊の著しい南側排水口を保存修理することとなり、修理箇所の石垣構築状況の把握と修理方法の確定のために、一部工事と併行しながら調査を行った。

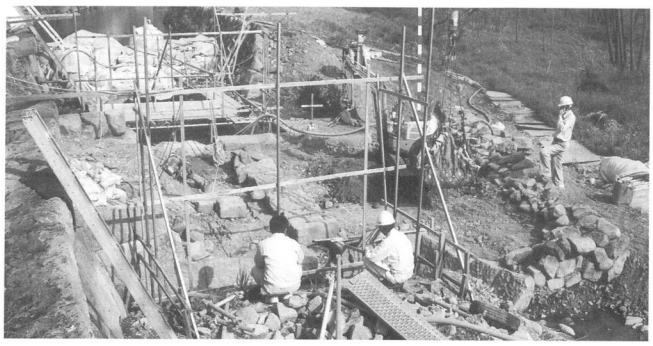
調査の概要

調査の結果、排水口下部に設けられた暗渠状の排水路は、後世に設置されたものであることが判明した。東から南側堀内部で水田が営まれていた時期があり、その排水のために設置されたものと考えられる。排水設置工事は、排水口を「コ」の字に囲む石垣裏面の粘土層を破壊し、それを復元しなかったために、排水により土砂が徐々に流失し、排水口の地盤を沈下させたと考えられる。また、その沈下した石垣の修復が近年行われたと考えられ、広範囲に構築層が破壊され、復元されなかったため、短期間でまた石垣の沈下が起こり、今に至っていると考えられる。なお排水設置による破壊は昭和初期と戦中・戦後の2回行われている。

↑石垣構築状況（西より）


↑排水路（北より）

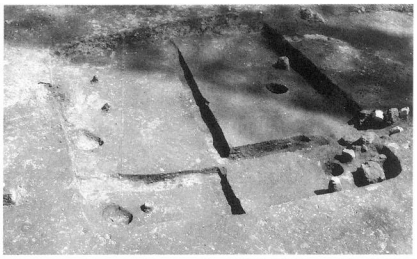

←石積（西より）

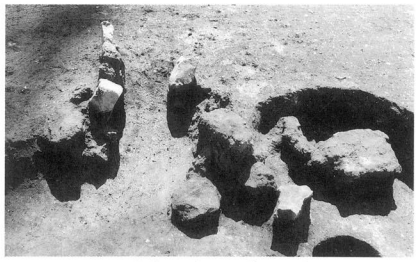

石垣（石取外後）
最下部（西より）
→

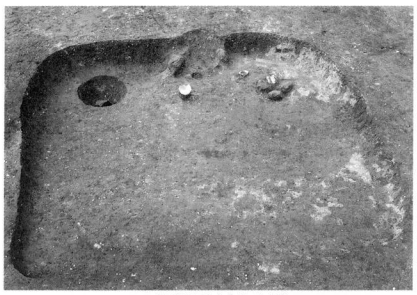
1　円正坊遺跡Ⅵ調査報告書　－その2－

円正坊遺跡Ⅵ　H36 号住居址出土銅鏃

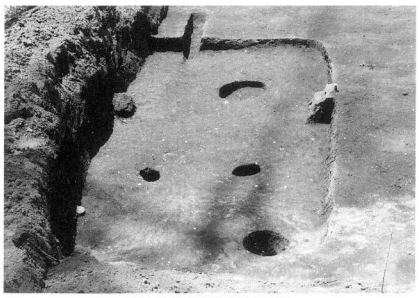
円正坊遺跡Ⅵ　H９号住居址出土皇朝十二銭「貞観永寶」


H1号住居址(南から)

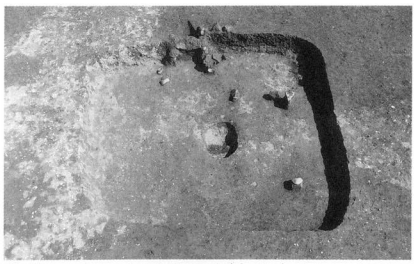

H1号住居址カマド(西から)

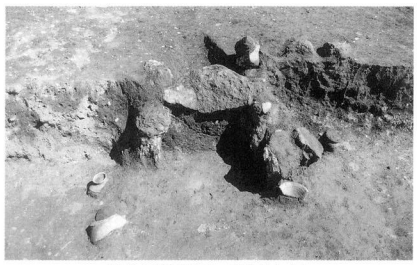

H2号住居址(南から)

H2号住居址カマド(南から)

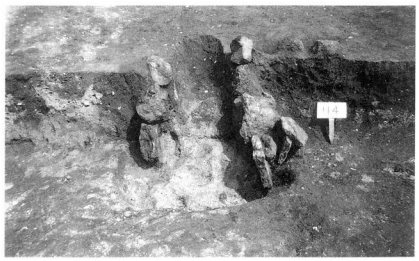

H3号住居址(北から)

H3号住居址カマド(東から)

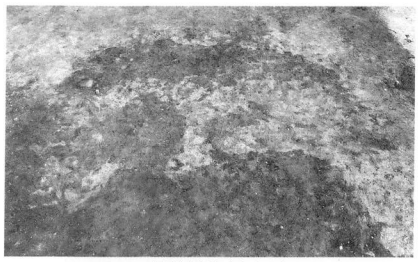

H4号住居址(南から)


H4号住居址カマド(南から)

H4号住居址獣骨出土状況


H4号住居址カマド(南から)

H5号住居址(北から･北にD4　南にD1)


H7号住居址(南から)

H7号住居址掘方(南から)

H9号住居址(南から)

H9号住居址カマド(東から)

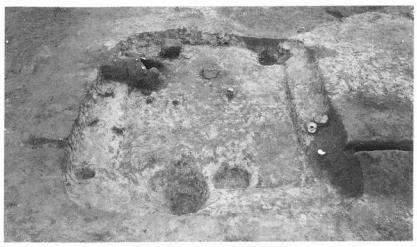
H6号住居址(南西から)

H6号住居址カマド(南から)

H8号住居址(南から)

H8号住居址カマド(南から)

H8号住居址カマド(南から)


H10号住居址(北から)

H10号住居址カマド(西から)

H10号住居址カマド(南から)

H10号住居址カマド(西から)

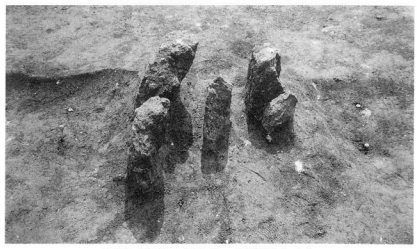
H11号住居址(西から)

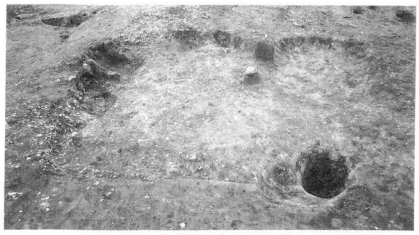
H10号住居址カマド(西から)

H10号住居址遺物出土状況(北から)

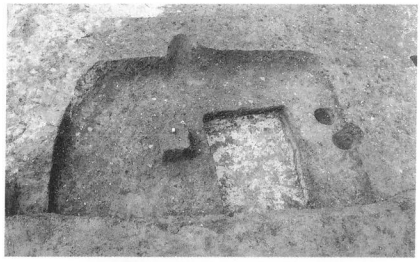
H10号住居址遺物出土状況(西から)

H10号住居址遺物出土状況(東から)

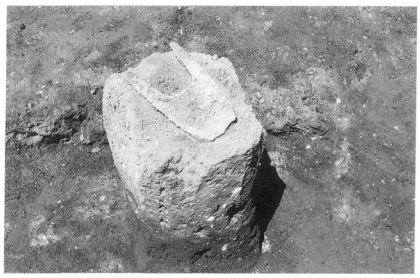

H11号住居址カマド(西から)


H13号住居址(北から)

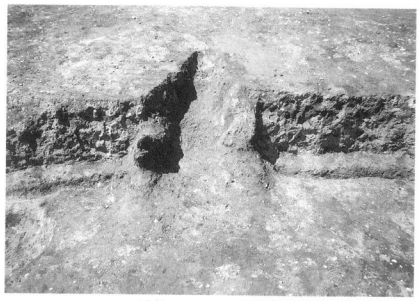
H14号住居址(南から)


H15号住居址(南から)

H18号住居址(北から)

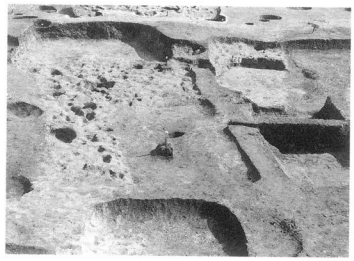

H18号住居址遺物出土状況

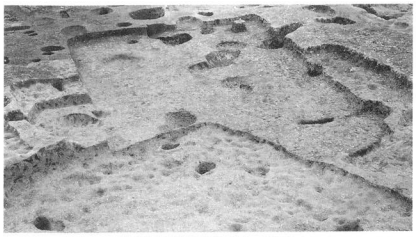
H13号住居址カマド(西から)


H14号住居址カマド(南から)

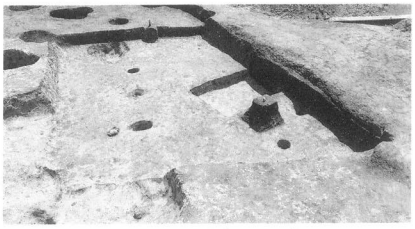
H16号住居址(北から)

H19号住居址(南から)


H20号住居址(南から)



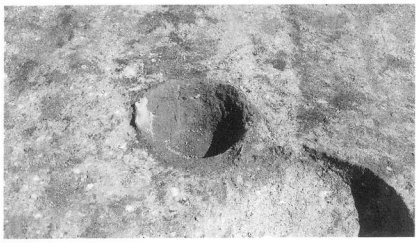
H21号住居址(北から)



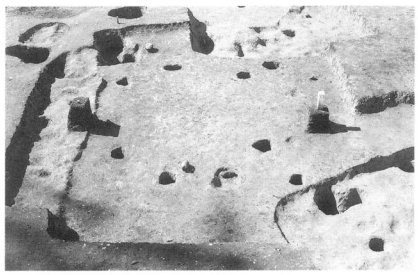
H23号住居址(北西から)

H23号住居址　炉

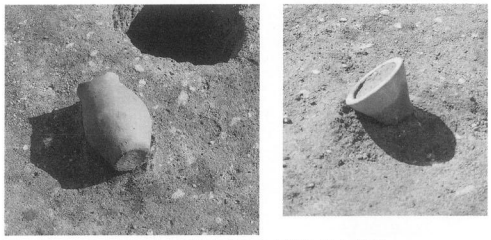
H25号住居址(南から)



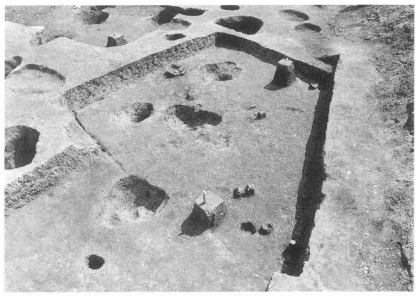
H25号住居址　炉



H22号住居址(北から)



H22号住居址遺物出土状況

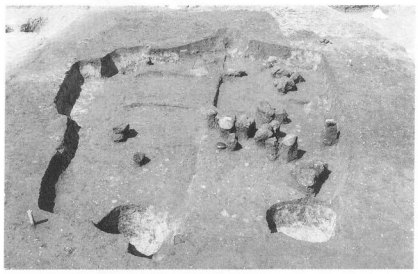


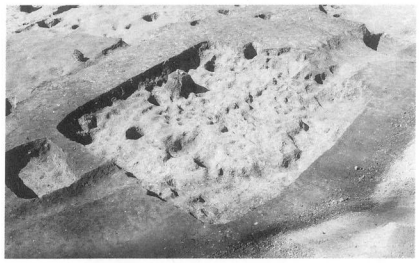
H24号住居址(西から)

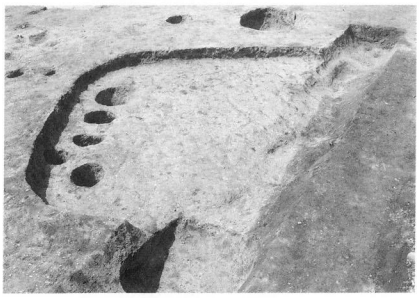
H24号住居址遺物出土状況

H24号住居址遺物出土状況

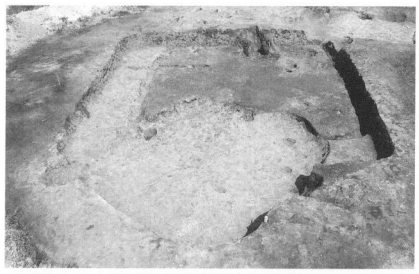
H26号住居址（西から）


H28号住居址（南から）


H29号住居址堀方（北から）


H30号住居址（東から）

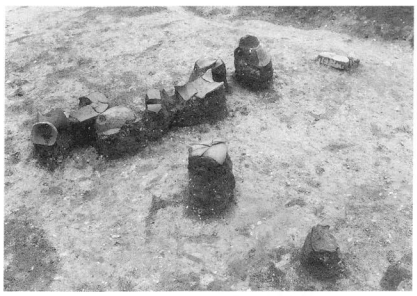
H27号住居址（北から）

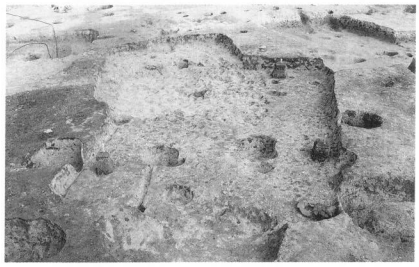

H27号住居址堀方（南から）

H27号住居址カマド（南から）

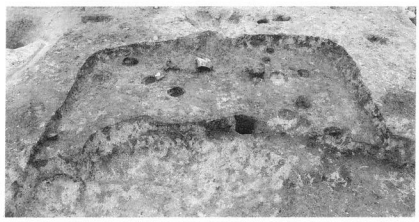
H27号住居址遺物出土状況

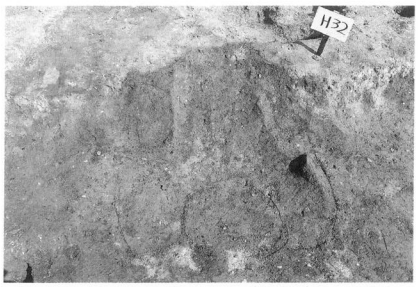
H30号住居址遺物出土状況


H30号住居址遺物出土状況


H31号住居址(南から)

H31号住居址遺物出土状況


H32号住居址(南から)

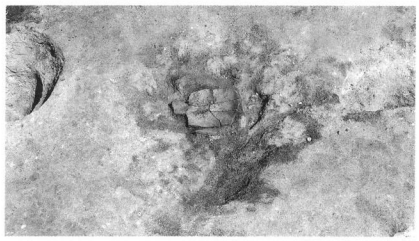


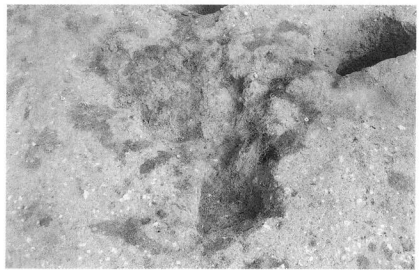
H32号住居址カマド(南から)

H30号住居址遺物出土状況

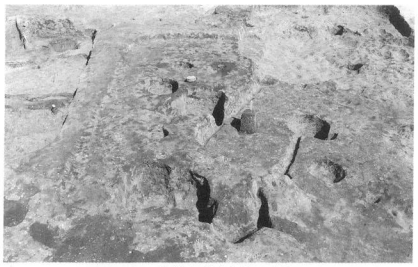
H31号住居址遺物出土状況

H33号住居址(南から)


H33号住居址　炉


H33号住居址　炉堀方

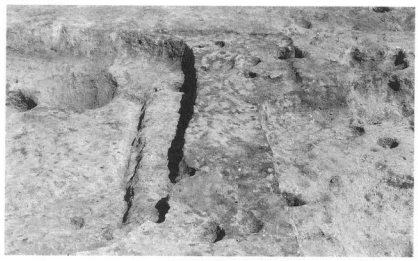
H34号住居址(北からM2、南にM1)

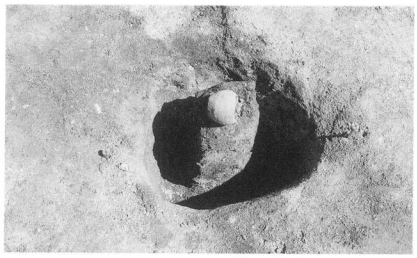

H36号住居址(南から)

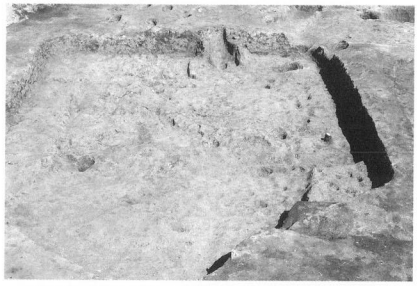
H36号住居址遺物出土状況

H36号住居址遺物出土状況

F2号堀立柱建物址(西から)


H35号住居址(南から)


H35号住居址遺物出土状況


H37号住居址(南からH5、H27に切られわずかに残る)

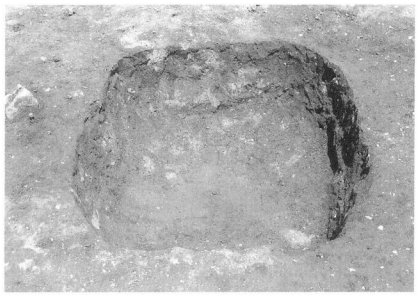
F1号堀立柱建物址(南から)

F3号堀立柱建物址(北から)

F4号堀立柱建物址

D1号土坑

D2号土坑


D3号土坑

D5号土坑

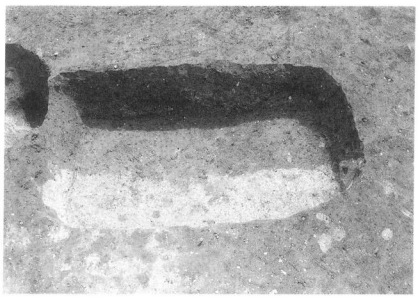
D6号土坑

D7号土坑

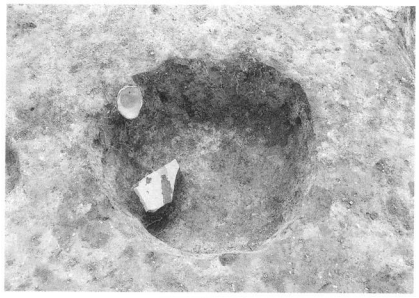
D8号土坑(H2堀方の中)

D9号土坑

D14号土坑

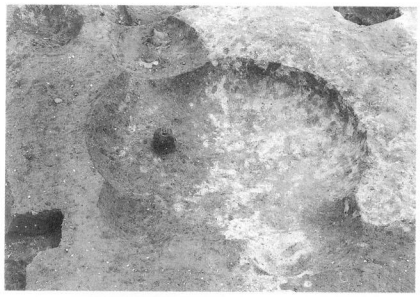


D15号土坑

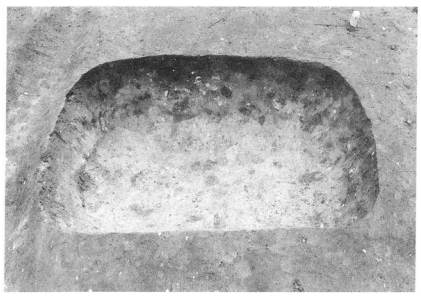


D16号土坑

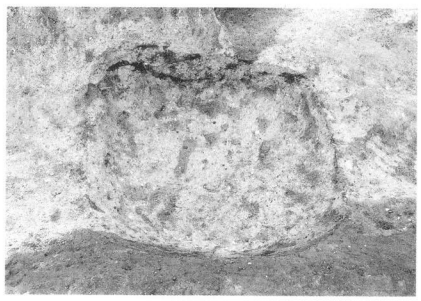
D17号土坑



D18号土坑



D19号土坑



D20号土坑

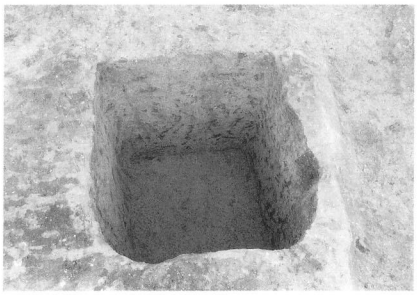
D21号土坑

D22号土坑

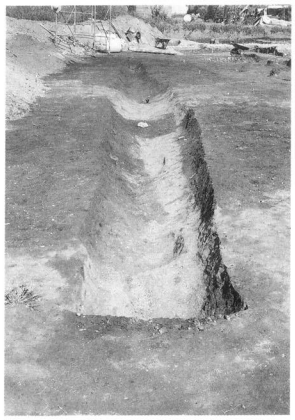
D23号土坑

D24号土坑

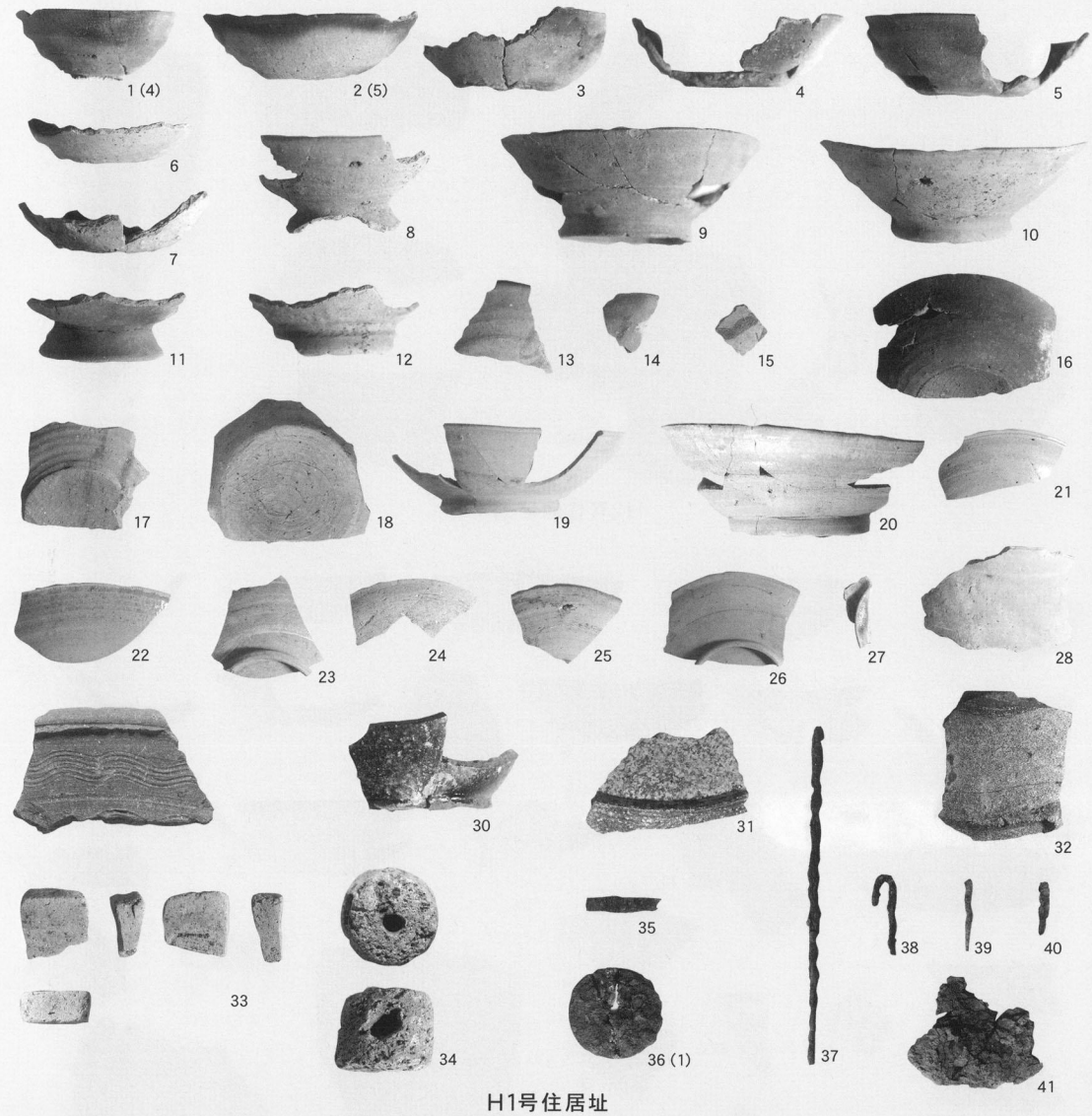
D25号土坑



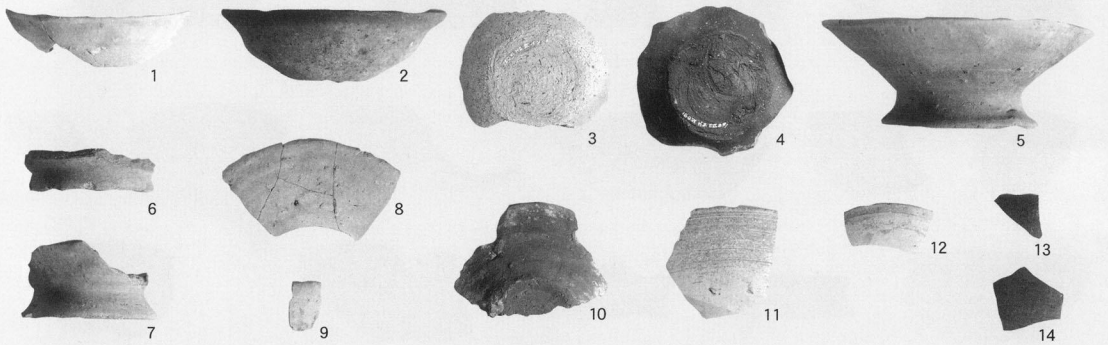
D26号土坑



M1号溝址（西から）

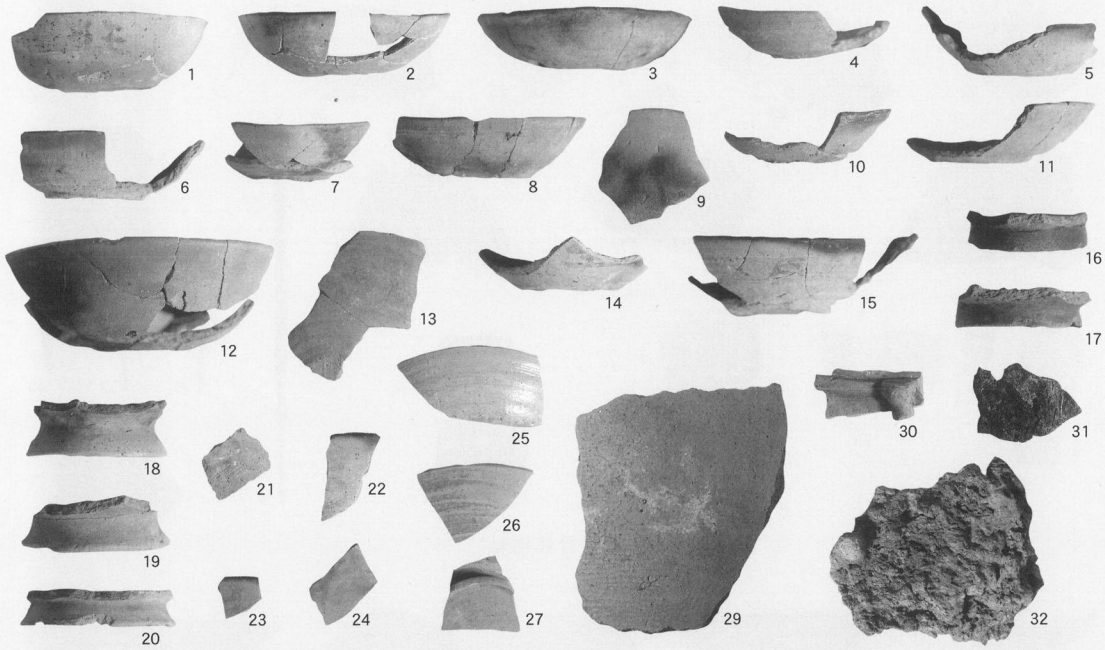


H1号住居址

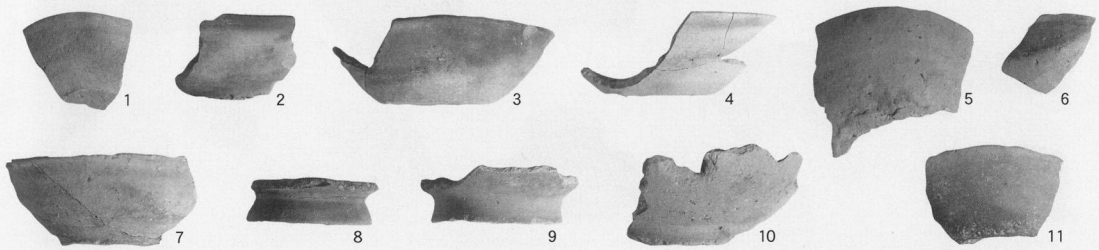


H2号住居址（1）

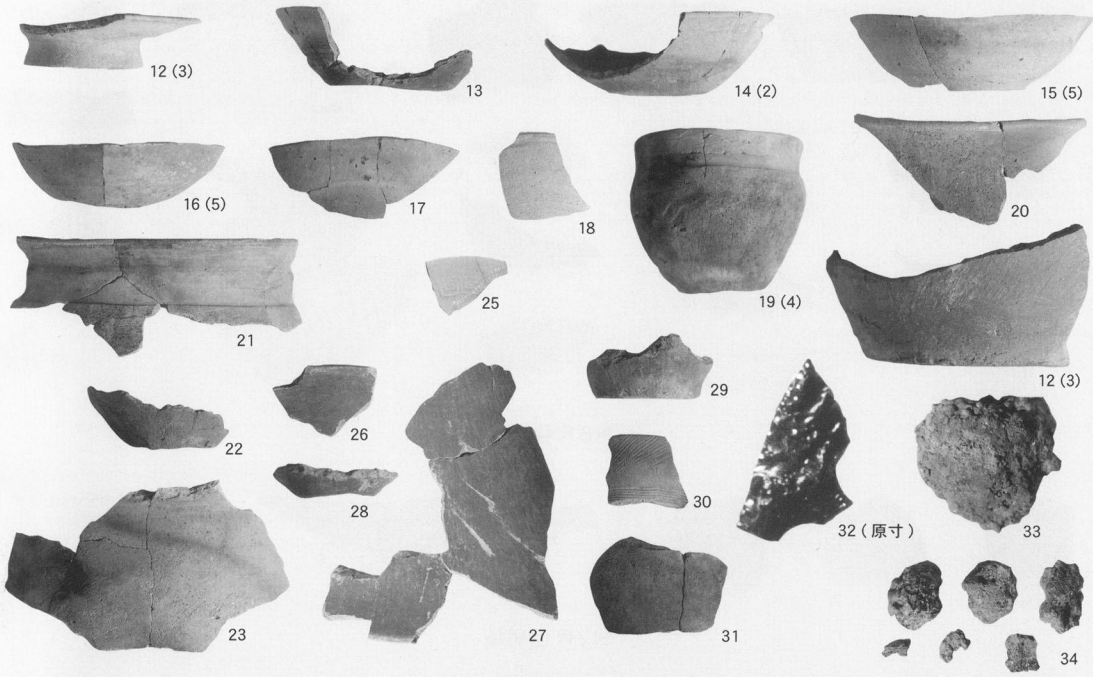
H2号住居址（2）



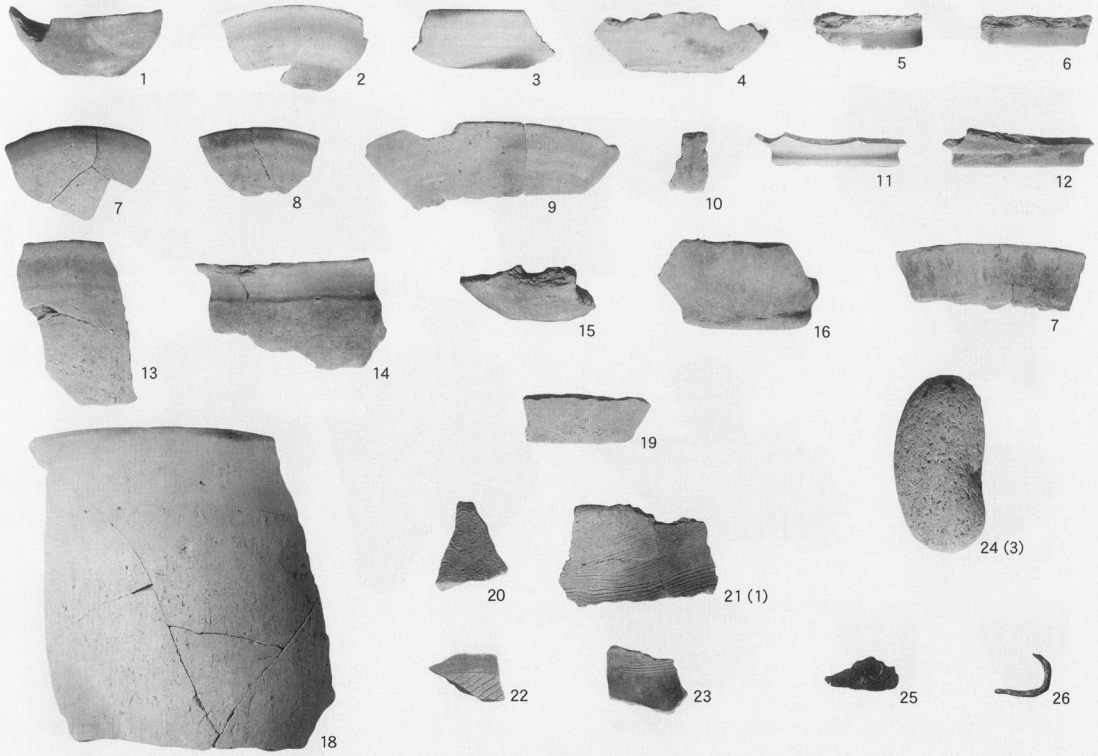
H3号住居址



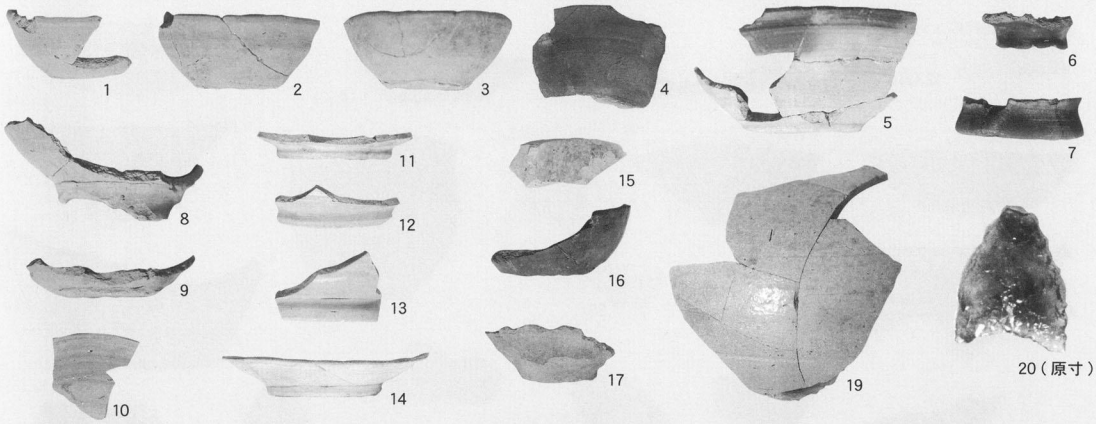
H4号住居址（1）



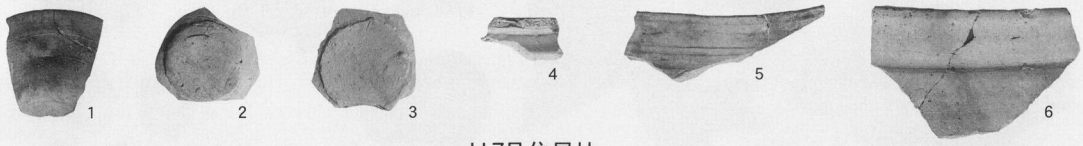
H4号住居址（2）



H5号住居址

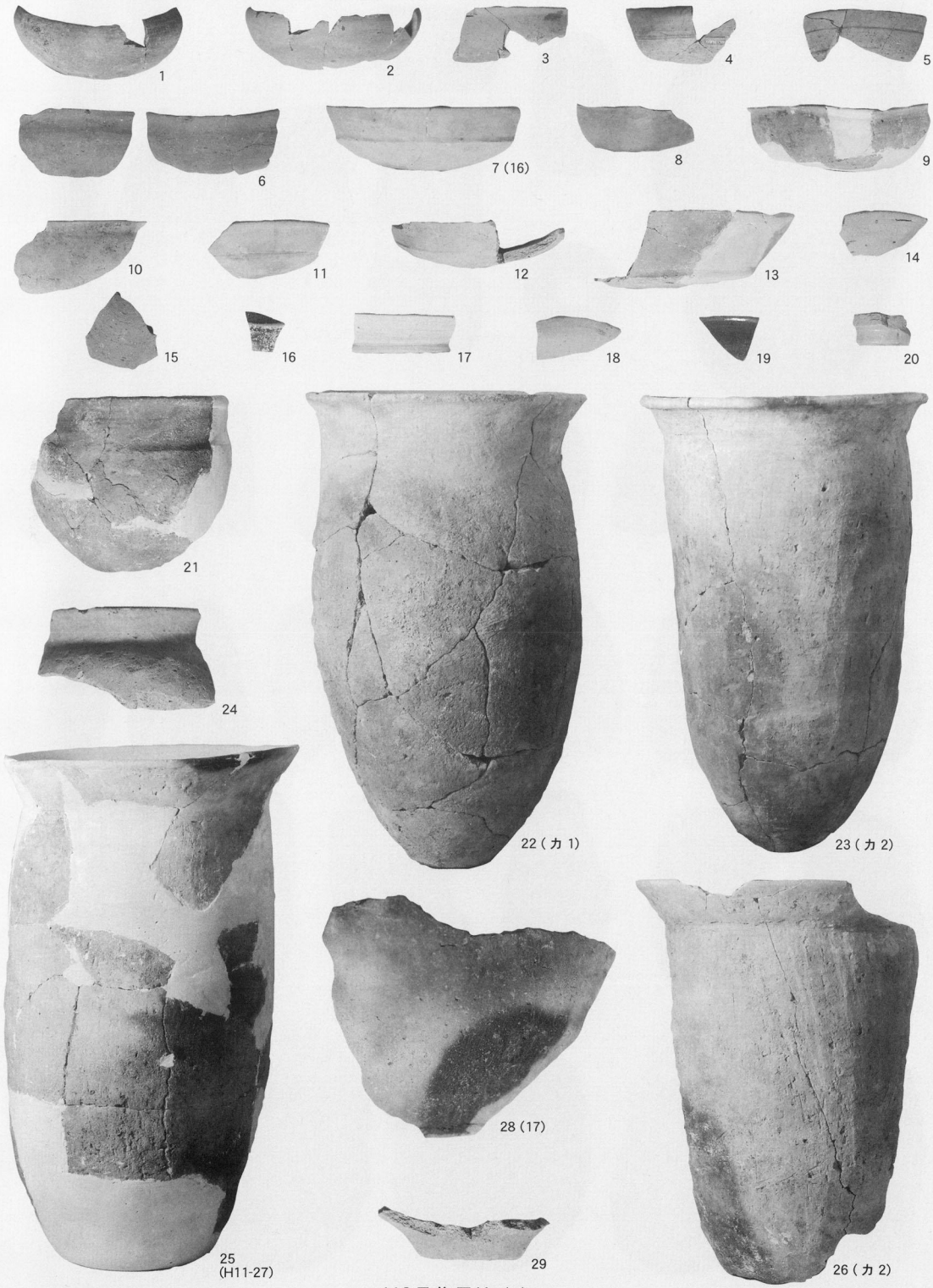


H6号住居址

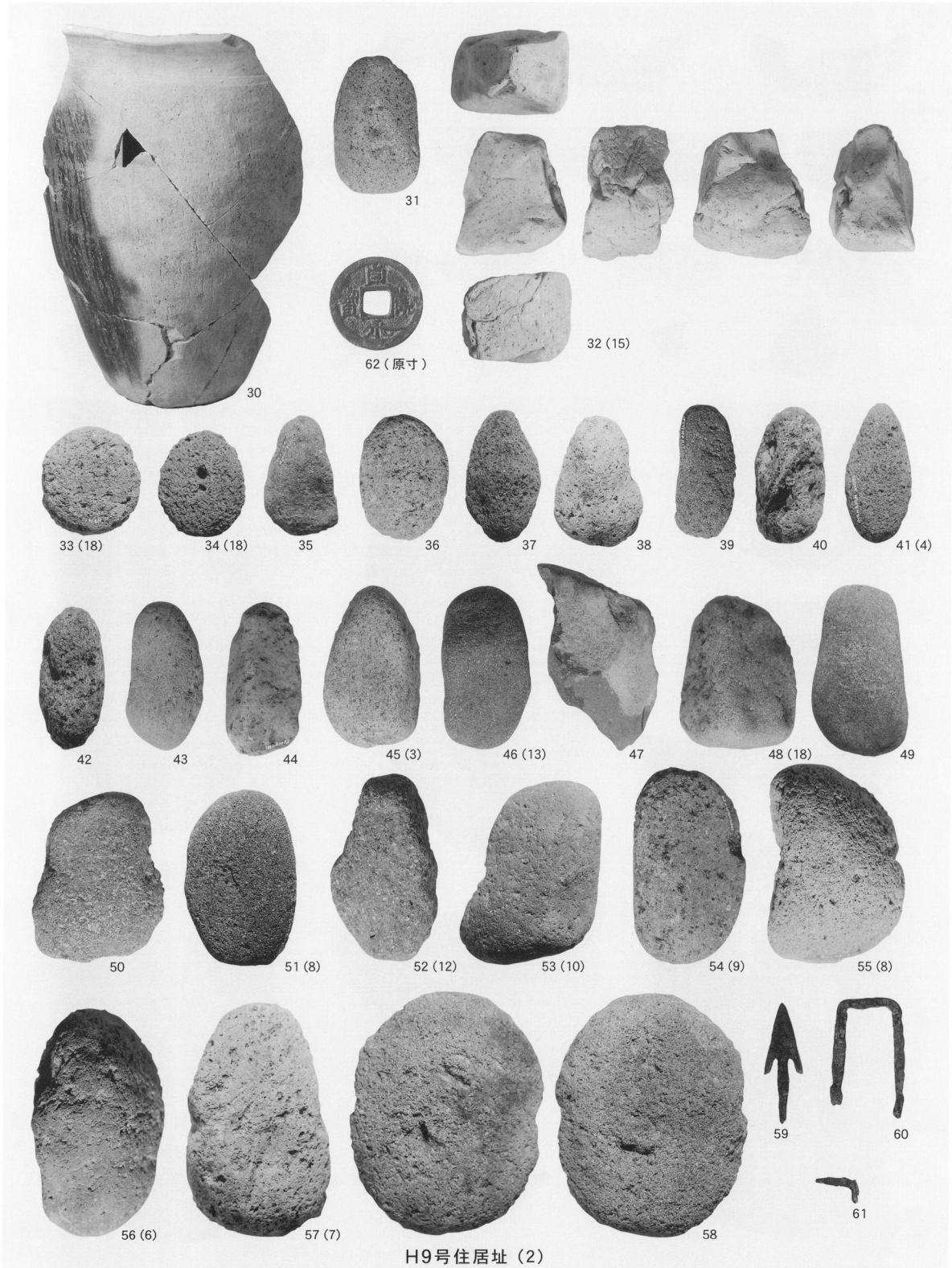


H7号住居址

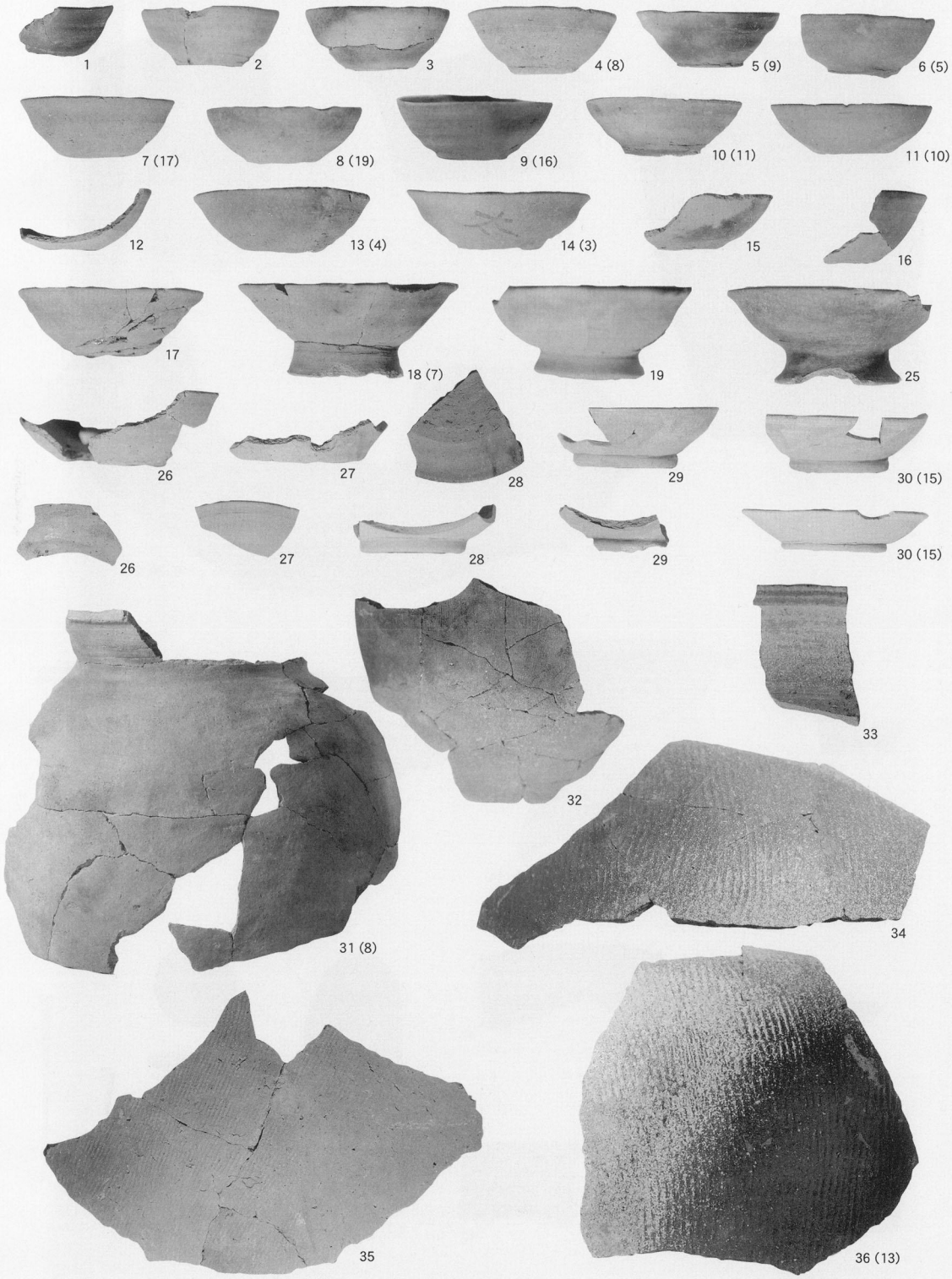
H8号住居址


1
2
3
4
5
6
7 (16)
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22 (カ 1)
23 (カ 2)
24
25
(H11-27)
26 (カ 2)
28 (17)
29

H9号住居址（1）

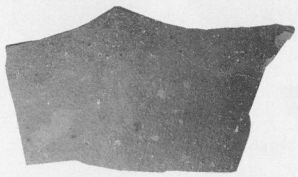

30
31
62（原寸）
32 (15)
33 (18)
34 (18)
35
36
37
38
39
40
41 (4)
42
43
44
45 (3)
46 (13)
47
48 (18)
49
50
51 (8)
52 (12)
53 (10)
54 (9)
55 (8)
56 (6)
57 (7)
58
59
60
61

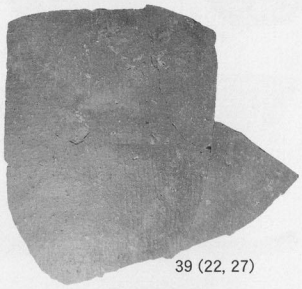
H9号住居址（2）


1
2
3
4 (8)
5 (9)
6 (5)
7 (17)
8 (19)
9 (16)
10 (11)
11 (10)
12
13 (4)
14 (3)
15
16
17
18 (7)
19
25
26
27
28
29
30 (15)
26
27
28
29
30 (15)
33
32
34
31 (8)
35
36 (13)

H10号住居址（1）

41

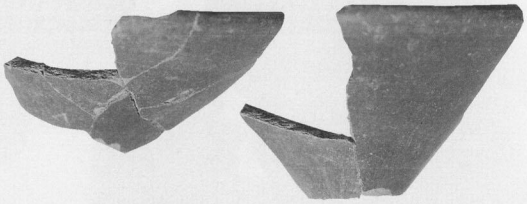

38 (21)


39 (22, 27)

40 (20, 23)

42

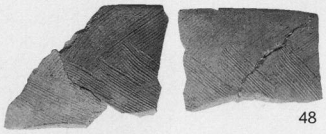
43 (14)



45

47

46


48

49

50 (1)

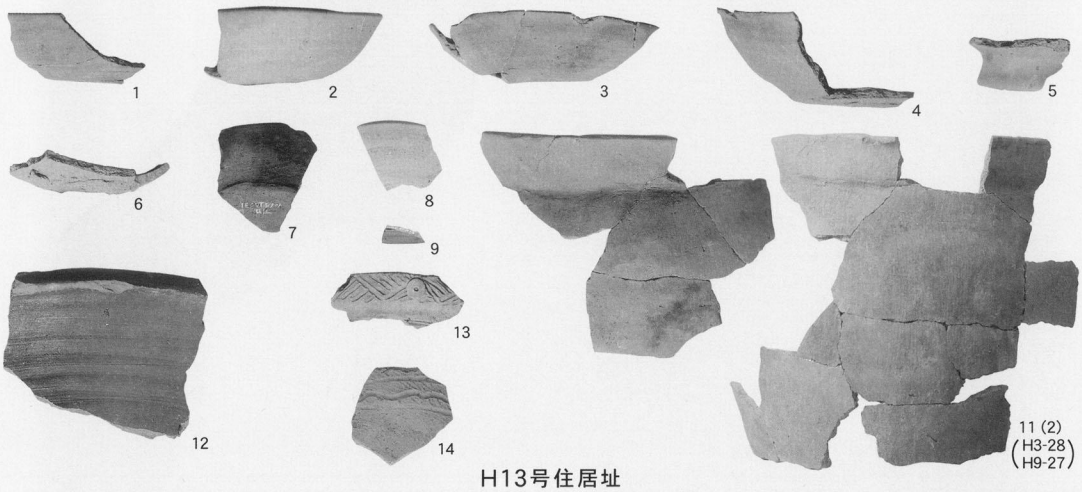
51

52

H10号住居址（2）

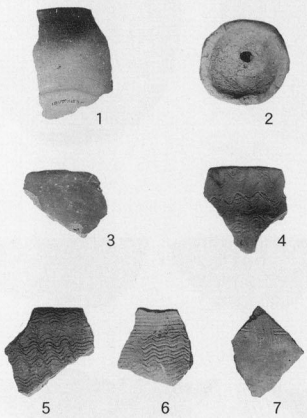
H10号住居址（3）

H11号住居址

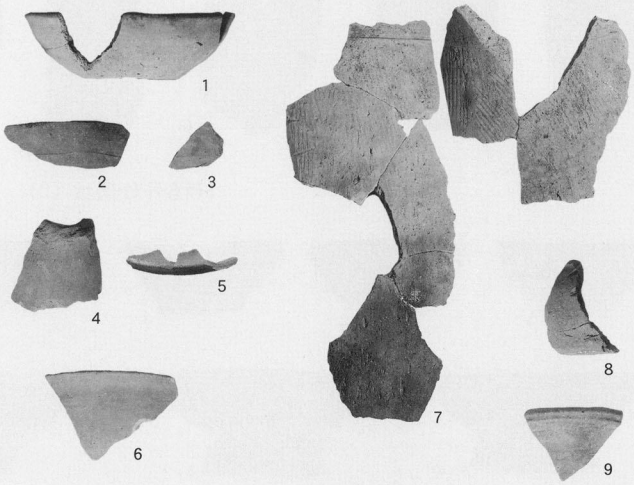


H13号住居址

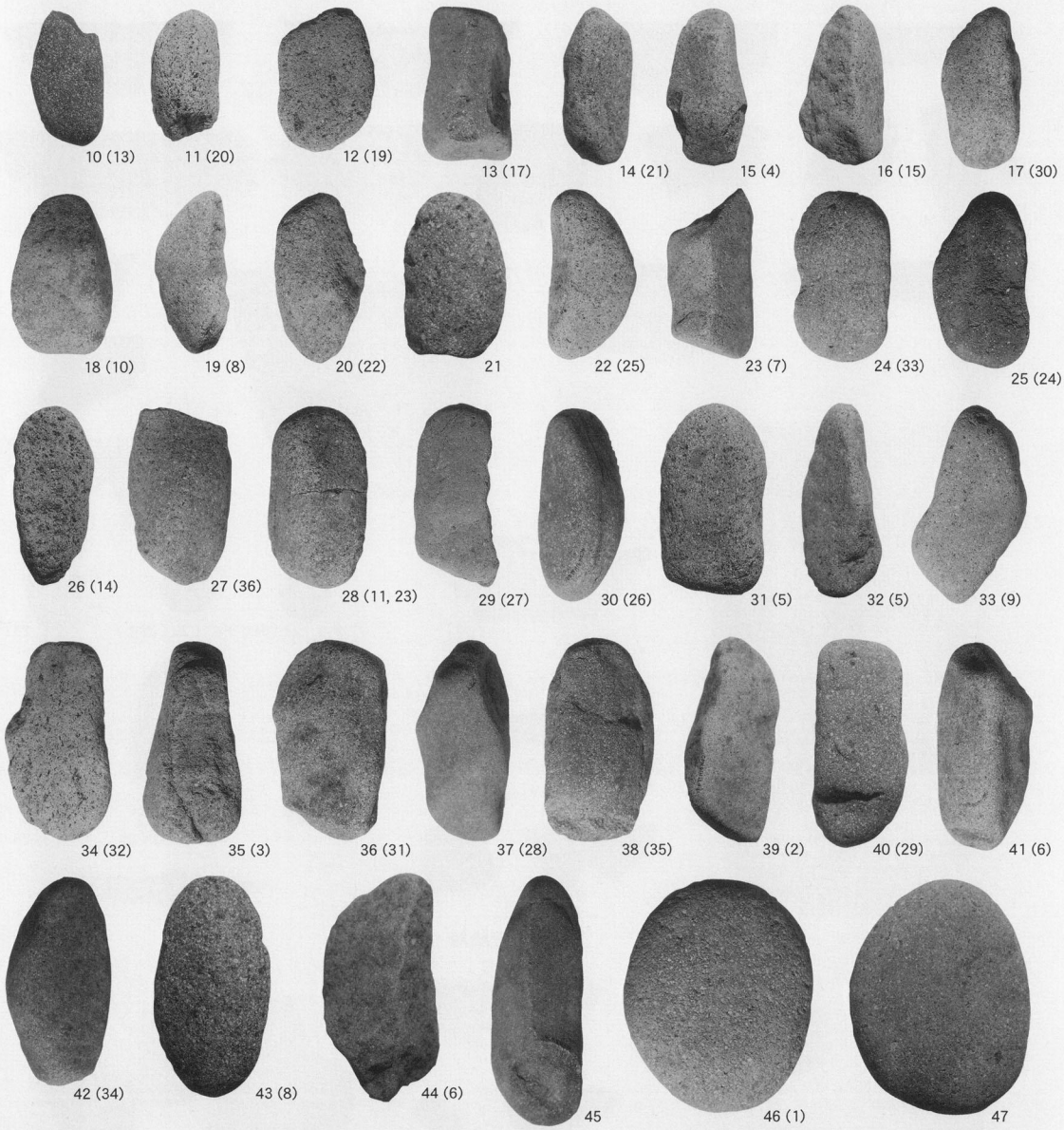
H14号住居址



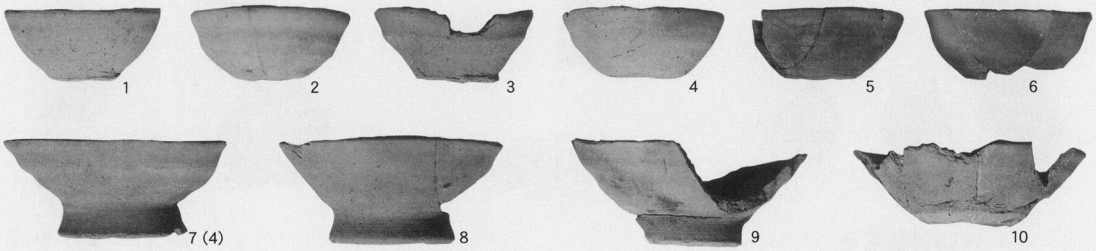
H15号住居址



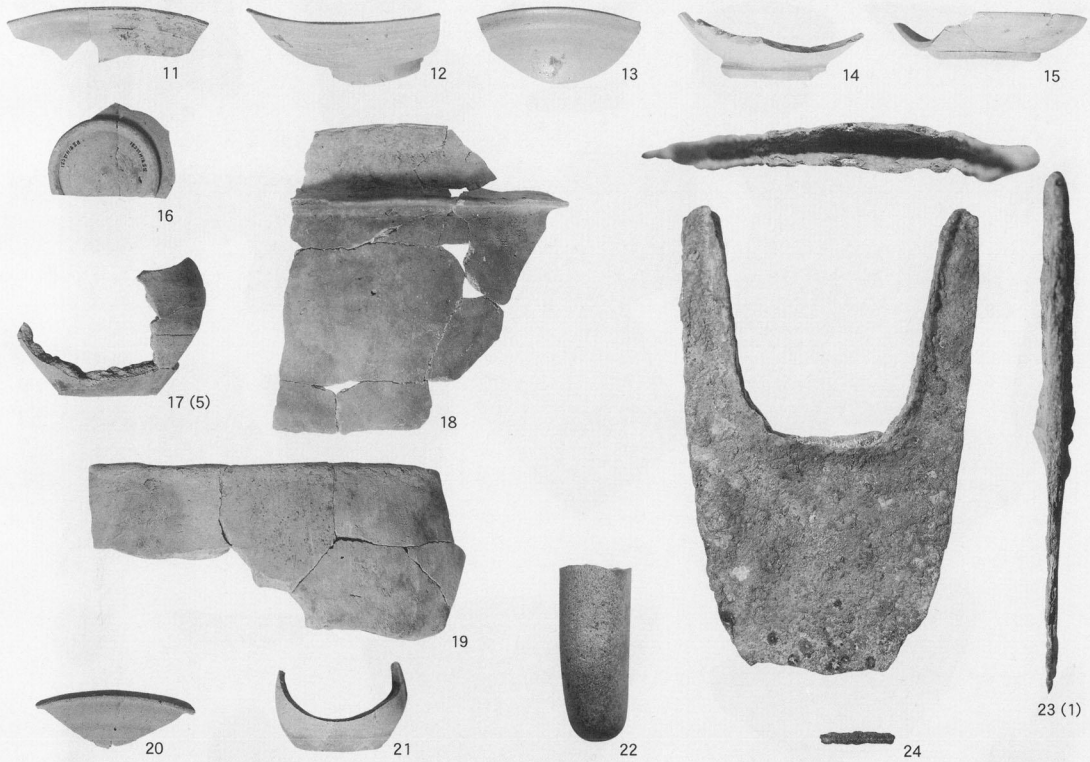
H16号住居址（1）



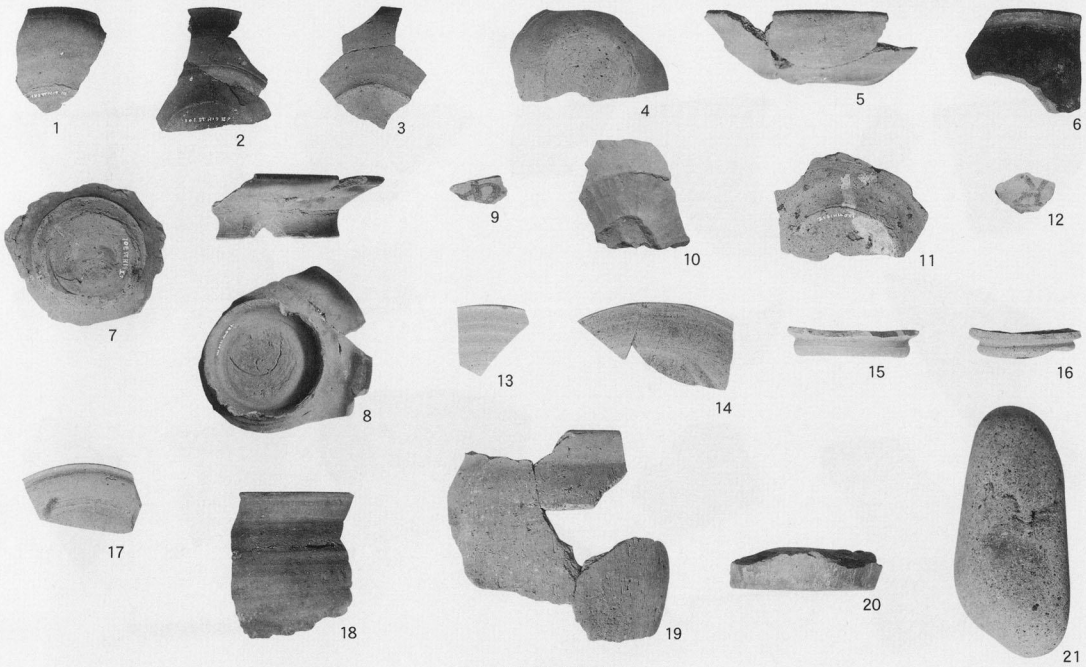
H16号住居址（2）



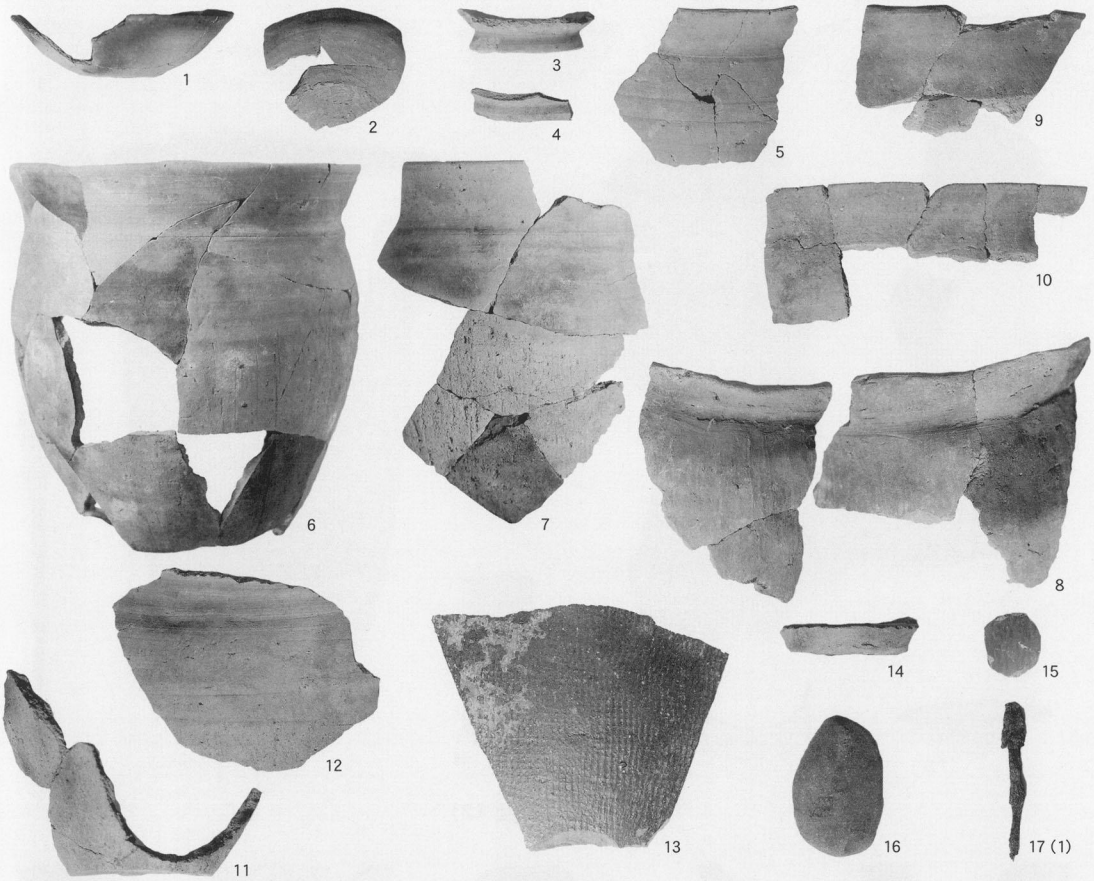
H18号住居址（1）



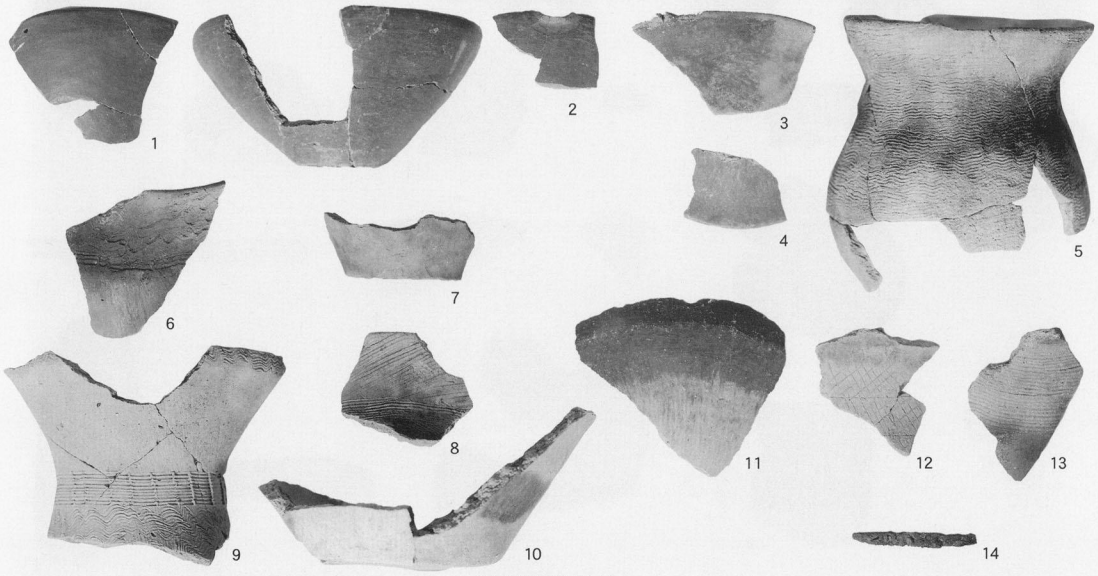
H18号住居址（2）



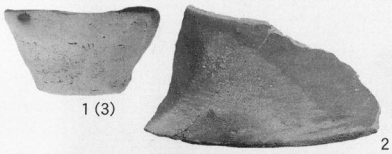
H19号住居址

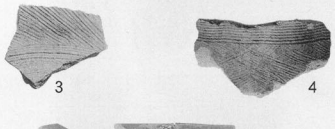


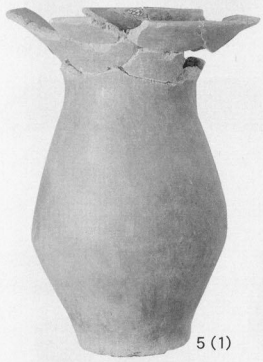
H20号住居址



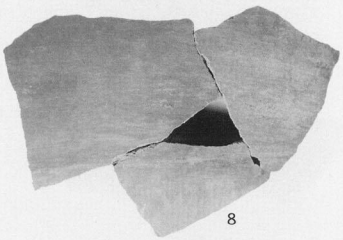
H21号住居址



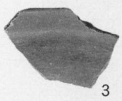


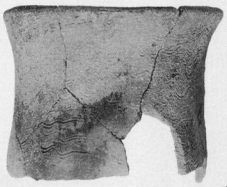


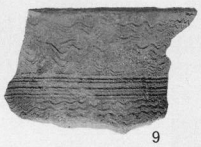
H22号住居址



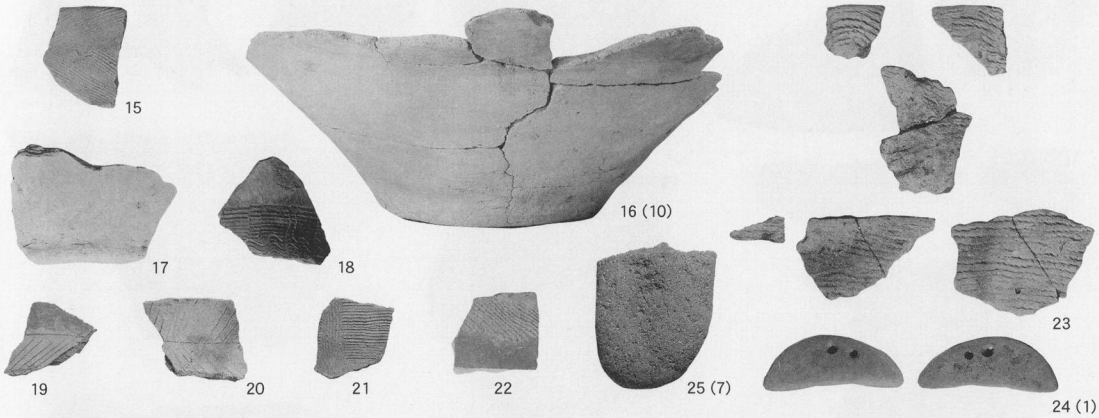
H23号住居址



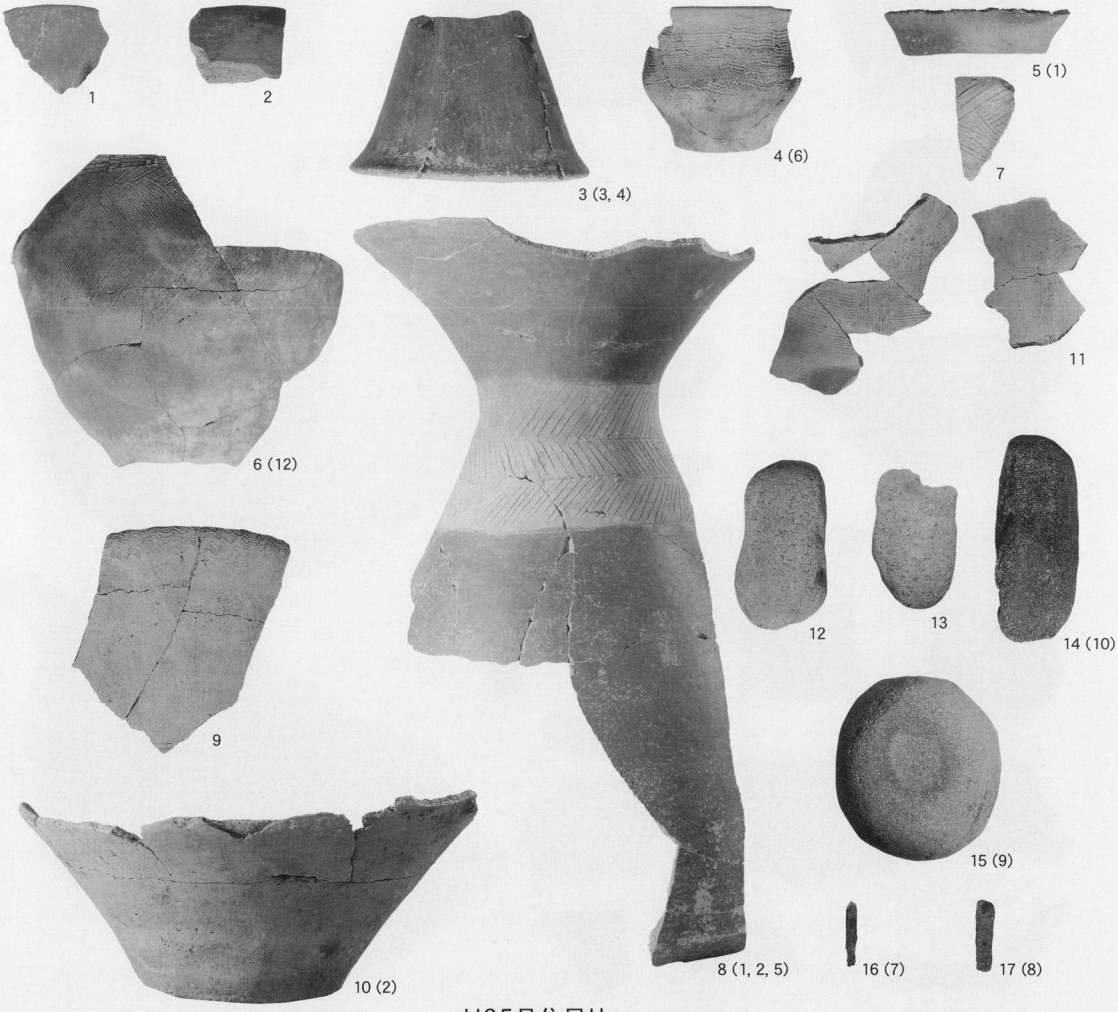




H24号住居址（1）

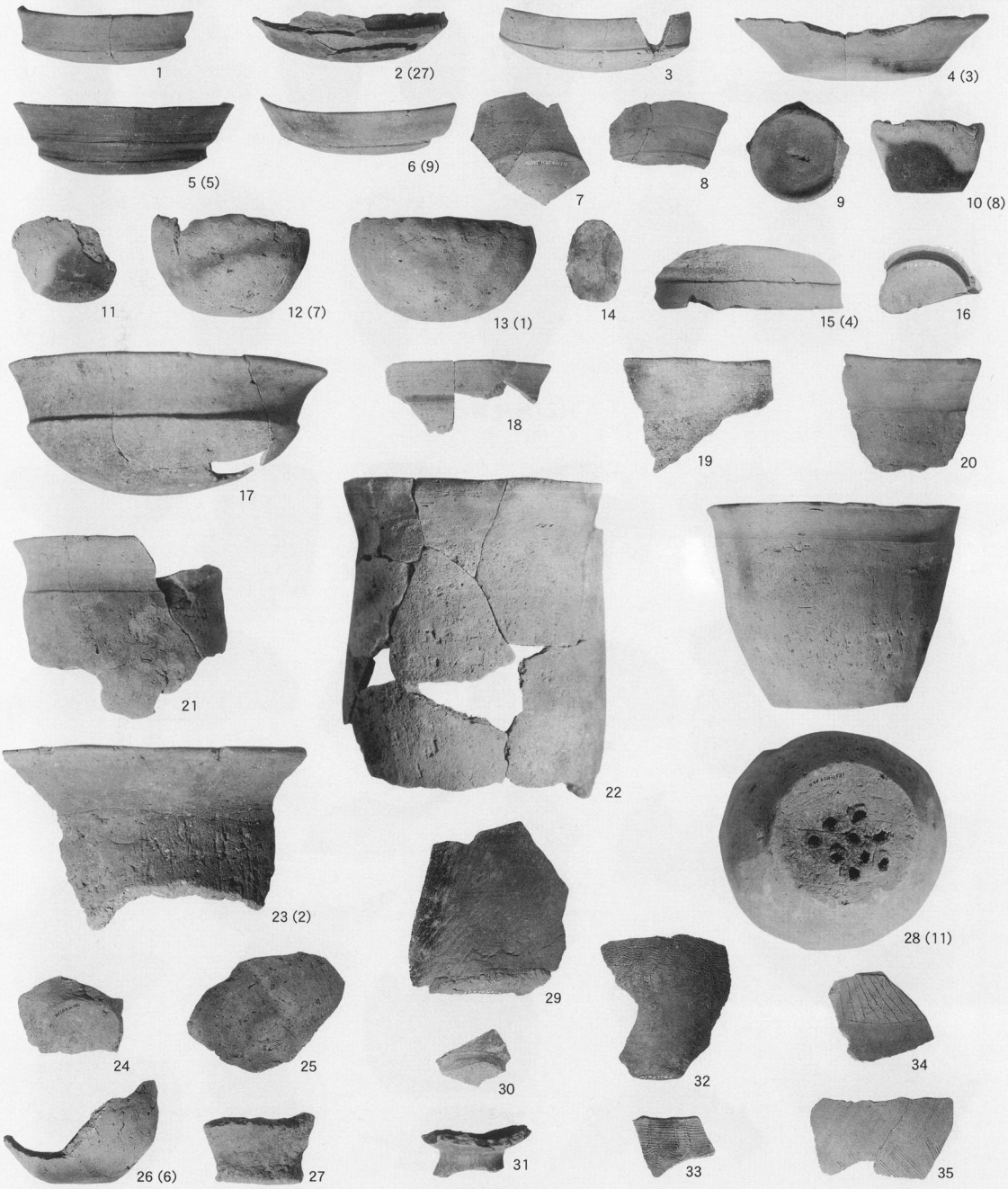


H24号住居址（2）



H25号住居址

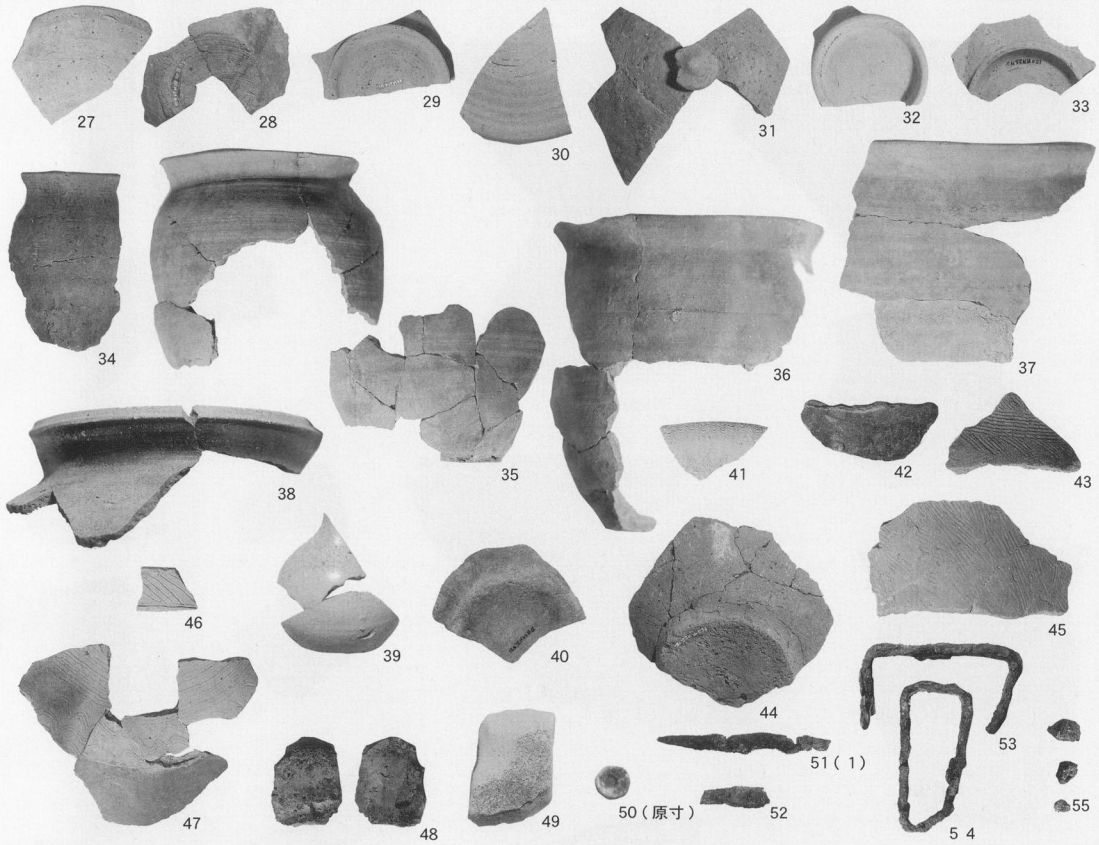
H26号住居址



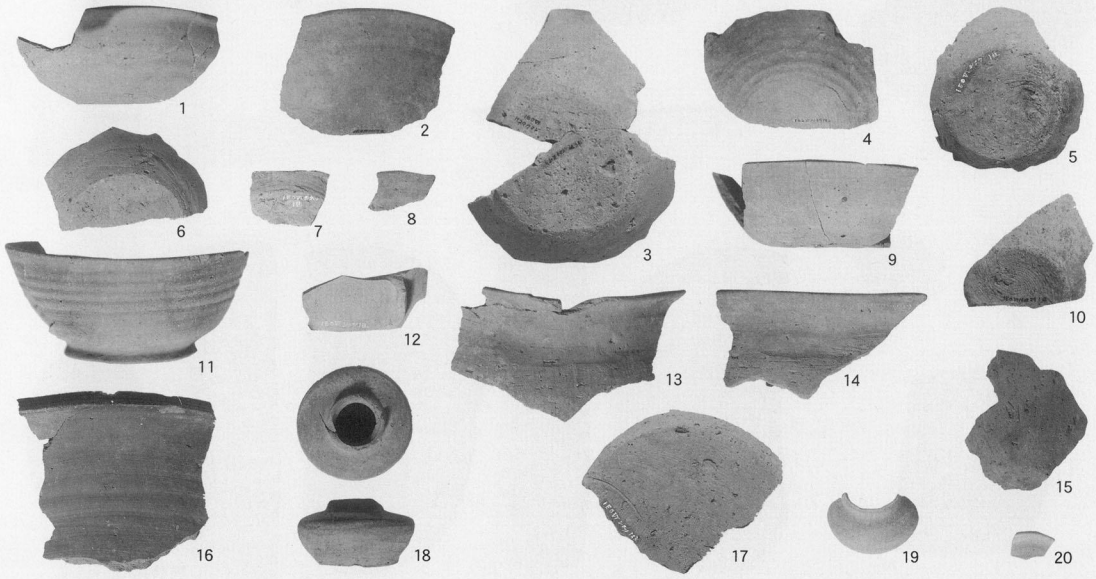
H27号住居址（1）

H27号住居址（2）

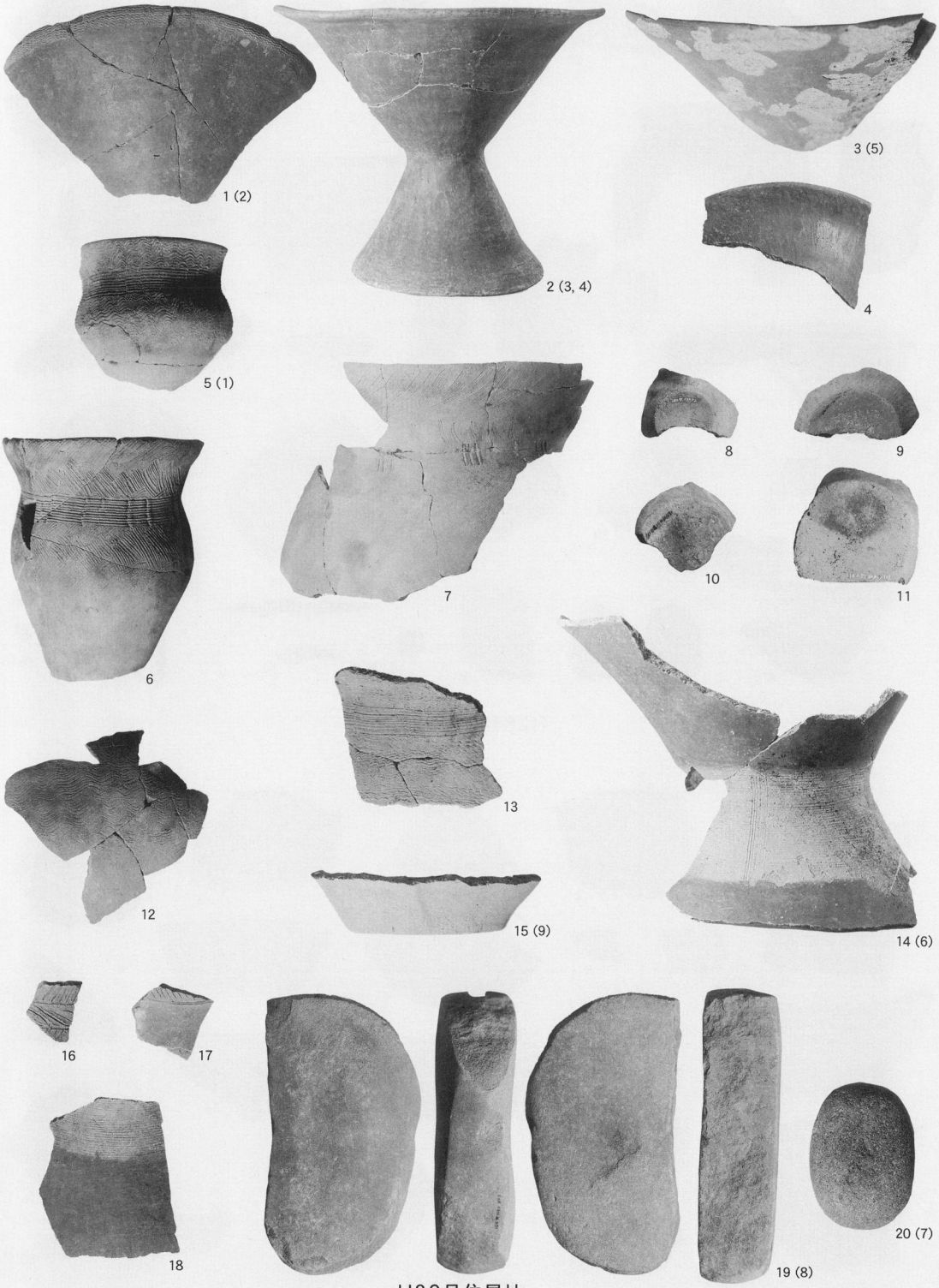
H28号住居址（1）



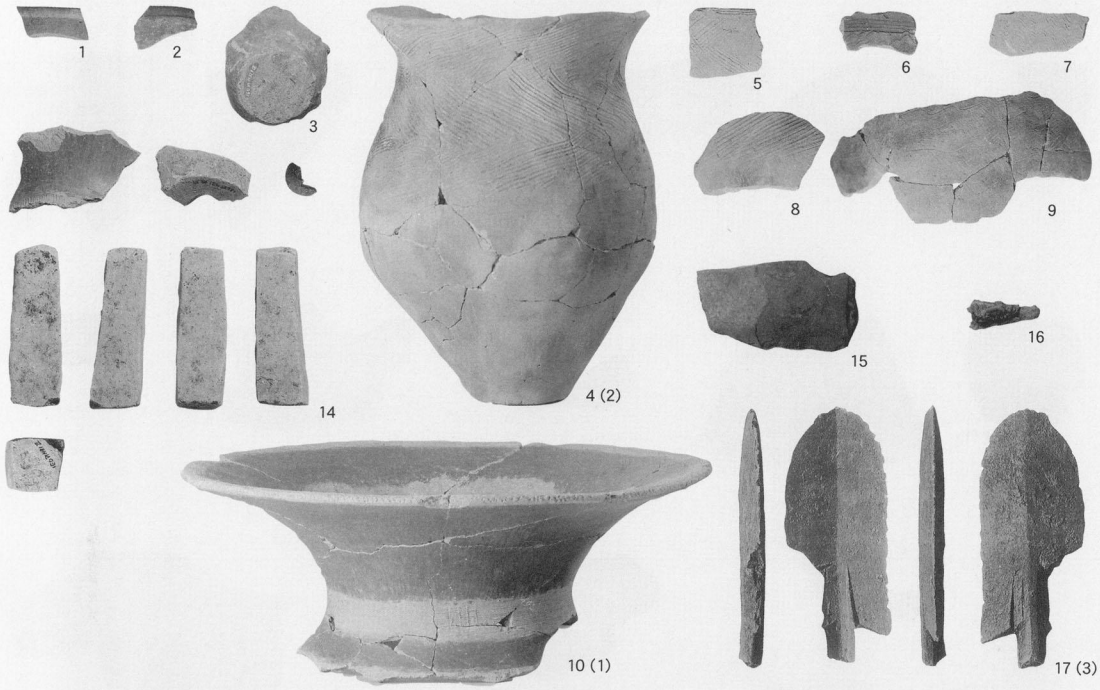
H28号住居址（2）



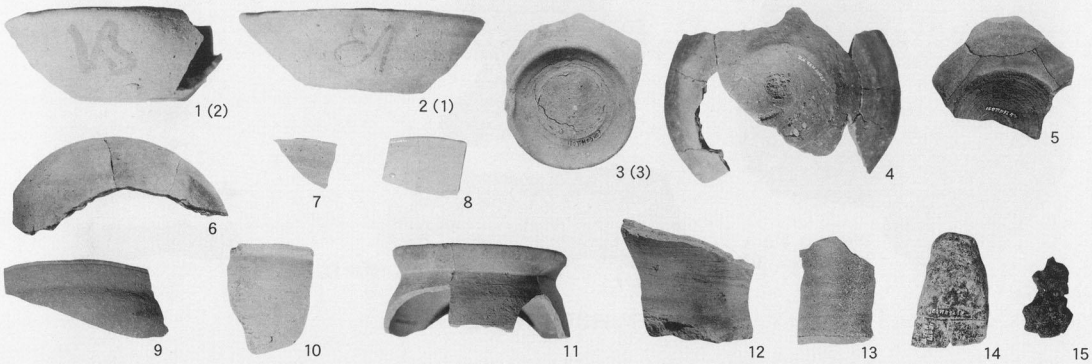
H29号住居址



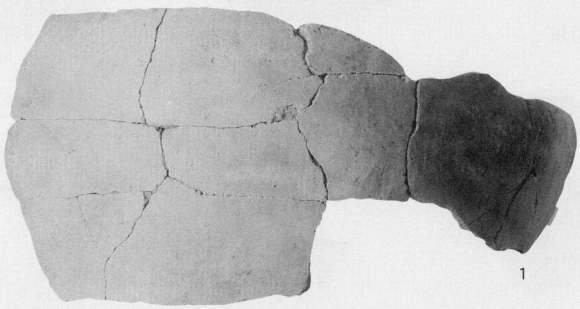
H30号住居址



H31号住居址

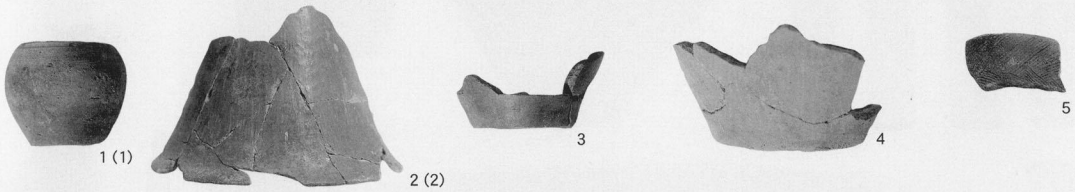


H32号住居址

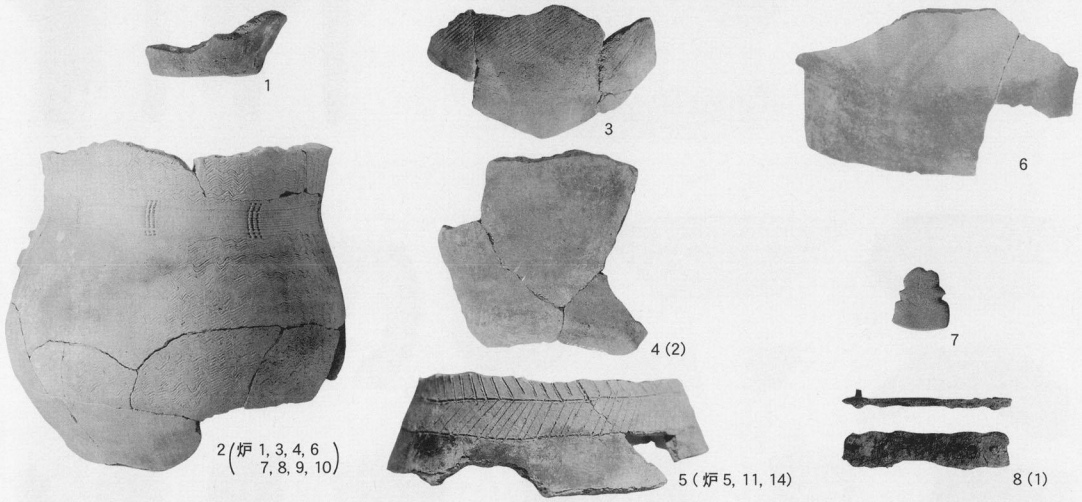


H33号住居址

H34号住居址

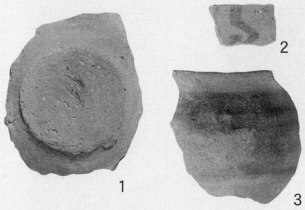


H35号住居址

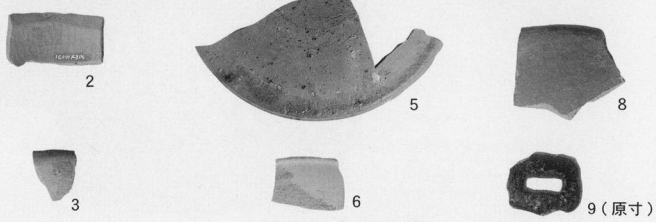


H36号住居址

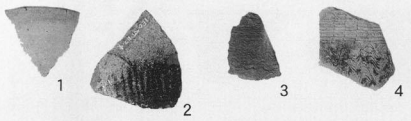
F1号掘立柱建物址



F4号掘立柱建物址

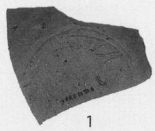


F3号掘立柱建物址



D2号土坑

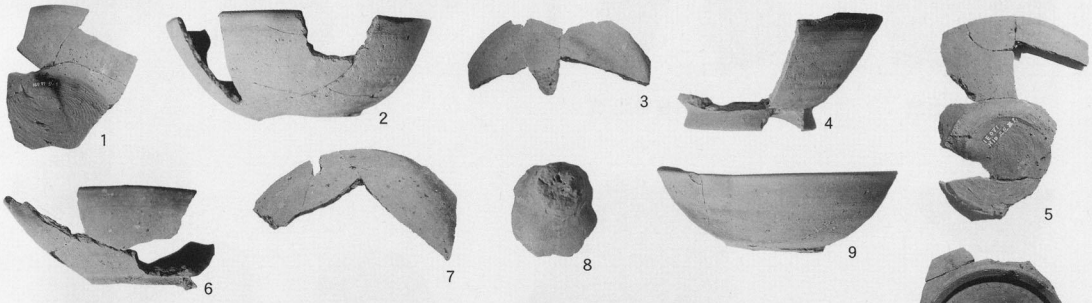
D4号土坑

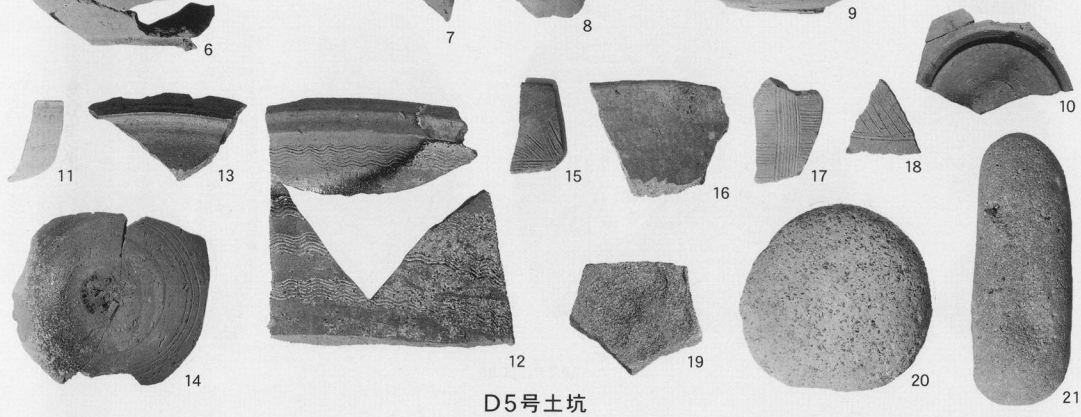


D6号土坑

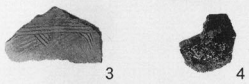
D12号土坑

D13号土坑





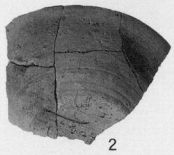
D5号土坑



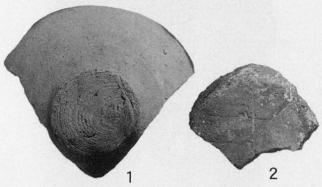
D10号土坑

D7号土坑

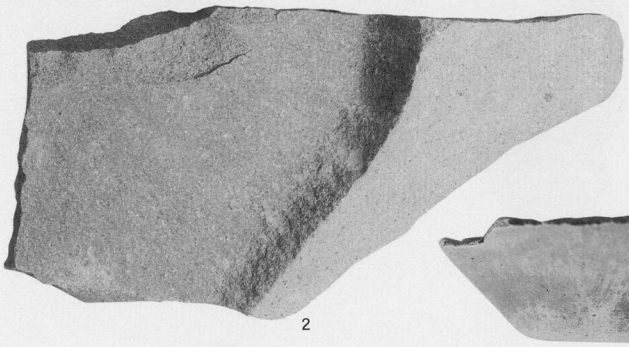
D14号土坑



D15号土坑



D8号土坑

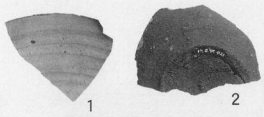


D16号土坑

D18号土坑

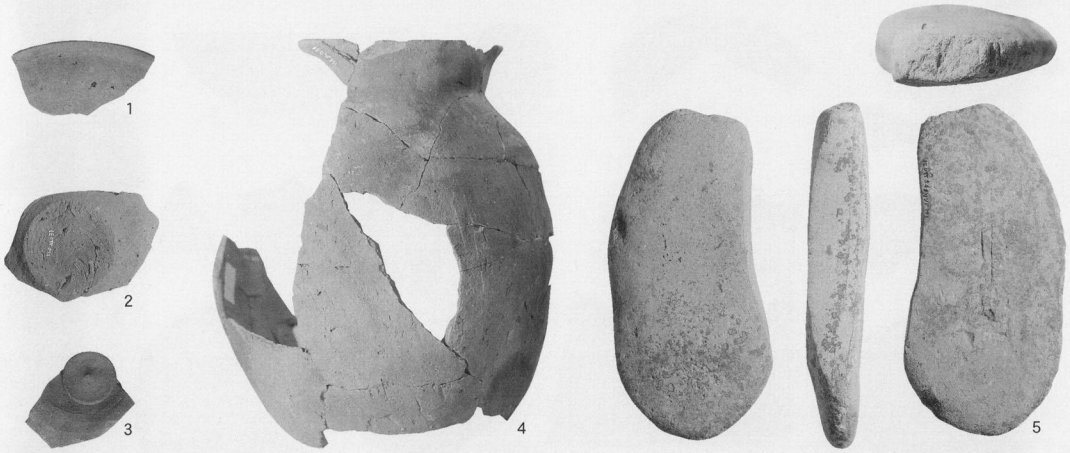
D17号土坑

D19号土坑

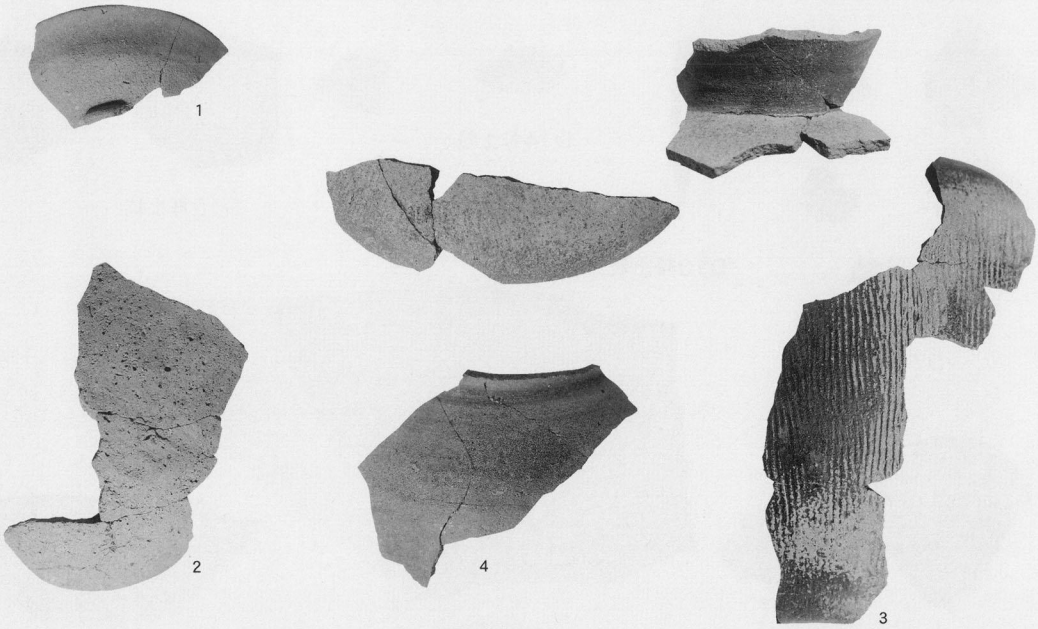


D21号土坑

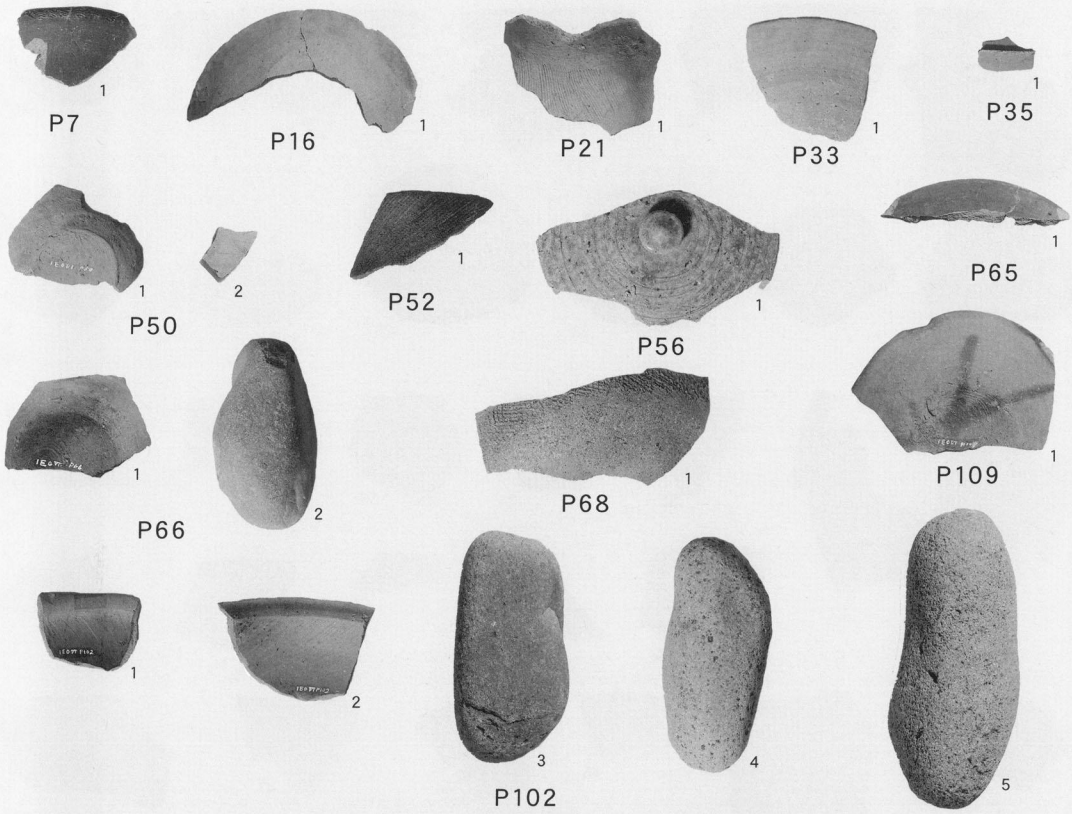
D22号土坑



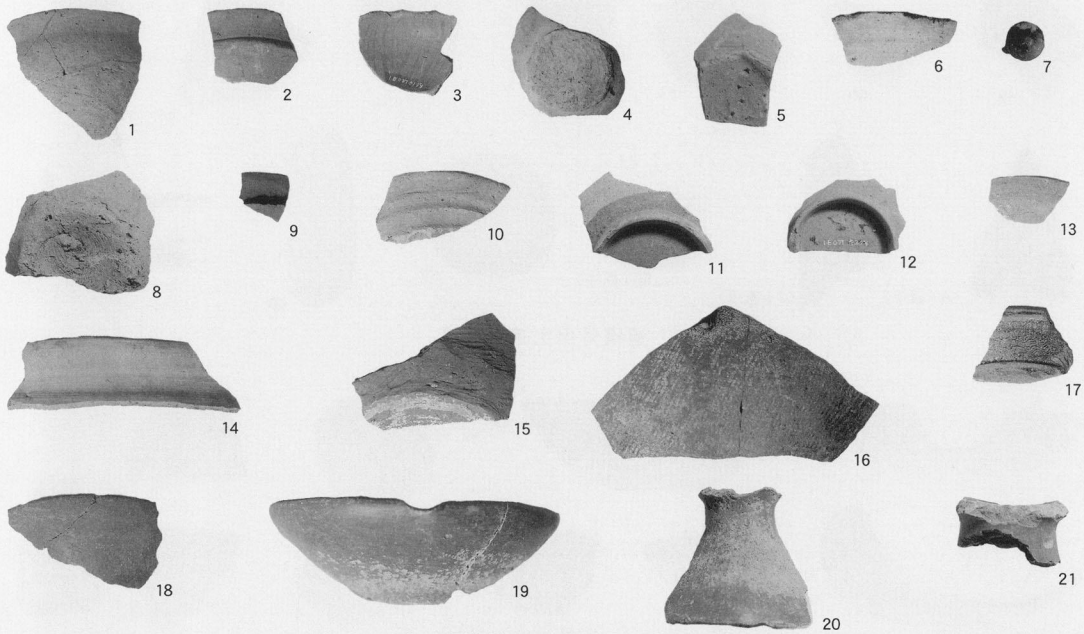
M1号溝址



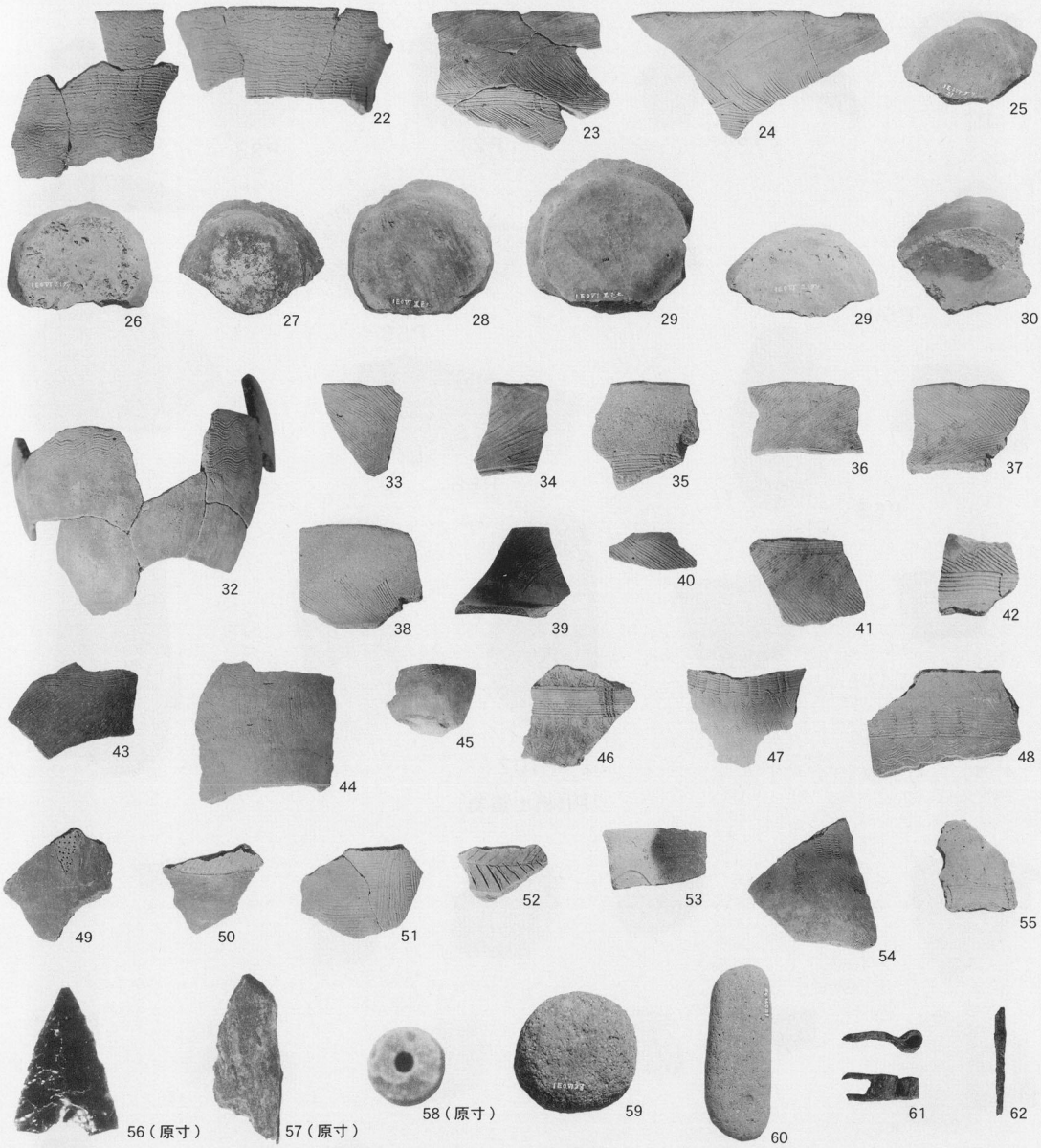
M2号溝址



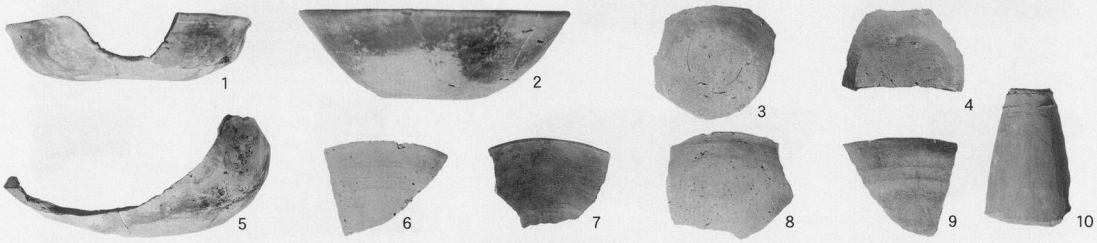
Pit出土遺物



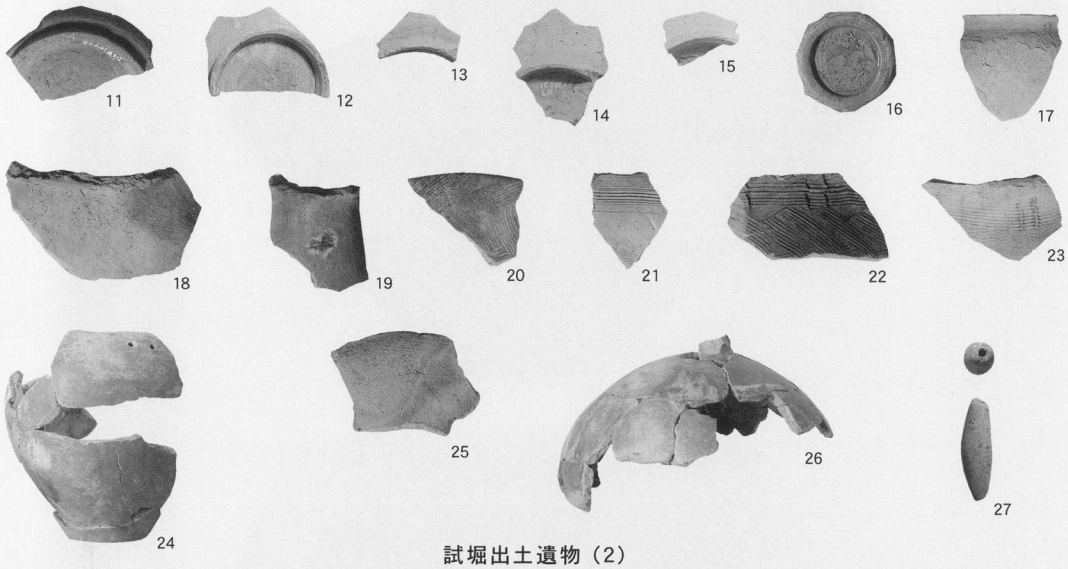
遺構外出土遺物（1）



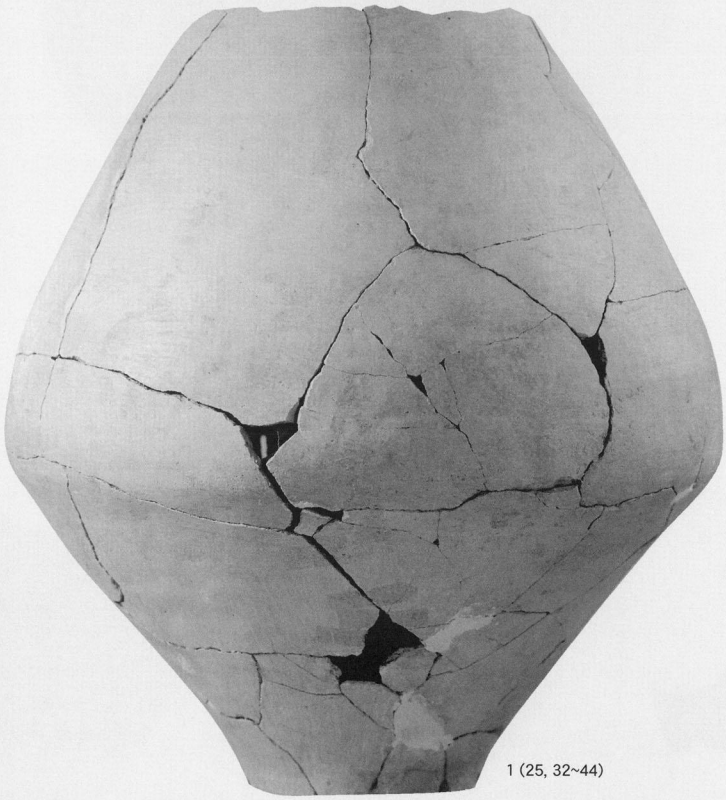
遺構外出土遺物（2）



試堀出土遺物（1）



試堀出土遺物（2）

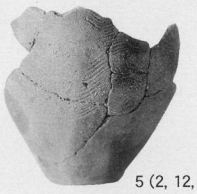


K1（甕棺）（1）

2 (45)

3 (16~24, 26~31)

4 (4)



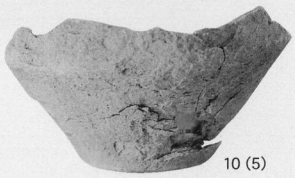
5 (2, 12, 13)

6 (18)

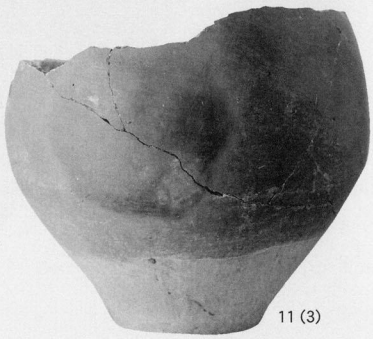
7 (1)

8

9



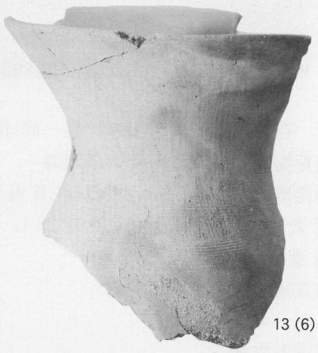
10 (5)



11 (3)

K1(甕棺) (2)

12 (7, 12)



13 (6)

14 (13)

15 (4, 7, 8)

17

16 (11)

K1(甕棺) (3)

2　虚空蔵山狼煙台

所　在　地　佐久市根岸比良・高日影・宮脇
調査委託者　佐久市都市計画課
開発事業名　ふるさと自然のみち整備事業
調 査 期 間　平成14年10月28日～11月5日
調 査 面 積　245㎡
調査担当者　小林　眞寿

虚空蔵山狼煙台位置図(1:50,000)

経過と立地

虚空蔵山狼煙台は佐久市根岸の虚空蔵山山頂に所在する。標高 773mを測り、眺望は旧佐久市全域はもとより、遠く上田・小県地方まで良好な視界が開けている。狼煙台とされる山城址は、尾根先端部を縦堀により隔絶し、隔絶部分の南と西に「L」字状に土塁を構築している。土塁際には平坦部分が存在し、この平坦部分から尾根先端部である北方向に向かい緩斜面が続く。

今回、「ふるさと自然の道整備事業」が計画され、山頂部分に展望台が建設されることになり、山城の一部分が破壊されるため、記録保存調査を実施した。

調査の概要

1．虚空蔵堂址（第２・４・５図）

当初、山城に関連する遺構が地下に存在するならば、土塁際の平坦部分が有望であろうと推測していたが、試掘調査の結果、この部分には山城に関連する遺構は存在せず、昭和に火災で焼失した、多福寺の虚空蔵堂の礎石が検出された。礎石及び、堂範囲と推測される部分は地面の焼土化、礎石の被熱痕、炭の散乱等の火災の痕跡が認められた。

堂は 6.75m×6.75mの正方形で、柱間は３間 ×３間であったようである。北西が正面と思われ、この正面の東側の１間の半分から、北東面の３間すべてと、南東面の西隅の１間の東半間までを回廊が巻いていたようである。合計すれば堂半分に回廊が巡らされていたことになる。また、この虚空蔵堂には稲荷神社が併設されていたことが、大量に出土した、素焼きの狐の置物から明らかとなった。神社の位置は堂の西隅に見られる石組が有力である。

出土遺物は前記した素焼きの狐像（９～30）と角釘・鎹（37～85）、銭貨（90～99）、瓦（31～35）、刀子（86）、鉄金具（87～89）、石碑片（36）、土師質の鉢片（１）、かわらけ片（３・４）、土鍋片（５・６）、香炉片（２）、陶器皿（７・８）が認められる。角釘には赤色顔料の付着するものも認められ、建物に彩色が施されていたことを伺わせる。銭貨はその大半を寛永通宝が占め、元祐通宝（北宋）、１銭、十銭が各１枚認められる。土器は２、７、８を除くものは山城に伴うものであり、この３点が堂に伴う。瓦は33、34が橙色、他は灰色である。

多福寺そのものは 1186 年の開山であり、開山時は字宮脇にあったと伝承されている。また、1845 年に四国八十八霊場を勧進しており、この時以降に建立された、夥しい弘法大師像が山城南斜面の山中に、霊場碑が北から西斜面の道沿いに点在している。以上から考えると、虚空蔵堂の年代は四国八十八霊場勧進時と同時期の可能性が極めて高いが、再建なのか、開山なのかは不明である。

2．竪穴建物址（第３・５・６図）

虚空蔵堂址が存在する平坦面から、北の尾根先端部に向かい地形は緩傾斜面を形成する。この緩傾斜面の先端部分に竪穴建物址が階段状に３段に構築されていた。当初は別遺構の重複も考慮し、南側の広い部分とその他を分離して遺物等を取り上げたが、土層の観察等からは、分離する必要は認められず、同時期の一連の遺構として捉えた。

北側部分は東西 11.2m× 南北 8.8mの方形を呈し、56 ㎝の深度を有する。床面は平坦であり、最大径 24 ～ 50 ㎝の平面方形を呈するピットが東西４間、南北３～４間の総柱配置されている。柱痕は径 15 ㎝前後であった。この部分の北には礎石を有する東西方向の柱列１列が配される幅（南北）１m程の段が存在する。この柱列は基本的に南方向の上段の総柱配置のピットの延長線上に配置される。上段から 40 ㎝の深度である。この段から更に 30 ㎝程下がり北側に新たな段が形成される。この部分は周溝が巡らされる。ピットの配置は良く把握できないが、北方向の上段２段からの延長線上に位置するものも認められる。南から１段目と２段目の東西両脇にはおそらくは平面方形を呈する張り出し部分が構築されており、多くの礫が内包されていた。深度は２段目と大きな差異は認められないが、若干浅い。

出土遺物は、かわらけ（上段１～４、下段１～３）、土鍋（上段５～９、下段４～５）、灰釉が施される陶器（上段10）、硯片（上段11）、砥石（下段６）、鉄器（下段10･11）、銭貨（下段12）、打製石斧（上段12）、黒曜石製石器等（上段13、下段７・８）、石臼（下段９）が認められる。この内、黒曜石製石器は旧石器時代のものと思われ、８は両面加工の尖頭器である。また、打製石斧は縄文時代のものであろう。他の遺物の内、陶器は時期不明であるが、その他のものは遺構に伴うものであろう。かわらけ（上下段共に１）は２点共に灯明皿であり煤の付着が著しい。基本的に橙褐色の粒子の細かい胎土が特徴的であり、底部には糸切痕が残される。形態的特徴からは 16 世紀に位置付けられようか？土鍋は全て破片であり、形態の知れるものはない。石臼は粉ひき臼の上臼である。鉄器は２点共に性格不明である。砥石は小型で、良く使い込まれている。煤が付着しており、被熱を受けた可能性がある。銭貨は熙寧元宝である。

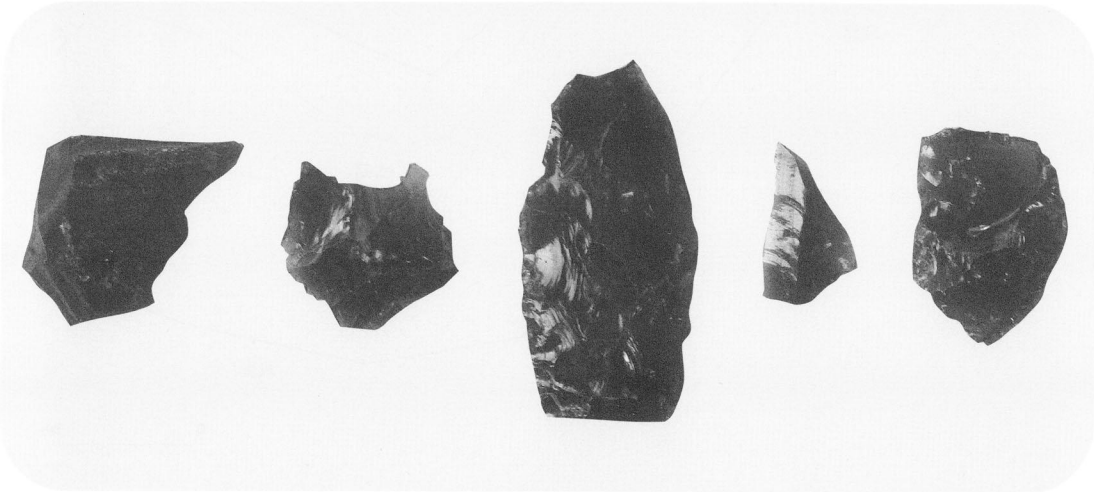
以上出土遺物から、竪穴建物址は旧石器時代の面を破壊し構築されており、その年代はかわらけの形態から、16 世紀台が想定される。竪穴建物の性格は出土遺物から見る限りそれなりの期間、人が駐留していたことが、土鍋や石臼の出土から伺える。

では、建物址の性格はどのようなものであったのか？柱の径は 15 cm前後であり、堅牢な建物は想像できない。城域も狭く、多人数の駐留も不可能であるから、少人数の駐留を想定した軍事施設であっただろう。尾根突端部分の北に構築されていることから、旧佐久市や小諸市、上田・小県地方の眺望を重視し、選地されたことは明白であり、地域の豪族の主城ではなく、支城であり、その目的は監視であろうか？本城址は狼煙台と命名されているが、その根拠はない。狼煙台がどのような形態で、どのような遺構により構成されるかその解明や、研究者の共通理解が必要であろう。同じことは「砦」や「城」についても言えるのではないだろうか。しかし、はからずも本址の目的を「監視」とするならば、当然のことながら狼煙台としても機能したであろう。蛇足ではあるが、旧浅科村にも本城址と同名の山城が存在する。矢島地区の山頂に位置し、周囲に土塁を巡らした平面方形の小規模な郭である。虚空蔵菩薩の石像が安置されている。この城は北下方の尾根上に位置する烏久保城跡の主郭であり、狼煙台ではない。

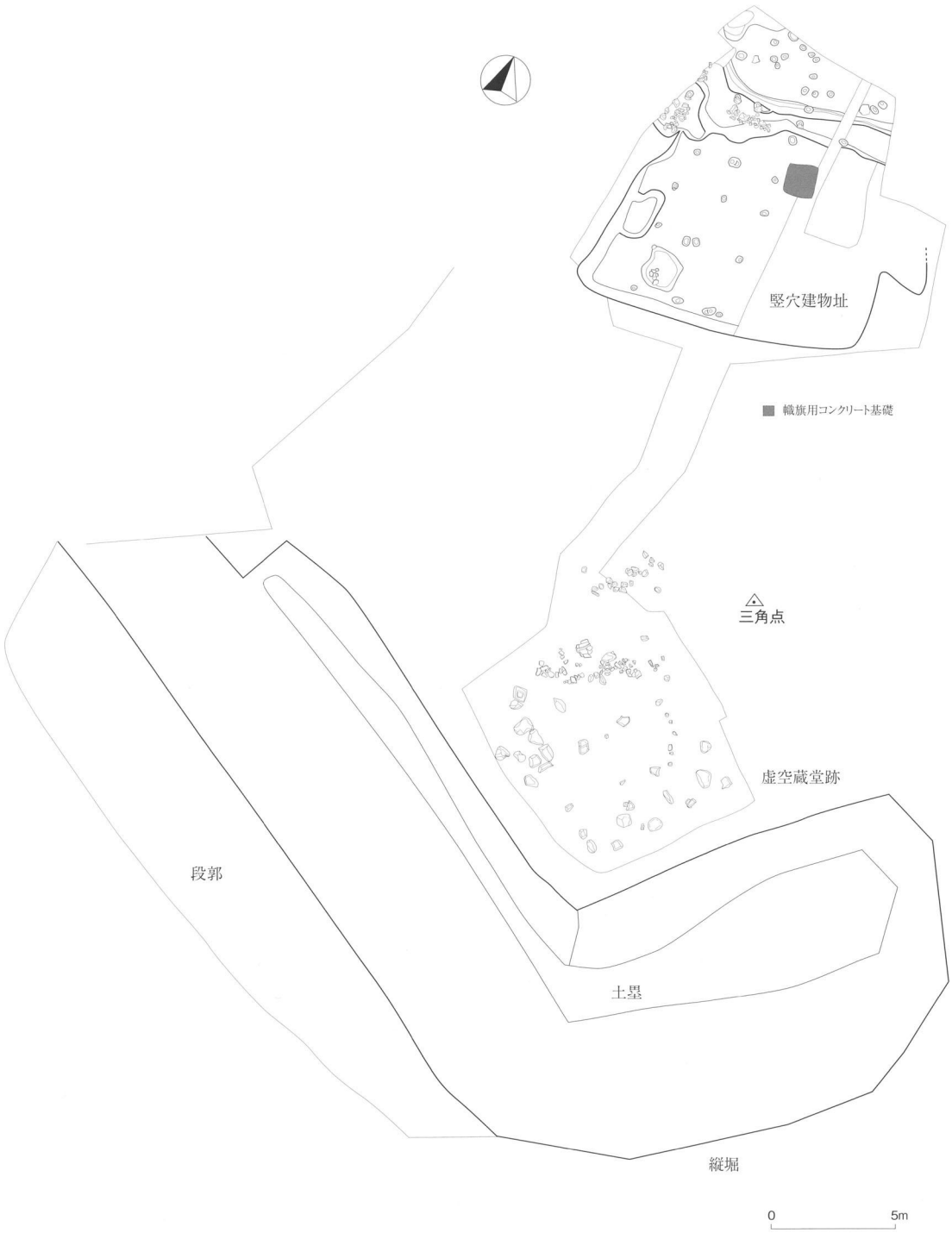
今回の調査は、調査例が極めて少ない山城を構成する建物の調査例として重要な一例を提示できた調査である。

３．遺構外出土遺物（第６図）

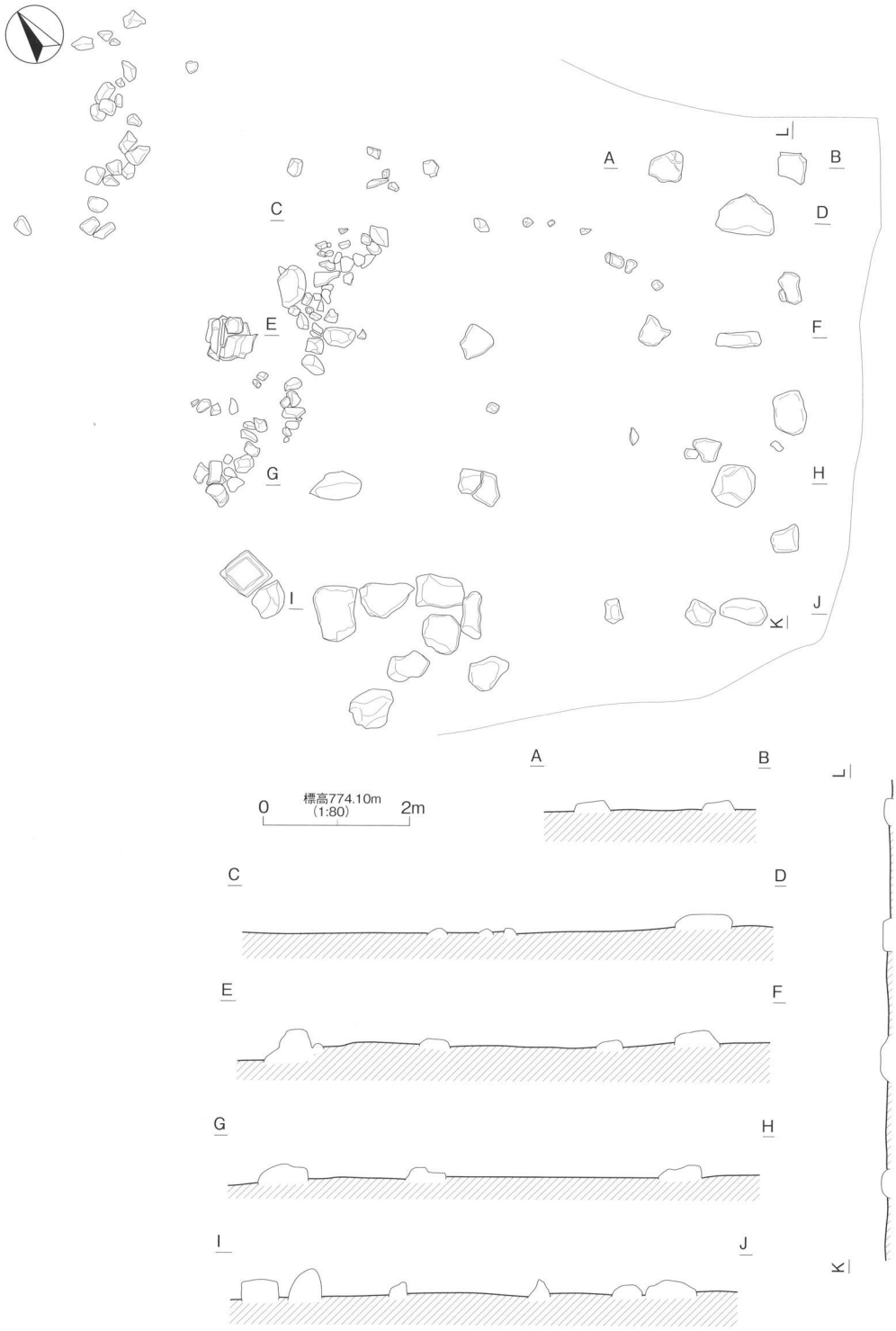
主として、遺構の検出時に出土した遺物である。１～３はかわらけ、４は鉢、５～８は土鍋、９は瀬戸美濃系と思われる鉄釉陶器片、10・11 は黒曜石製の旧石器時代の石器で、10 はナイフである。12 は鉄製角釘、13・14 は寛永通宝である。



虚空蔵山狼煙台出土旧石器

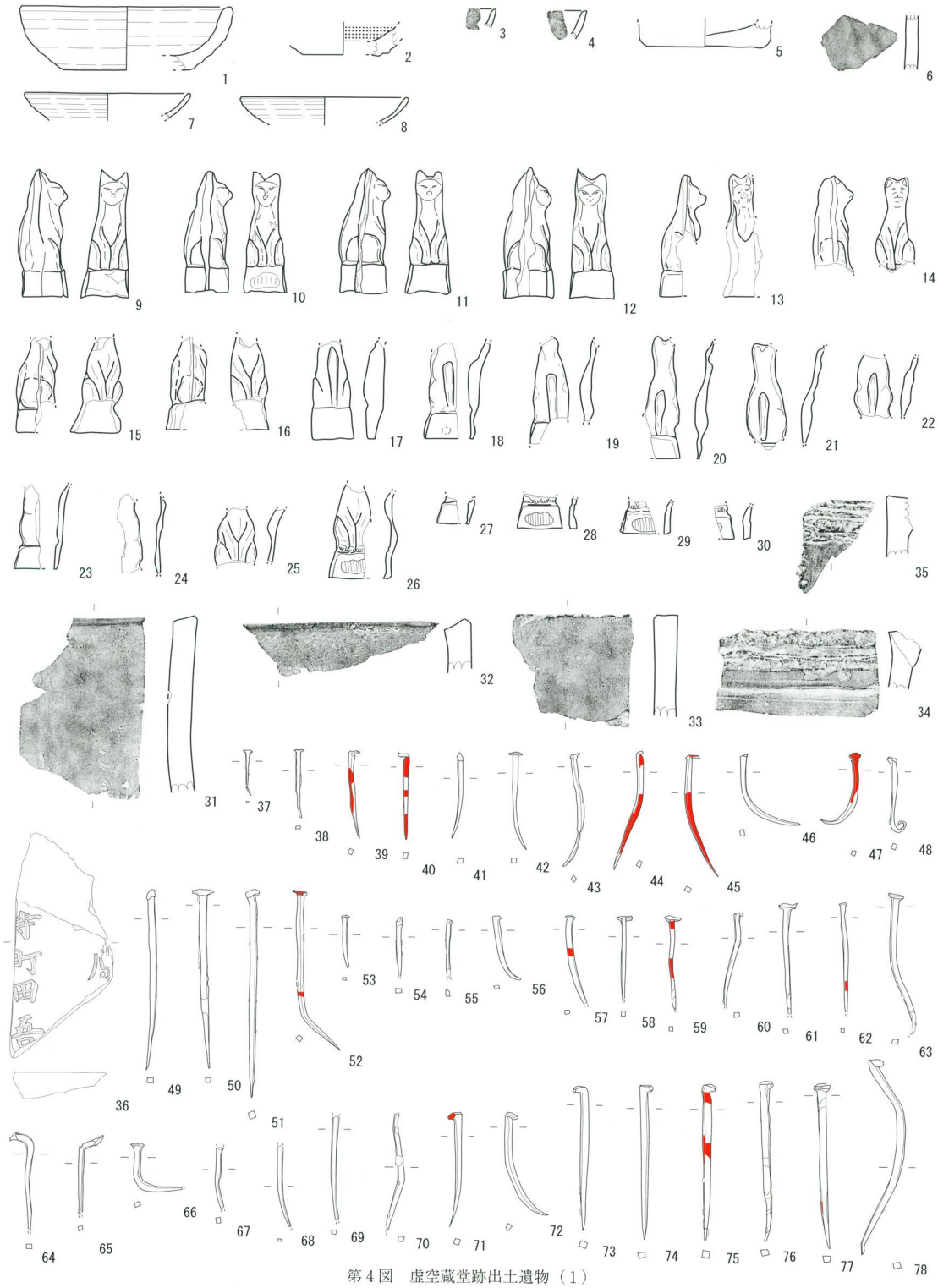


第１図　虚空蔵山狼煙台全体図

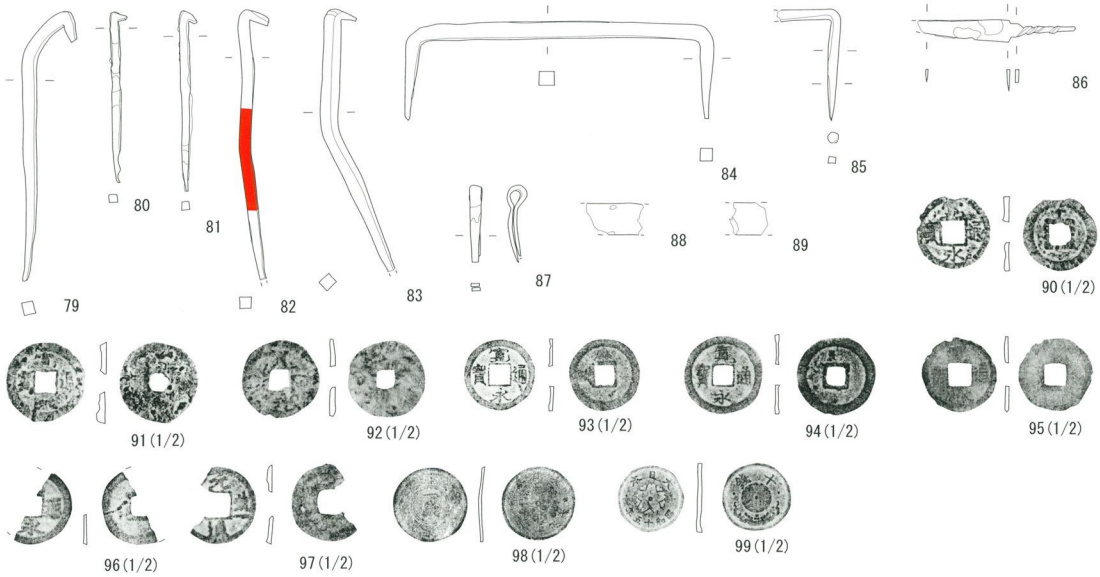


第2図　虚空蔵堂跡

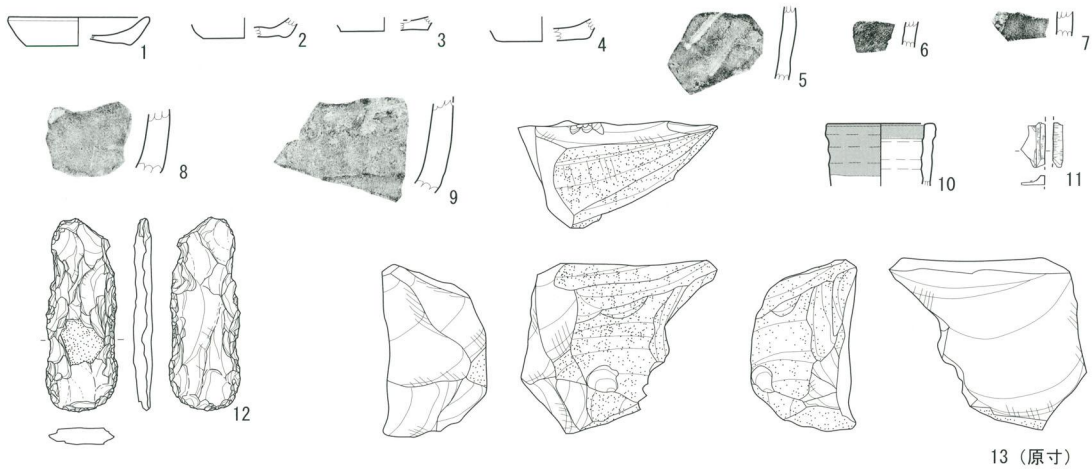
第3図　竪穴建物址



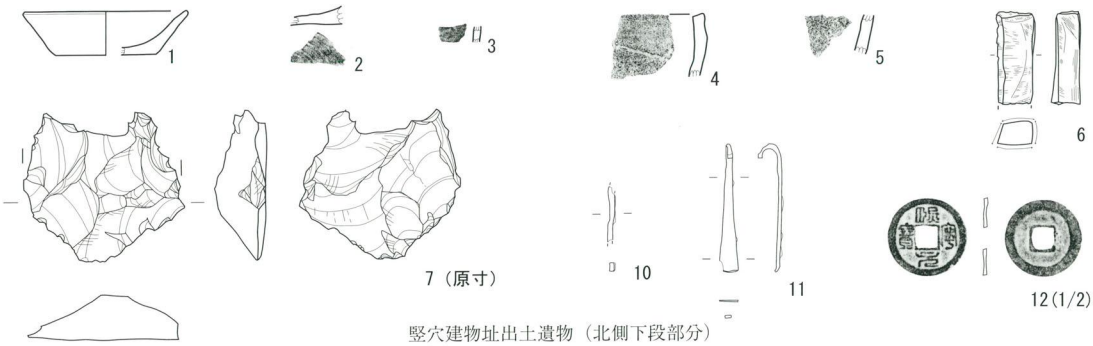
第４図　虚空蔵堂跡出土遺物（１）



第４図　虚空蔵堂跡出土遺物（２）

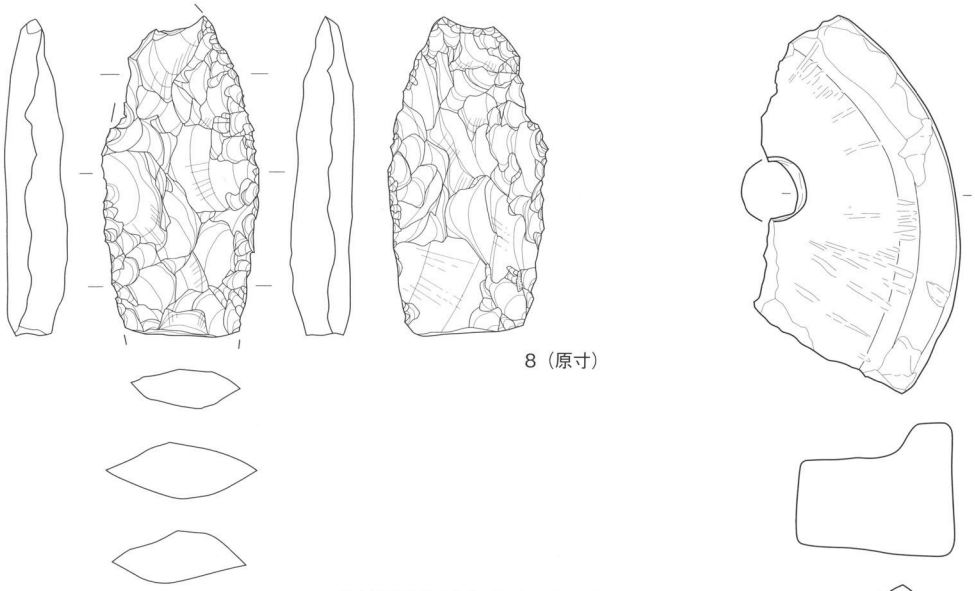


竪穴建物址出土遺物（南側上段部分）



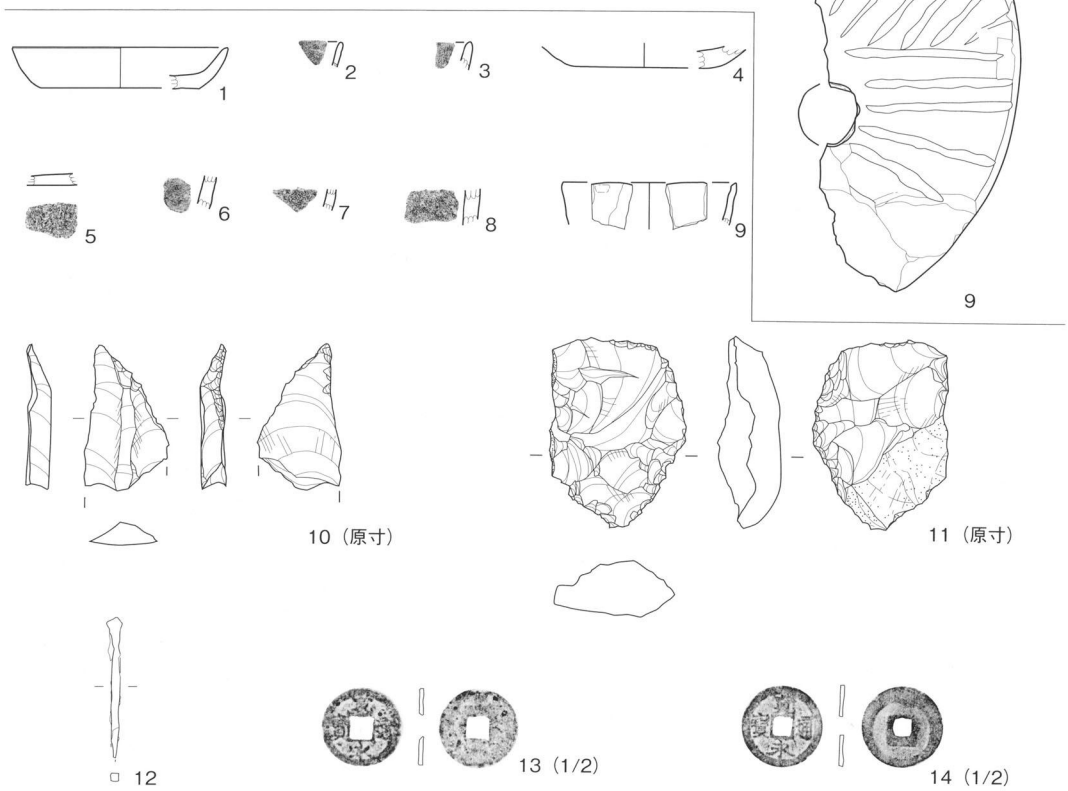
竪穴建物址出土遺物（北側下段部分）

第５図　竪穴建物址出土遺物（１）



竪穴建物址出土遺物（北側下段部分）

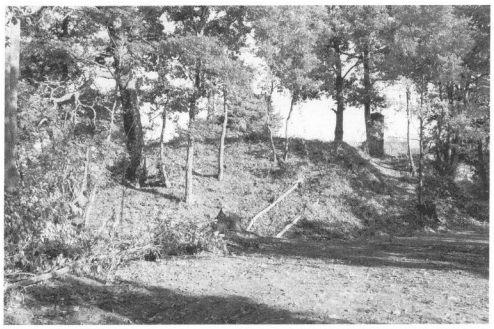
第６図　竪穴建物址出土遺物（２）



第７図　遺構外出土遺物

調査前

土墨



土墨

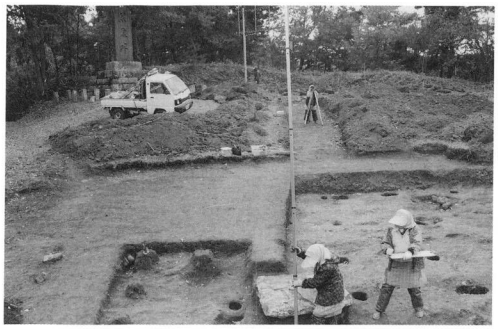
土墨

虚空蔵堂跡（東から）

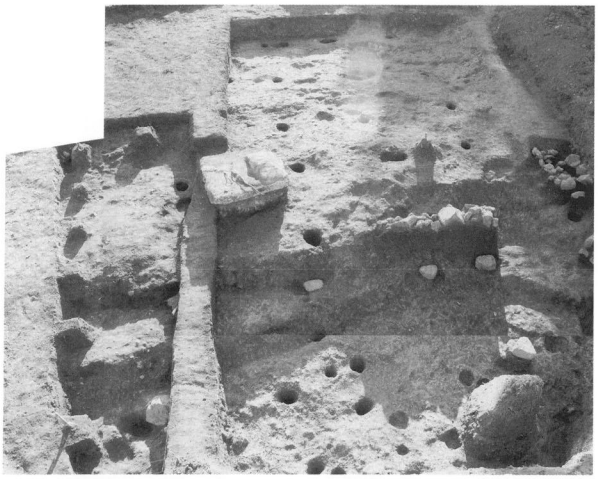
虚空蔵堂跡（北東から）

虚空蔵堂跡（北西から）

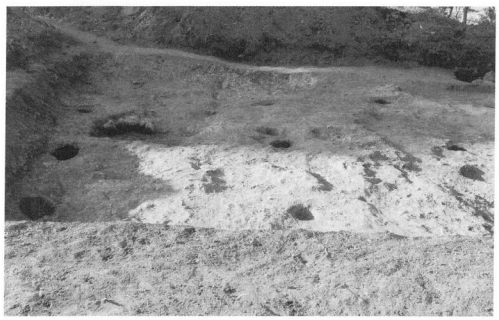
虚空蔵堂跡（北西から）


竪穴建物址調査状況

竪穴建物址上段（西から）

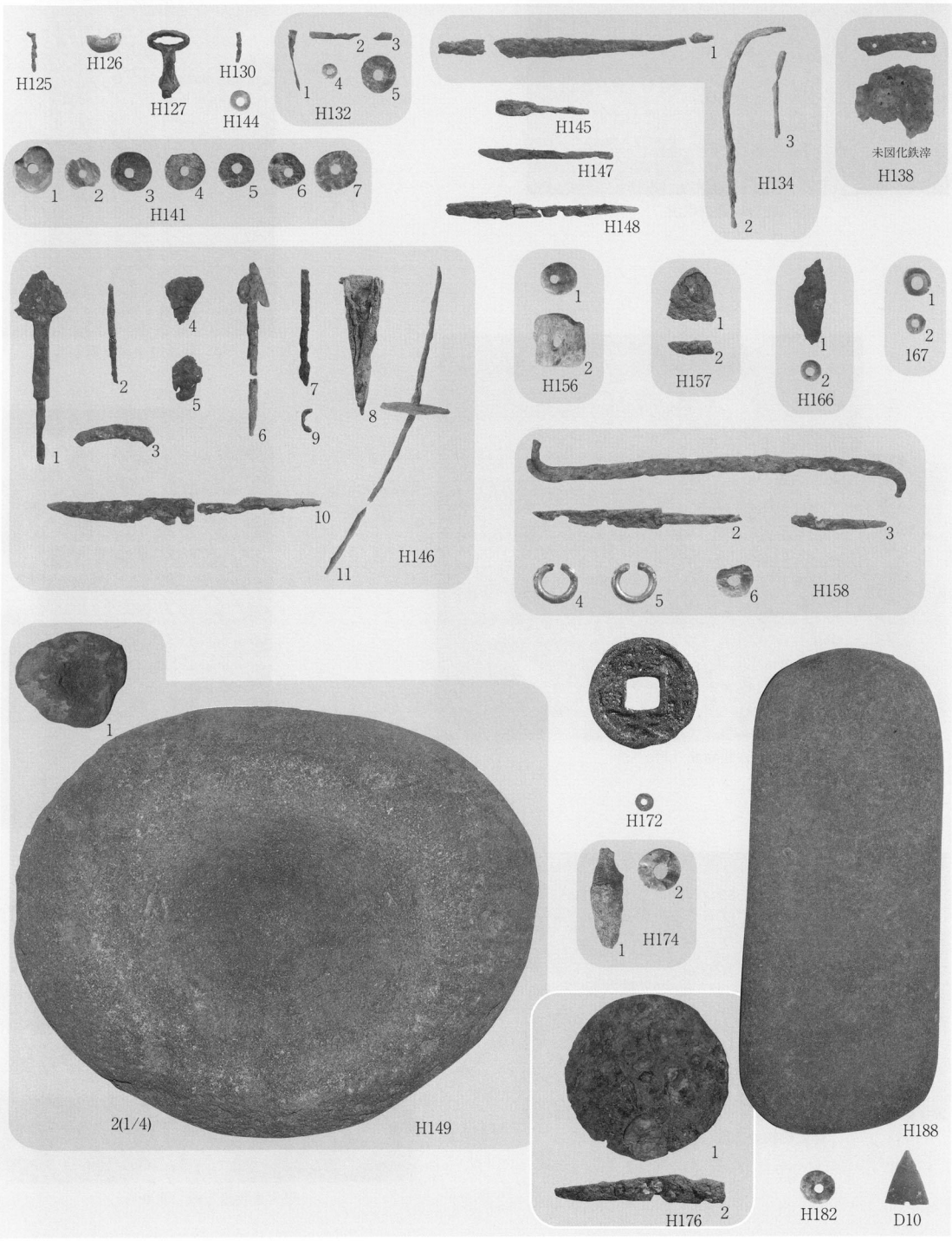

竪穴建物址（北から）

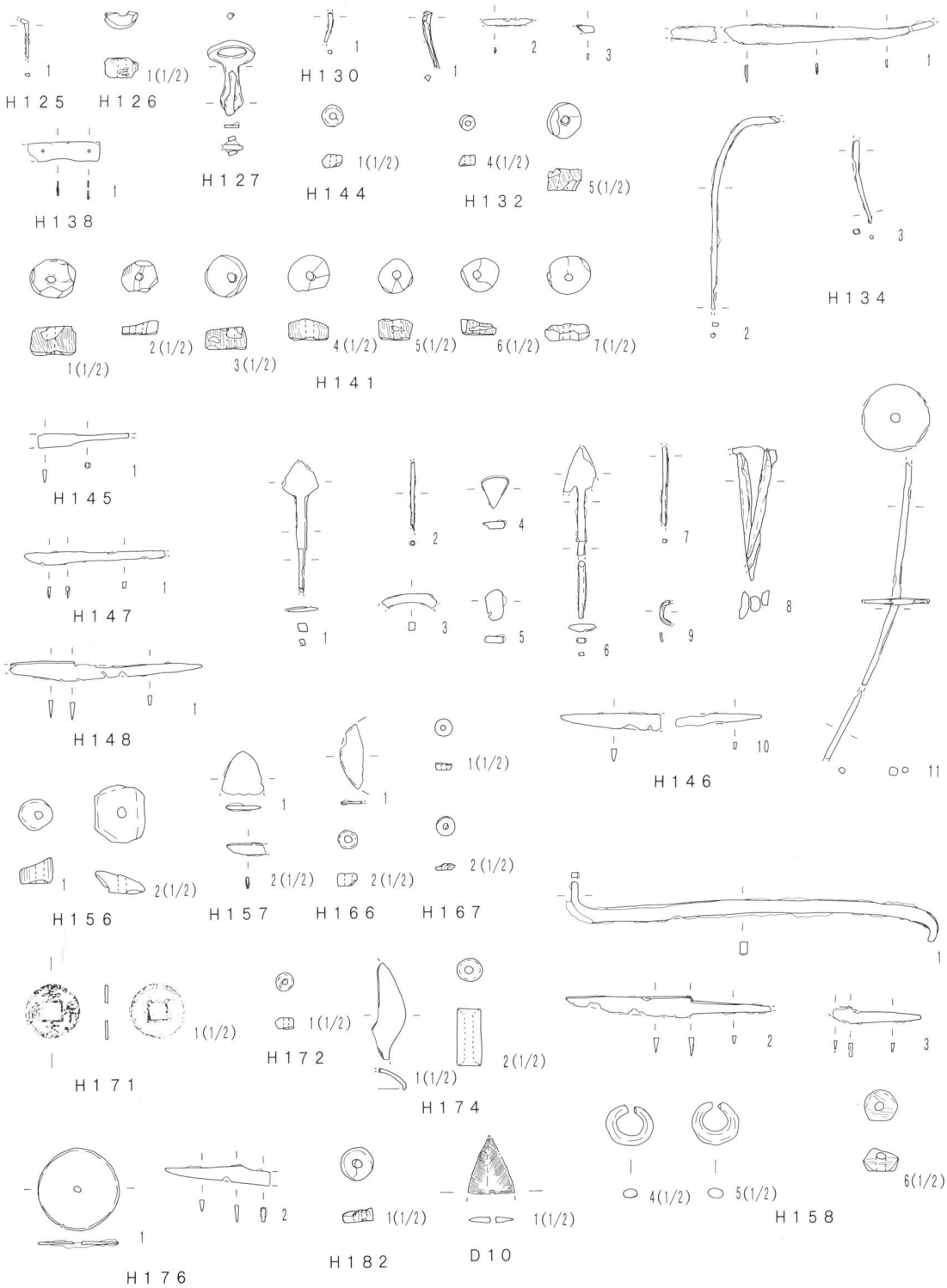
竪穴建物址礎石（西から）


竪穴建物址上段（東から）

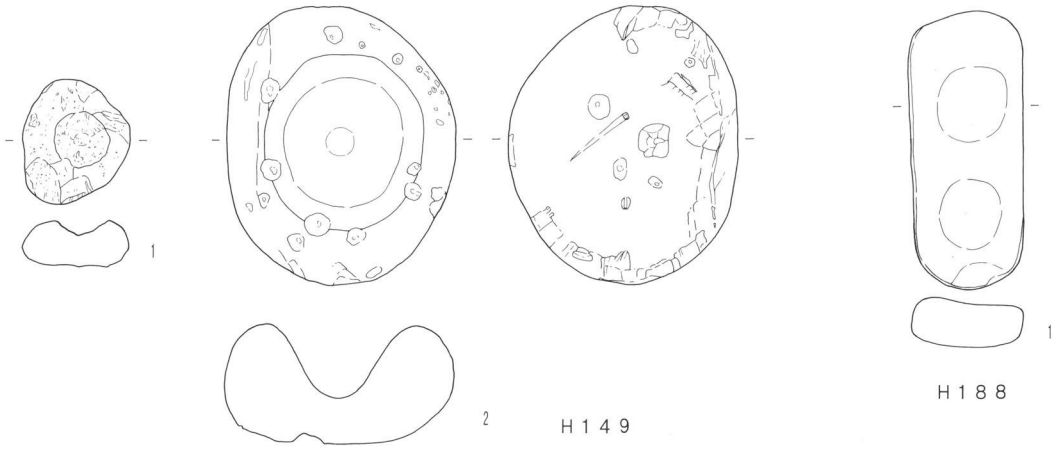
竪穴建物址下段（東から）

3　西一本柳Ⅲ・Ⅳ　発掘調査報告書未掲載遺物





第1図　出土遺物実測図1



第２図　出土遺物実測図２

遺構名	No	器　種		備　考	遺構名	No	器　種		備　考
H125	1	鉄製品	紡錘車軸		H146	11	鉄製品	紡錘車	
H126	1	石製品	滑石製臼玉		H147	1	鉄製品	刀子	
H127	1	鉄製品	金具？		H148	1	鉄製品	刀子	
H130	1	鉄製品	紡錘車軸		H149	1	石製品	凹石	軽石製
H132	1	鉄製品	釘			2	石製品	突臼	安山岩製
	2	鉄製品	？		H156	1	石製品	滑石製臼玉	
	3	鉄製品	？			2	石製品	滑石製臼玉	
	4	石製品	滑石製臼玉		H157	1	鉄製品	鉄鏃	
	5	石製品	滑石製臼玉			2	鉄製品	刀子	
H134	1	鉄製品	刀子		H158	1	鉄製品	？	
	2	鉄製品	紡錘車軸			2	鉄製品	刀子	
	3	鉄製品	紡錘車軸	２と同一個体		3	鉄製品	刀子	
H138	1	鉄製品	金具？			4	銅製品	耳環	金張
H141	1	石製品	滑石製臼玉			5	銅製品	耳環	金張
	2	石製品	滑石製臼玉			6	石製品	滑石製臼玉	
	3	石製品	滑石製臼玉		H166	1	鉄製品	紡錘車円盤	
	4	石製品	滑石製臼玉			2	石製品	滑石製臼玉	
	5	石製品	滑石製臼玉		H167	1	石製品	滑石製臼玉	
	6	石製品	滑石製臼玉			2	石製品	滑石製臼玉	
H145	1	鉄製品	刀子		H171	1	皇朝十二銭	長年大寶	
H146	1	鉄製品	鉄鏃		H172	1	石製品	滑石製臼玉	
	2	鉄製品	紡錘車軸		H174	1	銅製品	蓋？	
	3	鉄製品	？			2	石製品	滑石製臼玉	
	4	鉄	素材？		H176	1	鉄製品	紡錘車円盤	
	5	鉄	素材？			2	鉄製品	刀子	
	6	鉄製品	鉄鏃		H182	1	石製品	滑石製臼玉	
	7	鉄製品	紡錘車軸		H188	1	石製品	砥石	
	8	鉄製品	焼印？		D10	1	石製品	磨製石鏃	
	9	鉄製品	不明						
	10	鉄製品	刀子						

佐久市文化財

年　　報　１６

２００８年3月

編集・発行　佐久市教育委員会
〒３８５－８５０１　長野県佐久市中込３０５６
文化財課
〒３８５－０００６　長野県佐久市志賀５９５３
ＴＥＬ　０２６７－６８－７６２１
印　刷　所　株式会社 コックス